

新潟市観光動向に関する調査研究

平成24年 3 月

新 潟 市
財団法人 地方自治研究機構

はじめに

先の東日本大震災において被災された皆様に心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

近年、少子高齢化や景気低迷による厳しい財政事情等、地方公共団体を取り巻く環境は厳しさを増しています。そのような中で地方公共団体は地域産業の活性化、地域コミュニティの活性化、観光振興、行財政改革等の複雑多様化する課題に対応していかななくてはなりません。また、住民に身近な行政は、地方公共団体が自主的かつ主体的に取り組むとともに、地域住民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組むことが重要となってきました。

このため、当機構では、地方公共団体が直面している諸課題を多角的・総合的に解決するため、地方公共団体と共同して課題を取り上げ、全国的な視点と個々の地方公共団体の地域の実情に即した視点の双方から問題を分析し、その解決方策の研究を実施しています。

本年度は5つのテーマを具体的に設定しており、本報告書は、このうちの一つの成果を取りまとめたものです。

本調査研究の調査団体である新潟市では、全国規模の大会やイベント等が集中した平成21年を「大観光交流年」と位置づけ、様々な取り組みを行い、多くの来訪者の方々に本市をPRし、一定の成果を上げております。今後、その成果を維持・向上させ、より一層の交流人口拡大を目指していくためには、本市の現状や多様化する来訪者の動向などの把握・分析が重要となってきます。

本調査研究は、より一層の本市交流人口の拡大に向けて、来訪者の動向を把握することを目的に、国の「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく、観光地点パラメータ調査に準じたアンケート調査を市内観光地点・宿泊施設・交通施設にて行ったものです。

本研究の企画及び実施にあたっては、関係者の方々から多くのご指導とご協力をいただきました。

また、本研究は、地域社会振興財団の助成金を受けて、新潟市と当機構が共同で行ったものです。ここに謝意を表する次第です。

本報告書が広く地方公共団体の施策展開の一助となれば幸いです。

平成24年3月

財団法人 地方自治研究機構
理事長 佐野 徹 治

目 次

序章 調査研究の概要	3
1. 調査研究の背景・目的	3
2. 調査研究の項目と方法	4
3. 調査研究の体制	6
第1章 新潟市の概況	9
1. 位置・地勢	9
2. 沿革	11
3. 人口・世帯	14
4. 産業	15
第2章 新潟市の観光の現状	19
1. 新潟市観光の沿革・特色	19
2. 観光動態の推移	21
3. 主な観光資源	23
4. 交通・運輸	28
5. 観光関連計画	31
第3章 観光動向調査 調査概要	37
1. 調査実施日及び調査地点	37
2. 調査項目	38
3. 回収結果	38
第4章 観光地点調査結果・分析	41
1. 調査結果	41
2. 観光地点調査分析（クロス集計）	52
3. 交通施設補足調査	81
第5章 宿泊施設調査結果・分析	91
1. 調査結果	91
2. 宿泊施設調査分析（クロス集計）	100
第6章 観光消費額の推計	121
1. 推計方法	121
2. 推計結果	121

第7章 新潟市における観光動向のまとめ.....	125
1. 属性と滞在傾向	125
2. 来訪頻度	126
3. 情報入手経路	126
4. 旅行の目的と形態.....	126
資料編	129
1. 観光地点調査 調査票.....	129
2. 観光地点リスト	130
3. 宿泊施設調査 調査票.....	131

序章 調査研究の概要

序章 調査研究の概要

1. 調査研究の背景・目的

(1) 調査研究の背景

新潟市では、全国規模の大会やイベント等が集中した平成 21（2009）年を「大観光交流年」¹と位置づけ、P Rや受け入れ態勢の整備などの様々な取り組みを行い、多くの方々に来訪してもらうなど、一定の成果を上げることができた。

しかし、今後の超高齢・人口減少時代において、まちを元気にし、地域経済の活性化を図るためには、より一層の交流人口拡大が急務である。

(2) 調査研究の目的

上記の背景を踏まえ、本調査研究では、より一層の本市交流人口の拡大に向けて、多様化する来訪者の属性、動向を定量的に把握することで、今後の効果的なシティプロモーションや受け入れ態勢の整備等の観光振興施策立案のための基礎資料とすることを目的とする。

¹ 2009 年大観光交流年：平成 21（2009）年は新潟港開港 140 周年の年であり、新潟が舞台となる大河ドラマ「天地人」の放送を始め、国民体育大会、水と土の芸術祭、J Rデスティネーションキャンペーンの開催と注目を集める年となるため、この機会を最大限に活用して多様な魅力を発信し、より多くの方々に訪れてもらう取り組みを進めた。

2. 調査研究の項目と方法

(1) 調査研究の項目

調査の目的を踏まえ、調査項目として次の7項目を掲げた。報告書の各章は本項目にしたがい、とりまとめている。

- ① 新潟市の概況
- ② 新潟市の観光の現状
- ③ 観光動向調査 調査概要
- ④ 観光地点調査結果・分析
- ⑤ 宿泊施設調査結果・分析
- ⑥ 観光消費額の推計
- ⑦ 新潟市における観光動向のまとめ

報告書の各項目（章）の概要は次のとおりとなっている。

① 新潟市の概況（第1章）

新潟市の概況として、位置・地勢・沿革、人口・世帯、産業・就業者数等の状況について整理した。

② 新潟市の観光の現状（第2章）

新潟市の観光の現状として、新潟市観光の沿革・特色、観光動態の推移、観光資源の現状等について整理した。また、観光振興に係る新潟市の主要計画や推進体制の現状についてとりまとめた。

③ 観光動向調査 調査概要（第3章）

新潟市の来訪者の動向を把握することを目的に、市内観光地点・宿泊施設等において行った、アンケート調査の概要についてとりまとめた。

④ 観光地点調査結果・分析（第4章）

新潟市内の観光地点・交通施設において行った、アンケート調査の結果とその分析についてとりまとめた。

⑤ 宿泊施設調査結果・分析（第5章）

新潟市内の宿泊施設において行った、アンケート調査の結果とその分析についてとりまとめた。

⑥ 観光消費額の推計（第6章）

観光入込客数と観光地点調査結果から算出した係数を用いて、新潟市の観光消費額を推計した。

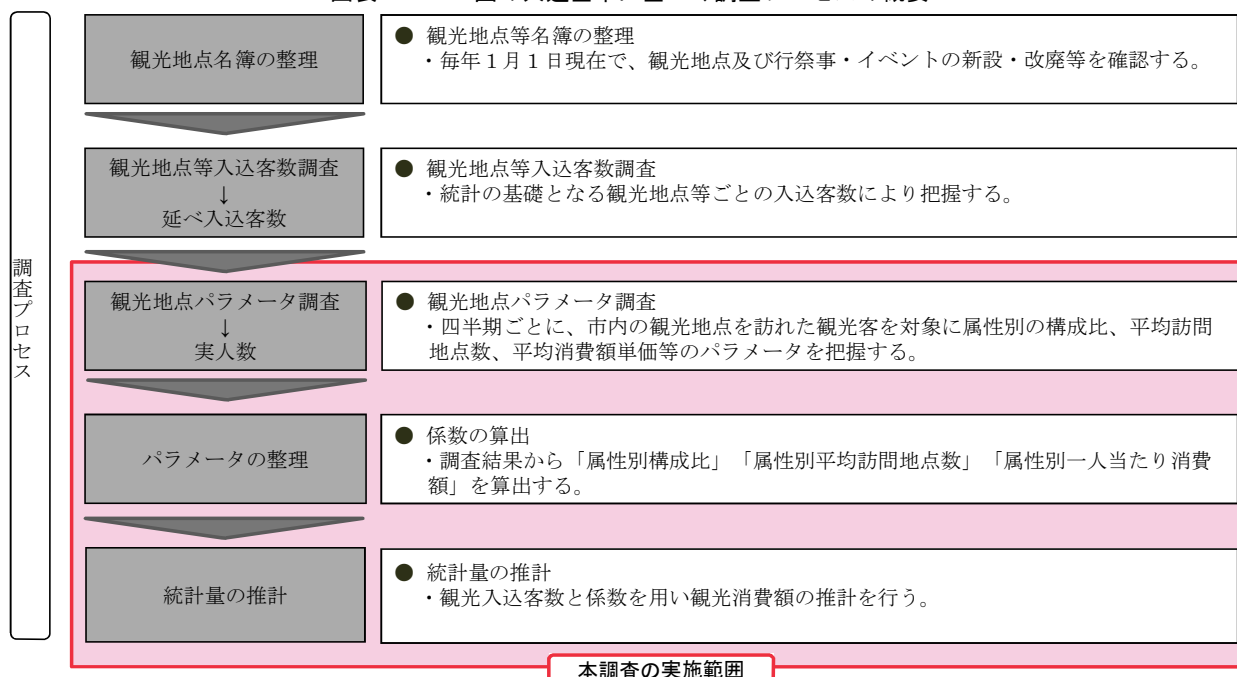
⑦ 新潟市における観光動向のまとめ（第7章）

本調査からわかる新潟市における観光動向についてとりまとめた。

(2) 調査研究の方法

調査項目について明らかにするため、国の策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく、観光地点パラメータ調査に準じたアンケート調査を市内観光地点・宿泊施設・交通施設にて行った。

図表 0-1 国の共通基準に基づく調査プロセスの概要



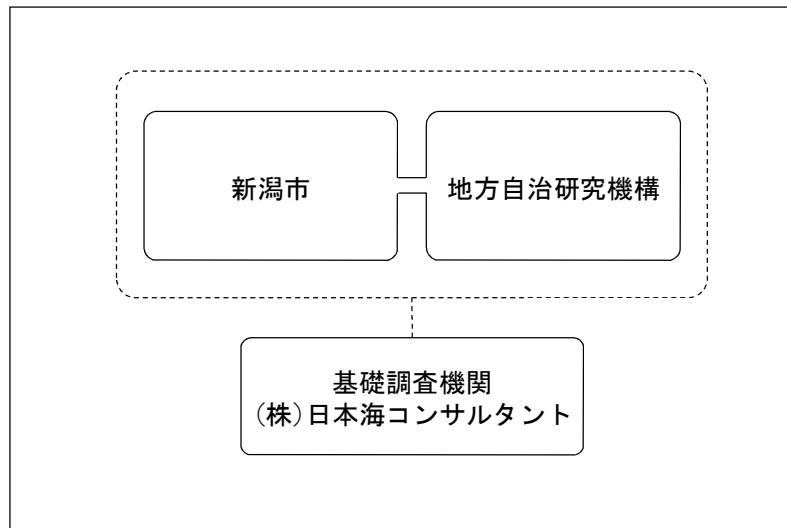
図表 0-2 調査研究の方法

区分	調査名	調査方法	摘要
調査 1	観光地点調査	対面式 アンケート調査	○調査対象：マリンピア日本海・Befco ばかうけ展望室・ピア Bandai・新潟せんべい王国・北方文化博物館・カーブドッチの来訪者 ○調査内容：旅行目的・観光情報源・旅行形態と人数・新潟市来訪回数・宿泊数と利用宿泊施設・立ち寄った観光地点・新潟市以外の訪問市町村・利用交通機関・観光消費額・再来訪意向・個人属性（性別、年齢、職業、居住地） ○調査方法：調査員（2名）による自計又は他計方式により実施 ○調査時期：平成 23 年 8 月、11 月、平成 24 年 1 月
	交通施設 補足調査	対面式 アンケート調査	○調査対象：新潟駅の来訪者 ○調査内容：旅行目的・観光情報源・旅行形態と人数・新潟市来訪回数・宿泊数と利用宿泊施設・立ち寄った観光地点・新潟市以外の訪問市町村・利用交通機関・観光消費額・再来訪意向・個人属性（性別、年齢、職業、居住地） ○調査方法：調査員（2名）による自計又は他計方式により実施 ○調査時期：平成 23 年 8 月、11 月、平成 24 年 1 月
調査 2	宿泊施設調査	据置式 アンケート調査	○調査対象：市内宿泊施設（10 施設）の宿泊者 ○調査内容：旅行目的・観光情報源・旅行形態と人数・新潟市来訪回数・宿泊数と利用宿泊施設・立ち寄った観光地点・新潟市以外の訪問市町村・利用交通機関・観光消費額・再来訪意向・個人属性（性別、年齢、職業、居住地） ○調査方法：宿泊施設での留め置き方式により実施 ○調査時期：平成 23 年 8～9 月、11 月、平成 24 年 1～2 月

3. 調査研究の体制

新潟市と地方自治研究機構の共同調査研究として、資料収集、調査研究の具体的な方法について検討し、調査研究の一部を基礎調査機関（株式会社日本海コンサルタント）に委託した。

図表 0－3 調査研究の体制



第 1 章 新潟市の概況

第1章 新潟市の概況

1. 位置・地勢

新潟市は、本州日本海側のほぼ中央に位置し、東京圏からは約 250km、名古屋圏からは約 350km、大阪圏からは約 500km の距離に位置しており、面積は、市勢の発展とともに順次市域を広げて、現在 726.10 km²となっている。

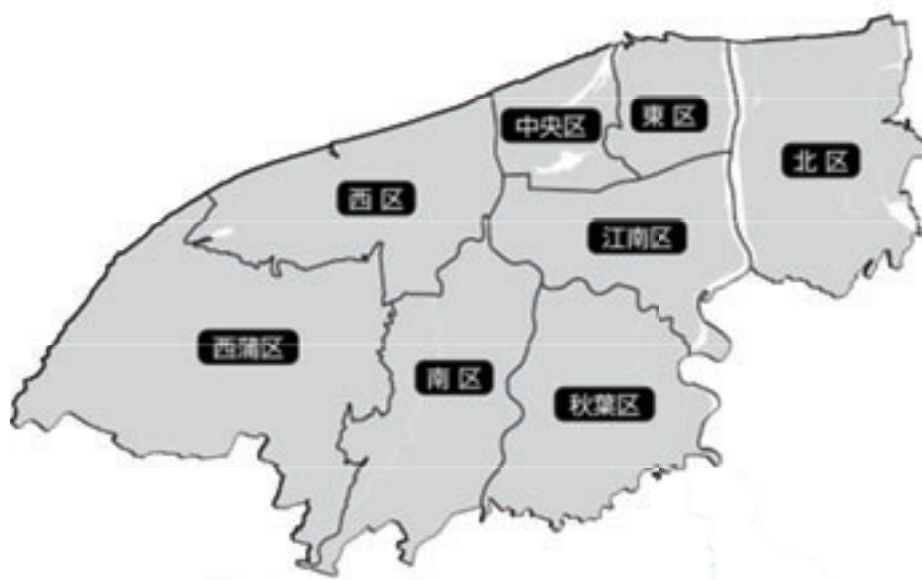
平成 17 年、平成の大合併の中でも最大となる 14 市町村の合併を経て、古くから「みなとまち」として栄えてきた都市部に、豊かな田園部が加わった、人口約 81 万人の現在の新潟市が誕生し、平成 19 年 4 月 1 日には、本州日本海側初の政令指定都市となった。

本市は、整備された高速道路網や上越新幹線により首都圏と直結しているなど、陸上交通網が充実しているほか、国際空港、国際港湾を擁し、国内主要都市と世界を結ぶ本州日本海側最大の拠点都市として高次の都市機能を備えている。

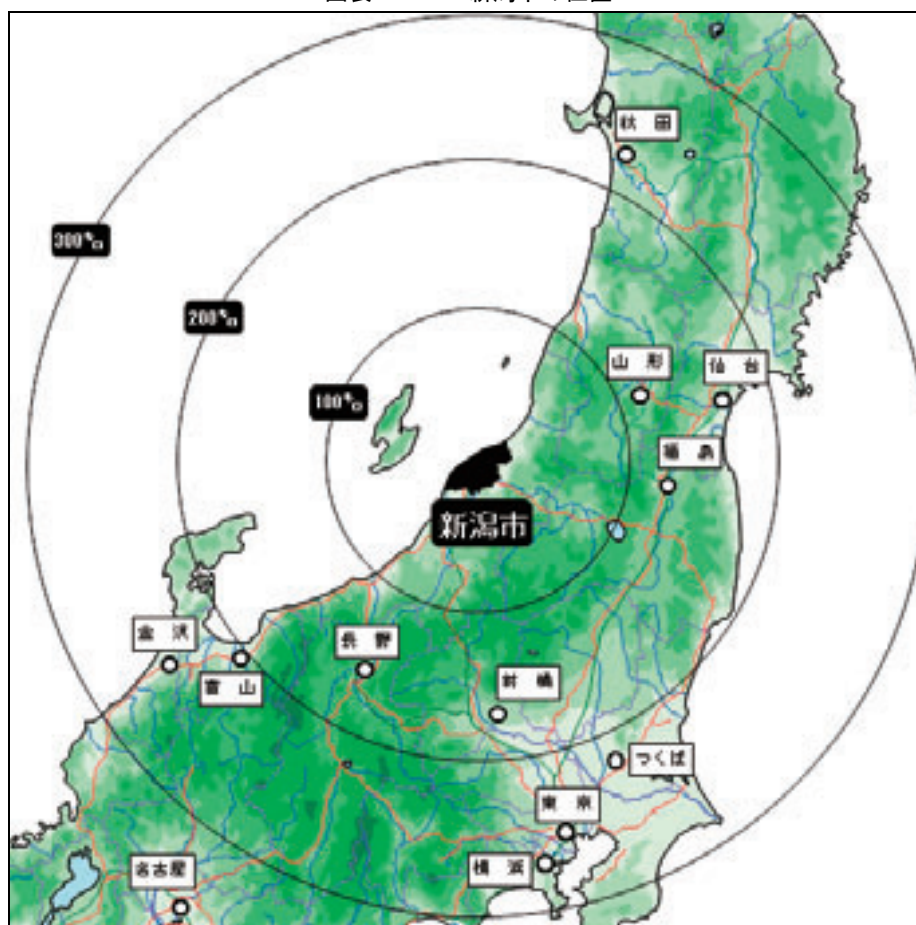
一方で、広大な越後平野は、米のほか、野菜、果物、畜産物、花き類など、農畜産物の一大産地である。

また、日本海に面し、信濃川・阿賀野川の両大河、福島潟、鳥屋野潟、佐潟といった多くの水辺空間と、里山などの自然に恵まれている。

図表 1－1 新潟市の行政区界



図表 1－2 新潟市の位置



2. 沿革

後期旧石器～縄文時代には、現在の新潟市域で人々の営みが始まり、市域の大半を占める越後平野の原形ができた。

新潟の地名が記録に現れるのは戦国時代の永正 17（1520）年で、その頃には信濃川河口左岸の新潟津が、信濃川・阿賀野川河口を代表する港になっていた。

天正 9（1581）年、新発田城の新発田氏が新潟津を占拠し、春日山城（上越市）の上杉氏に対抗していたが、上杉方は 15 年に新発田氏を滅ぼし越後を統一した。

新潟町は、元禄年間（1688～04）ごろには日本海側最大の港町となっていた。

幕末の安政 5（1858）年、日本海側最大の港町であること、幕府領であることなどの理由から、新潟港はアメリカなど 5 か国と締結した修好通商条約で開港五港の一つに挙げられた。

明治元年 11 月 19 日（西暦 1869 年 1 月 1 日）、新政府は新潟を開港する。開港場を重視する政府は、3 年に水原県を新潟県と改め、新潟町を県庁所在地にした。新潟県の範囲は、翌 4 年の廃藩置県などを経て、19 年に現在の県域になった。

明治 30（1897）年に北越鉄道（現信越線）沼垂駅が開業、大正初期には羽越線・岩越線（現磐越西線）・越後鉄道（現越後線）が開通し、舟運に代わって鉄道輸送が重要になってくる。

明治 30 年代には、新津丘陵に広がる新津油田で機械掘削による採油が本格化し、産油量が国内屈指となる。大油田の北半を占め、鉄道網が接続する新津町は、「石油の町」「鉄道の町」といわれるようになる。

豊富な県内産油を背景に、新潟市は製油所・硫酸工場など石油産業が発達した都市になり、近代港湾の築港が始まる。この工事は大正 15（1926・12 月昭和改元）年に完成し、新潟港は、大型汽船が埠頭に着岸し、貨物列車が乗り入れる港になった。さらに、昭和 6（1931）年に上越線が開通し、翌 7 年に「満州国」が建国されると、新潟港は、首都圏と日本海対岸とを結ぶ最短路に位置する港湾になった。

新潟港は満州開拓民の出発港になるなど日本の対岸進出の拠点港となり、新潟市周辺には国内から多くの工場が進出した。戦争末期、新潟港はアメリカ軍の機雷封鎖を受けて機能を失い、20 年 8 月の終戦を迎える。現市域における昭和 6 年の満州事変以後の戦没者は、約 1 万 4200 人に上った。

戦後、新潟飛行場はアメリカ軍に接収され、軍需生産に関わっていた多くの工場が操業を停止・縮小、新潟港も触雷事故や水深不足のため寂れたが、昭和 25 年に起きた朝鮮戦争による特需で新潟市の工場生産が上向く。講和条約が発効して日本が主権を回復した 27 年には、新潟港の安全宣言が出され、港の活気が戻った。

復興期から 30 年代の高度経済成長期にかけて、新潟市の工業発展を支えたのは、天然ガスを原料とするガス化学工業だった。

39 年、新潟国体開催の直後、マグニチュード 7.5 の新潟地震が市域を襲い、被害が新潟市に集中した。地震以降、中小工場の集団移転や郊外住宅の急増など、市街地から郊外への拡散が顕著になった。

食糧増産は、昭和 40 年代、越後平野の最後の大潟湖であった鎧潟の全部と、福島潟の約半分を農地にする、巨大干拓をもたらした。しかし、40 年代半ばには米余りになり、生産調整（減反）が始まった。蔬菜・花卉・果樹の産地化が進められ、新津・小須戸のアザレア、黒埼の茶豆、白根の洋ナシなどは全国銘柄になった。

昭和 48（1973）年、定期航空路・新潟－ハバロフスク線が開設され、新潟空港は国際空港になった。国際線は、その後ソウル線・ハルビン線などが開設された。53 年に北陸自動車道・新潟－長岡間が開通し、平成 9（1997）年までに関越自動車道・北陸自動車道・磐越自動車道が全線開通した。また、昭和 57 年には上越新幹線・新潟－大宮間が開通し、平成 3 年に東京駅乗り入れをした。新潟市は日本海側の高速交通拠点となり、平成 14 年に日本・韓国で開催されたワールドカップサッカー大会では、新潟スタジアム（ビッグスワン）が試合会場になった。

市域内の交通は鉄道・バスが中心だったが、昭和 40 年代半ば以降、自家用車による交通が急増する。市町村の中心市街地を迂回する道路や、広域バイパス・広域農道が次々と作られ、通勤・通学、買い物、医療など生活範囲が急速に広がった。平成以降は、中心市街地から離れた郊外に、広い駐車場を備えた大型商業施設が生まれ、生活圏はさらに多様になった。一方、中ノロ川沿いの新潟交通電車線は、平成 11 年に、東関屋－月潟間の運行が廃止されて姿を消した。

平成 17 年 3 月、新潟市は新津市・白根市・豊栄市・小須戸町・横越町・亀田町・岩室村・西川町・味方村・潟東村・月潟村・中之口村の 12 市町村と合併し、さらに 10 月には巻町と合併した。

平成 19 年 4 月 1 日、新潟市は本州日本海側で初めて政令指定都市に移行し、新たな都市づくりをはじめている。

図表 1－3 新潟市の沿革

西暦	年号	主なできごと
BC4000		縄文時代前期、人々の生活の場が越後平野の砂丘部に広がる。
4C		古墳時代前期、古津八幡山古墳・菖蒲塚古墳・緒立八幡神社古墳などが造られる。
6C 半ば		信濃川・阿賀野川河口地域の豪族が高志深江国造（ヤマト政権の地方官）に任命される（「国造本紀」）。
1520	永正 17	「新潟」という地名が高野山清浄心院の「越後過去名簿」（過去帳・供養帳）に記される（新潟の初見）。
1586	天正 14	上杉景勝が新潟・沼垂津を制圧する。翌年、新発田重家を滅ぼし越後を統一する。
17C 中		このころ、日本海側から下関・瀬戸内海を経て、大坂に至る西回り航路が整備される。
1713	正徳 3	この年、岩室温泉の営業が公認されたと伝えられる。
1858	安政 5	アメリカなど 5 か国との修好通商条約で、新潟が開港場の一つに挙げられる。
1868	明治元	新政府が新潟を開港する（明治元年 11 月 19 日が西暦 1869 年 1 月 1 日）。
1870	明治 3	政府が水原県を廃して新潟県を設置し、新潟町に県庁を置く。三根山藩が長岡藩に救援米百俵を贈る。
1871	明治 4	廃藩置県により市域に新発田県・峰岡県（旧三根山藩）が置かれ、さらに府県統合により新潟県に統合される。
1889	明治 22	市制・町村制が施行され、現市域に 1 市（新潟）・5 町（沼垂・新津・白根・亀田・小須戸）・118

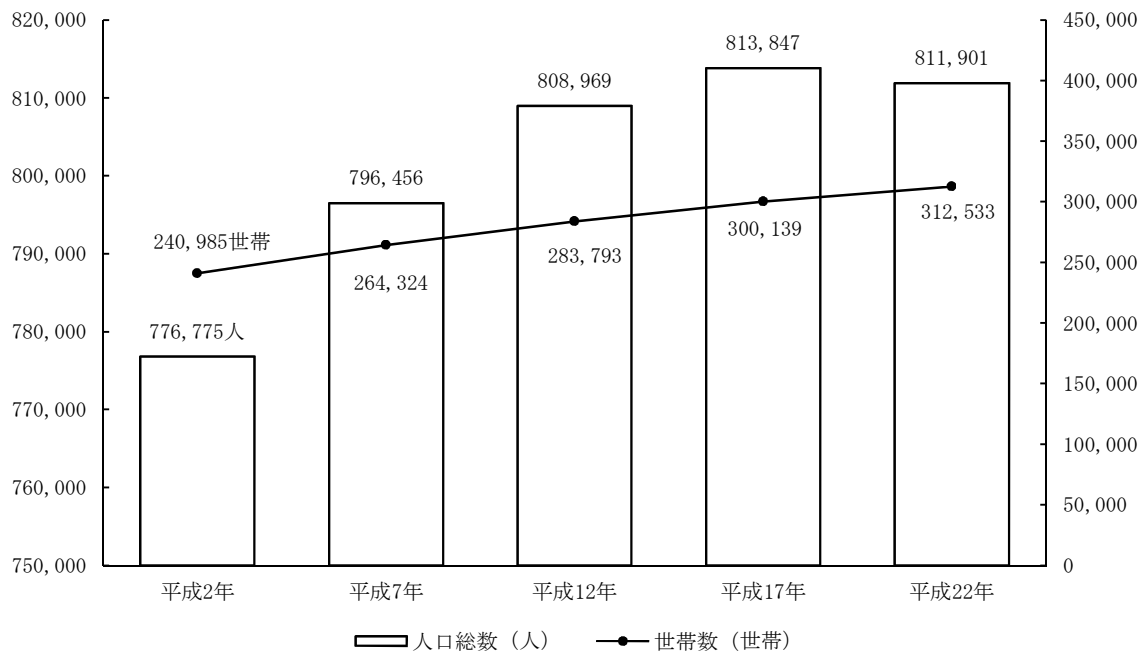
		村ができる。小倉幸光が初代新潟市長に就任する。伏見半七らが新潟—ウラジオストクとの直航貿易を行い、北洋漁業の発端となる。
1945	昭和 20	5 月、アメリカ軍の爆撃機による新潟港への機雷投下が始まり、港が封鎖される。新潟が原爆投下目標の 1 か所となる。8 月、アメリカ軍の艦載機による空襲で多くの人が亡くなる。
1949	昭和 24	新潟大学が開学する。
1967	昭和 42	新潟港が特定重要港湾に指定される。新潟県民会館完成。
1973	昭和 48	新潟空港初の国際定期航空路、新潟—ハバロフスク線開設。新潟市民病院開院。新潟バイパス・亀田バイパスが開通する。万代シテイバスセンタービル・ダイエー新潟店開店。
1978	昭和 53	北陸自動車道の新潟—長岡間が開通する（1988 米原まで開通する）。
1981	昭和 56	万代島のフェリー基地が完成する。
1982	昭和 57	上越新幹線の新潟—大宮間が開通する（1985 上野まで、1991 東京まで開通する）。
1985	昭和 60	新潟県庁が新光町に移転する。関越自動車道が全線開通する。千歳大橋が開通する。
1986	昭和 61	鳥屋野潟公園が開園する。第 1 回日本海夕日コンサートが開催される。
1987	昭和 62	昭和大橋と J R 越後線鉄橋間の信濃川左岸にやすらぎ堤ができる。
1989	平成元	新潟市制 100 周年、「市民憲章」「市の木（柳）」「市の花（チューリップ）」を制定。5 代目市役所庁舎（現在の本庁舎）が完成する。
1990	平成 2	新潟市水族館（マリニピア）日本海開館。
1993	平成 5	N E X T 2 1 が開館、新潟市民プラザがオープンする。平成大橋が完成する。
1994	平成 6	磐越自動車道の新潟—安田間が開通する（1997 全線開通）。
1995	平成 7	新潟港が中核国際港湾に位置づけられる。
1996	平成 8	中核市に移行する。佐潟がラムサール条約の登録湿地に認定される。新潟空港 2500m 滑走路が完成。
1998	平成 10	新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）が開館する。
2001	平成 13	黒埼町と合併する。新潟スタジアム（ビッグスワン）が完成。
2002	平成 14	柳都大橋・新潟みなとトンネル同時開通。2002 F I F A ワールドカップ T M 開催（ビッグスワンで試合）。
2003	平成 15	朱鷺メッセがオープンする。東北電力が巻原子力発電所の建設を断念する。
2004	平成 16	新潟市歴史博物館（みなとぴあ）開館。新潟県中越地震が発生する。
2005	平成 17	新津市、白根市、豊栄市、小須戸町、横越町、亀田町、岩室村、西川町、味方村、潟東村、月潟村、中之口村、巻町と合併する。
2007	平成 19	政令指定都市に移行し、北・東・中央・江南・秋葉・南・西・西蒲の 8 区役所が開所する。北京事務所開設（自治体単独では全国初）。新潟県中越沖地震が発生する。中央図書館（ほんぽーと）開館、新市民病院開院。
2008	平成 20	G 8 労働大臣会合が市内で開催される。
2009	平成 21	フランス・ナント市と姉妹都市提携する。第 1 回水と土の芸術祭・第 64 回国民体育大会（トキめき新潟国体）・第 9 回全国障害者スポーツ大会（トキめき新潟大会）が開催される。
2010	平成 22	第 1 回ラ・フォル・ジュルネ新潟『熱狂の日』音楽祭が開催される。A P E C（アジア太平洋経済協力）食料安全保障担当大臣会合が開催される。
2011	平成 23	東日本大震災が発生する。新潟・福島豪雨で、市内で浸水被害が発生する。東区役所新庁舎・食育花育センターがオープンする。新潟港が国際拠点港湾となる。日本海横断航路（新潟—ザルビノ）が開設される。

3. 人口・世帯

新潟市の人口の推移をみると、国勢調査による平成 22 年の人口は 811,901 人で、平成 2 年以降の人口総数は増加傾向にある。ただし、平成 22 年の人口総数は微減に転じている。

一方、平成 22 年の世帯数は 312,533 世帯で、こちらは増加傾向にある。

図表 1－4 新潟市の人口の推移



資料：新潟市統計書（平成 22 年度版）及び平成 22 年国勢調査を基に作成

図表 1－5 新潟市の人口・世帯数の推移（国勢調査）

	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年
人口総数（人）	776,775	796,456	808,969	813,847	811,901
世帯数（世帯）	240,985	264,324	283,793	300,139	312,533

（注）平成 17 年は、旧新潟市、旧巻町の計、平成 12 年以前は、旧新潟市、旧黒埼町、新津市、白根市、豊栄市、小須戸町、横越町、亀田町、岩室村、巻町、西川町、味方村、潟東村、月潟村及び中之口村の計

資料：新潟市統計書（平成 22 年度版）及び平成 22 年国政調査を参考）

4. 産業

平成20年度の新潟市の産業別市内総生産は総額約2兆9,967億円である。

産業別にみると第3次産業が約2兆5,194億円と8割以上を占めており、第2次産業が約5,381億円、第1次産業が約395億円となっている。

平成21年度の事業所数は4万475事業所で、4割近くが古町、万代、新潟駅周辺に代表される、様々な都市機能が集積し本市の商業の中心となっている中央区に置かれている。

図表1-6 新潟市の総生産実額の状況

(単位:百万円)

	平成20年度		平成19年度		平成18年度	
	実額(百万円)	構成比	実額(百万円)	構成比	実額(百万円)	構成比
第1次産業	39,519	1.3%	41,306	1.4%	43,316	1.4%
第2次産業	538,092	18.0%	554,103	18.2%	531,146	17.7%
鉱業	9,921	0.3%	9,402	0.3%	9,830	0.3%
製造業	358,216	12.0%	391,002	12.9%	367,313	12.3%
建設業	169,955	5.7%	153,699	5.1%	154,003	5.1%
第3次産業	2,519,367	84.1%	2,543,509	83.8%	2,530,053	84.4%
電気・ガス・水道	55,583	1.9%	58,243	1.9%	65,962	2.2%
卸売・小売業	416,810	13.9%	424,365	14.0%	430,622	14.4%
金融・保険業	155,034	5.2%	174,201	5.7%	181,679	6.1%
不動産業	472,176	15.8%	461,701	15.2%	454,589	15.2%
運輸・通信業	205,476	6.9%	215,181	7.1%	205,031	6.8%
サービス業	739,369	24.7%	744,563	24.5%	732,315	24.4%
政府サービス生産者	395,703	13.2%	389,761	12.8%	384,738	12.8%
対家計民間非営利サービス生産者	79,216	2.6%	75,494	2.5%	75,117	2.5%
小計	3,096,978	103.3%	3,138,918	103.4%	3,104,515	103.6%
輸入品に課される税・関税	35,690	1.2%	33,802	1.1%	31,965	1.1%
(控除) 総資本形成にかかる消費税	18,961	0.6%	19,059	0.6%	17,377	0.6%
(控除) 帰属利子	116,916	3.9%	116,925	3.9%	122,592	4.1%
市内総生産	2,996,791	100.0%	3,036,736	100.0%	2,996,511	100.0%

資料：平成20年度新潟県市町村民経済計算(平成22年度版)を基に作成

図表 1－7 新潟市の事業所数

地区	事業所数
新潟市総数	40,475
北区	3,146
東区	5,425
中央区	14,906
江南区	3,207
秋葉区	2,946
南区	2,199
西区	5,638
西蒲区	3,008

注：事業所数は事業内容等不詳・公務を含む

資料：平成 21 年経済センサスを基に作成

図表 1－8 新潟市の産業(大分類)、従業上の地位(3 区分)、男女別 15 歳以上就業者数の状況

総数（産業大分類）	総数（男女別）				男				女			
	総数	雇用者	自営業主	家族従業者	総数	雇用者	自営業主	家族従業者	総数	雇用者	自営業主	家族従業者
	389,900	335,200	34,000	17,500	213,400	182,100	25,600	4,100	176,500	153,100	8,400	13,400
第 1 次産業	16,500	1,700	7,400	7,400	9,500	1,100	6,900	1,500	7,000	600	400	6,000
農業、林業	16,000	1,500	7,100	7,400	9,100	900	6,700	1,500	6,900	600	300	6,000
漁業	500	200	300	－	400	200	200	－	100	－	100	－
第 2 次産業	81,100	74,000	5,400	1,600	58,100	52,400	5,000	600	23,000	21,600	400	1,000
鉱業、採石業、砂利採取業	400	400	－	－	300	300	－	－	100	100	－	－
建設業	35,600	30,200	4,200	1,200	29,800	25,100	4,200	500	5,800	5,100	－	700
製造業	45,100	43,400	1,200	400	28,000	27,000	800	100	17,100	16,400	400	300
第 3 次産業	280,300	253,400	19,300	7,600	139,000	125,100	11,900	2,000	141,100	128,300	7,400	5,500
電気・ガス・熱供給・水道業	2,300	2,300	－	－	2,100	2,100	－	－	200	200	－	－
情報通信業	10,000	9,300	700	－	6,700	6,300	400	－	3,300	3,000	300	－
運輸業、郵便業	22,700	22,100	700	－	20,000	19,400	700	－	2,700	2,700	－	－
卸売業、小売業	79,400	70,400	5,200	3,800	39,600	34,900	3,300	1,400	39,800	35,500	1,900	2,400
金融業、保険業	10,900	10,600	300	－	4,700	4,400	300	－	6,200	6,200	－	－
不動産業、物品賃貸業	7,600	7,300	300	－	4,900	4,700	200	－	2,700	2,600	100	－
学術研究、専門・技術サービス業	9,200	7,700	1,400	200	6,200	5,000	1,200	－	3,000	2,700	200	200
宿泊業、飲食サービス業	21,500	18,100	2,200	1,200	7,700	6,000	1,500	200	13,800	12,100	700	1,000
生活関連サービス業、娯楽業	14,800	10,800	2,700	1,300	4,900	3,500	1,200	100	9,900	7,300	1,500	1,100
教育、学習支援業	18,300	16,800	1,400	－	8,200	8,100	200	－	10,000	8,700	1,300	－
医療、福祉	44,200	42,100	1,700	400	10,200	8,900	1,200	－	34,000	33,200	400	400
複合サービス事業	2,400	2,300	100	－	1,300	1,300	－	－	1,100	1,000	100	－
サービス業（他に分類されないもの）	23,800	20,400	2,600	700	14,000	12,000	1,700	300	9,700	8,400	900	400
公務（他に分類されるものを除く）	13,200	13,200	－	－	8,500	8,500	－	－	4,700	4,700	－	－
分類不能の産業	12,000	5,900	1,900	1,000	6,900	3,500	1,800	－	5,100	2,500	100	1,000

資料：平成 22 年国勢調査抽出速報集計（総務省統計局）を基に作成

第2章 新潟市の観光の現状

第2章 新潟市の観光の現状

1. 新潟市観光の沿革・特色

新潟市は、本州日本海側最大の政令都市であり、上越新幹線や北陸自動車道をはじめとする高速道路網、そして東アジア諸国とを結ぶ国際便も発着する新潟空港など交通インフラ整備が進んでおり、観光の基盤条件は整っている。

また、旧新潟税関庁舎・古町芸妓・小路等のみなとまちの面影や、日本海に沈む夕日が美しい海岸、日本の原風景を思わせる潟湖や山々の自然資源、また歴史ある温泉街や、賑わいを創出する祭り等のイベントといった、豊富な観光資源を多数有している。

さらに水田面積は全国一であり、水稻をはじめ、野菜・果樹・花などの生産地をあわせ持つ、他に類のない「食と花」の都市として、人やモノ、情報、技術、文化の集積と交流を生み出し、新しい産業、雇用の創出につなげるための戦略的なシティプロモーションを展開している。

平成 21（2009）年の大観光交流年においては「天地人」「食と花」「みなとまち」、そして「水と土」など、本市の個性ある魅力を国内外に発信し、交流人口の拡大に努めた。

一方、新潟県においては 2014 年問題といわれる北陸新幹線完成による観光や経済への影響が懸念されている。その対応策の一つとして、新潟市から佐渡市へ観光を目的とした人の流れをつくるなど、更なる魅力の創出と発信を行っている。

主な観光戦略としては、本市では「食と花」「みなとまち」「水と土」などを軸として、近代的な都市機能や、広域合併により新たに加わった自然景観、歴史、文化など、田園都市型政令指定都市としての魅力を活かした観光施策を展開している。

さらに広域な連携を推進することにより、誘客や滞在日数の拡大を目指している。

● 「食と花」の魅力発信	本市は政令指定都市でありながら、日本有数の農漁業都市（コシヒカリ、ルレクチュエ、チューリップ、南蛮えびなど）としての性格も備えている。 その特性を活かし、都市型グリーン・ツーリズムの提供や、食と花の世界フォーラム、にいがた冬・食の陣、新潟淡麗「にいがた酒の陣」、にいがた花絵プロジェクト、日本ボケ展など、多くの食と花関連のイベントを開催している。
● 「みなとまち」の魅力発信	北前船の寄港地として、また開港 5 港の 1 つとして、古くから栄えたみなとまちの文化歴史の PR や、港エリアの賑わいを創出している。2019 年には開港 150 周年を迎える。 歴史を学ぶイベント「新潟みなと水遊記」の開催や、観光ボランティアガイドの育成、まち歩きのコース整備、料亭や芸妓を楽しむ観光商品づくりなどの取り組みを行っている。
● 「水と土」の魅力発信	信濃川と阿賀野川が運ぶ日本一の大量の水と多様な土から生まれた日本一の食や地域の伝統芸能など、豊かな暮らし文化を市民と協働で磨き、発信します。 2009 年には、その魅力を国内外に発信する市全体を会場とした「水と土の芸術祭」を開催、47 万人来場。

	来年 2012 年には、第 2 回目となる「水と土の芸術祭 2012」を開催予定。
● 広域連携の主な取り組み	他都市との連携により相乗的な魅力向上、誘客促進を目指す。 ・新潟市・佐渡市誘客連携協定 ・新潟市・高崎市観光交流連携協定 ・開港 5 都市連携（函館市、横浜市、神戸市、長崎市）

2. 観光動態の推移

(1) 観光入込客数

新潟市の観光入込客数の推移をみると、平成19年度では中越沖地震による風評被害等により微減となったが、近年は微増傾向となっている。

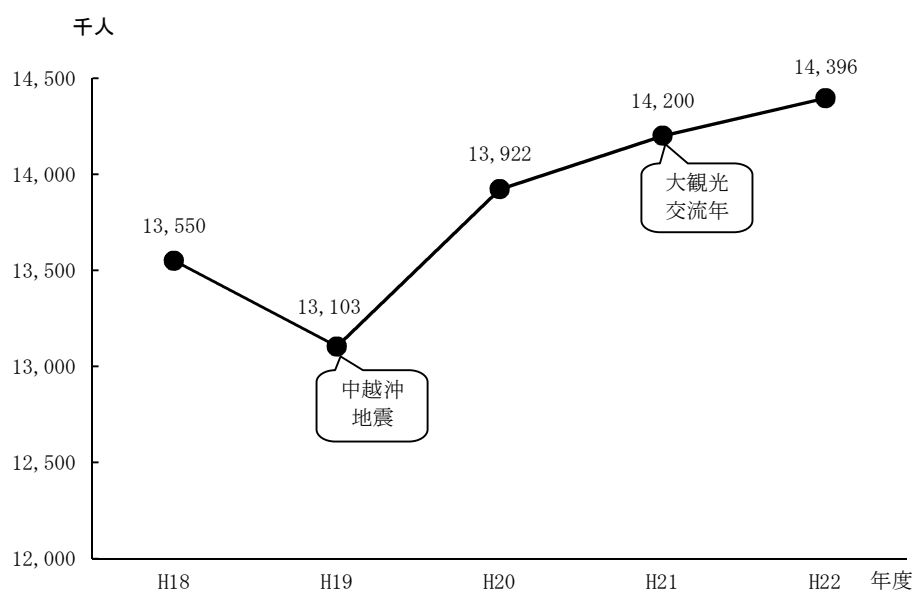
図表2-1 新潟市観光入込客数

(単位：千人)

年度		H18	H19	H20	H21	H22
合計		13, 550	13, 103	13, 922	14, 200	14, 396
対前年比		9. 08	-3. 30%	6. 25%	2. 00%	1. 38%
内訳	温泉	1, 046	1, 019	985	1, 073	1, 049
	自然景観	722	723	716	679	760
	名所・旧跡	1, 202	1, 269	1, 280	1, 230	1, 204
	文化施設	1, 441	1, 502	1, 633	1, 609	1, 478
	産業観光	4, 183	4, 106	4, 265	4, 504	4, 868
	まつり・イベント	3, 718	3, 470	3, 831	4, 074	3, 929
	海水浴	638	414	574	373	537
	登山・	160	176	188	178	139
	ハイキング・					
	キャンプ場					
その他 レクリエーション	440	424	450	480	432	
備考			中越沖地震		大観光交流年	

資料：新潟県観光動態調査資料、新潟市資料を基に作成

図表2-2 年間入込客数の推移

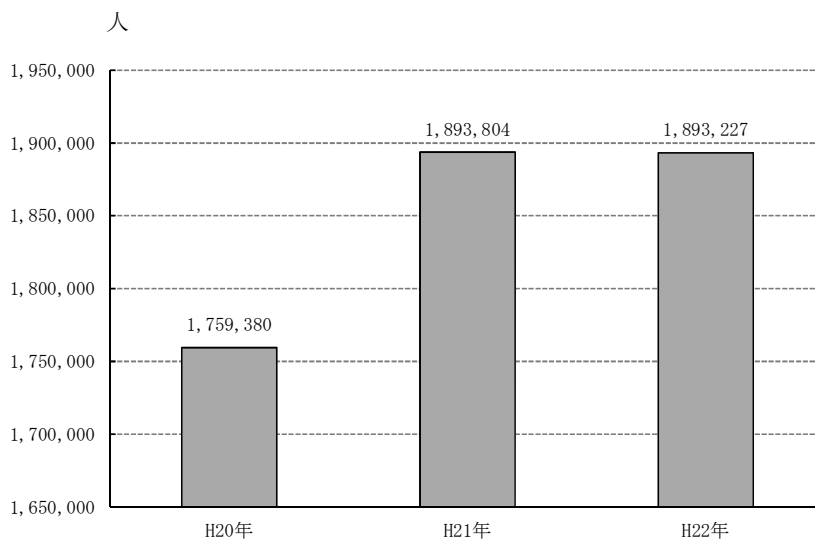


資料：新潟県観光動態調査資料、新潟市資料を基に作成

(2) 延べ宿泊者数

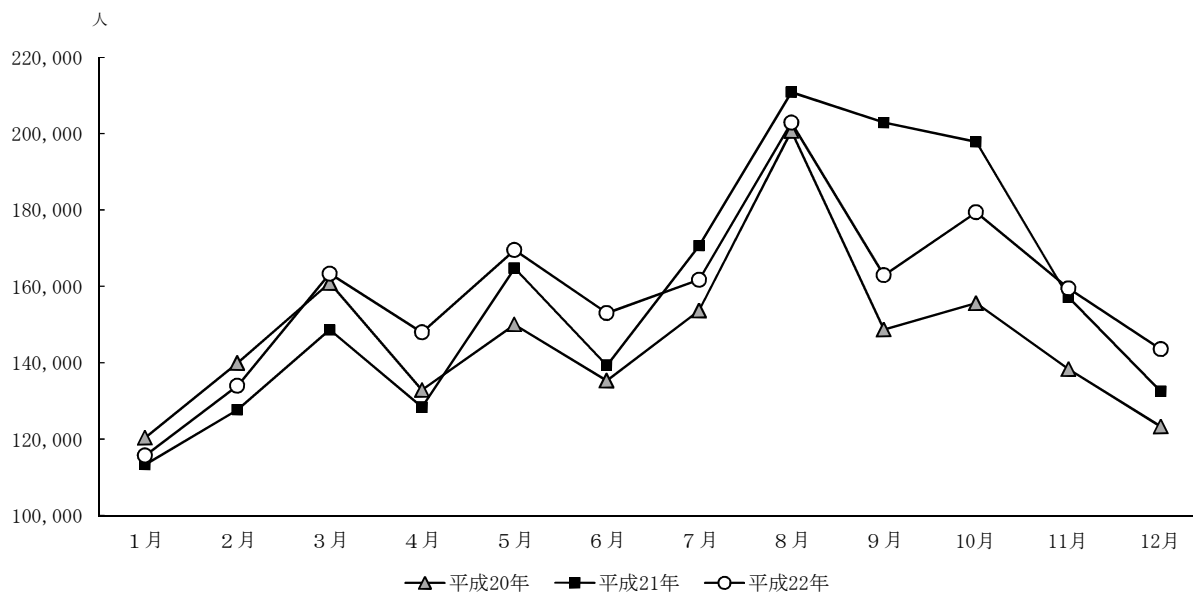
延べ宿泊者数の推移をみると、全国規模の大会やイベント等の集中した平成 21 年の大観光交流年で増加した宿泊数の水準を、平成 22 年でも水準を維持している結果となっている。

図表 2－3 年間延べ宿泊者数の推移



資料：観光庁宿泊旅行統計調査を基に新潟市で推計

図表 2－4 月毎の延べ宿泊者数



資料：観光庁宿泊旅行統計調査を基に新潟市で推計

3. 主な観光資源

(1) 温泉

江戸時代より北国街道の湯治場として栄え、弥彦神社の参拝客でにぎわってきた温泉地「岩室温泉」をはじめ、日本の日帰り温泉施設としては大変珍しい3本の源泉に浸れる「多宝温泉」や、ワイナリーから生まれた新しいリゾートで、ブドウ畑とワイナリーに囲まれた2つの異なる源泉を楽しむ「カーブドッチヴィネスパ」など、市内には歴史と情緒あふれる越後の奥座敷から、気軽に入れるスパリゾートまで、豊富な温泉施設がそろっている。

(2) 自然景観

国の天然記念物オオヒシクイの日本一の渡来地、稀少水生植物オニバスの北限の自生地であり、220種以上の野鳥、450種以上の植物が確認されている自然の宝庫「福島潟」や、ラムサール条約の登録湿地に認定されている「佐潟」など、市内には貴重な水辺空間が残されている。

また、日本の原風景である里山の大切さを学びながら、自然のめぐみと文化にふれることができる「にいつ丘陵」にある「秋葉公園」など、緑豊かな景観も数多くある。

(3) 名所・旧跡

新潟の総鎮守として千有余年の歴史のある「白山神社」、日本海を望む美しい松林につつまれた荘厳な「護国神社」、中国から資材を運び、北京市林園局が設計・施工した日本初の池泉回遊式中国山水庭園「天寿園」などがある。

(4) 文化施設

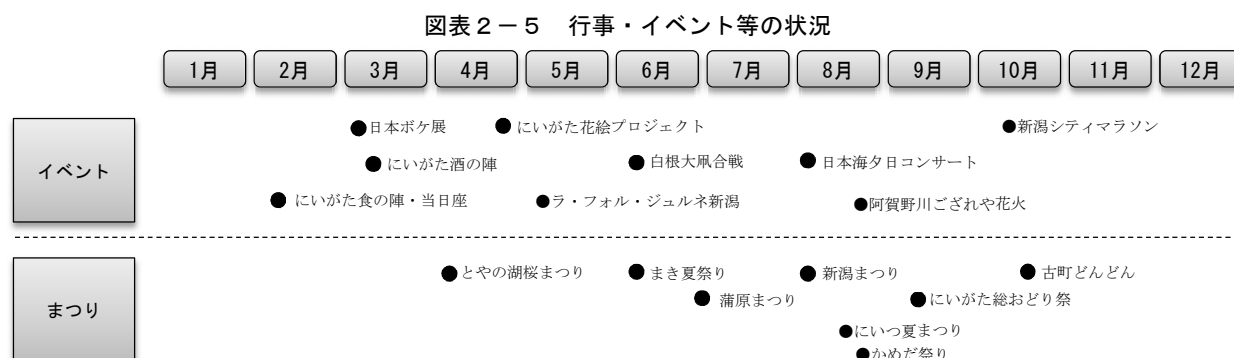
新潟市内には数多くの文化施設が集積しており、日本海側最大級の水族館である「マリニピア日本海」や、子どもから大人まで楽しみながら科学に触れることができる「県立自然科学館」、みなとまち新潟の歴史と文化を様々な手法で伝える「新潟市歴史博物館（みなとぴあ）」、豪農の屋敷を博物館として公開した「北方文化博物館」など、内容も充実している。

(5) 産業観光

新潟県内の観光情報や物産などが全てそろった「新潟ふるさと村」や、花と緑・苗木など産地ならではの量と質で所狭しと展示される「花夢里にいつ」、せんべいのテーマパーク「新潟せんべい王国」、花卉、花木、新鮮野菜や農産物加工品などの特産販売とイベントを行う「花と緑のシンボルゾーン」など、様々な施設が本市の「食と花」の魅力を発信している。

(6) まつり・イベント

新潟市の主なまつり・イベントは、下記のとおりとなっている。



(7) 海水浴・登山・ハイキング・キャンプ

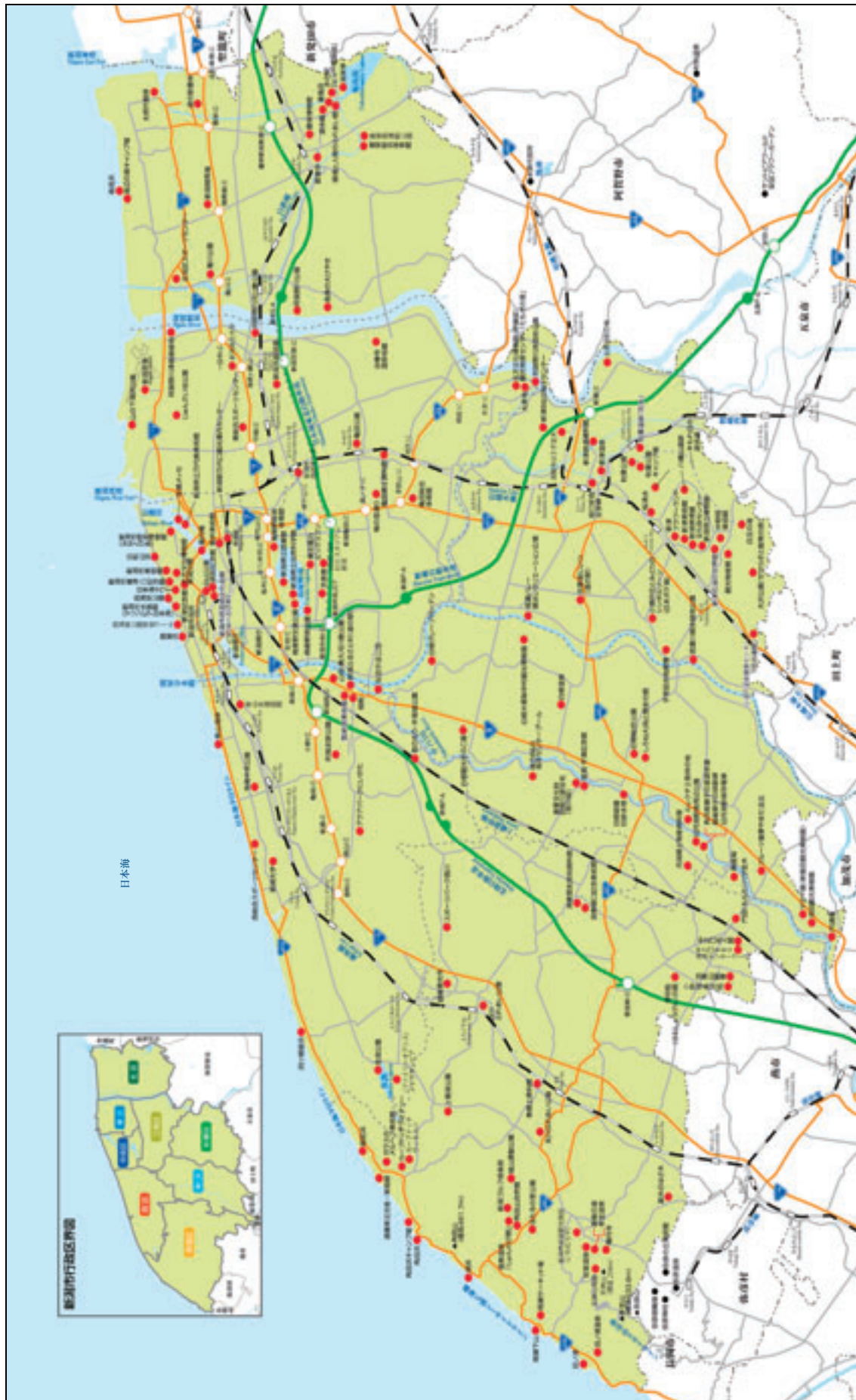
新潟市にはマリレジャーを楽しむに絶好の海水浴場が 12 か所もあり、晴れた日の夕方には大きな夕日が海に沈む雄大な景色を見ることができる。

また、「角田山」は、標高 481.7m と子供から老人まで容易に登れることから、県内外より多くの家族連れやグループなどの登山者で賑わう。

(8) その他レクリエーション

ウォーターフロントのランドマークである朱鷺メッセ最上階、地上約 125m に位置する「Befco ばかうけ展望室」や、海拔 63m の回転式展望台「日本海タワー」など、新潟市街地をはじめ、新潟港、日本海、佐渡島などを一望できる観光スポットがある。

図表2-6 観光資源の状況（市域全体）



図表 2-7 観光資源の状況（都市部）



(9) 物産（特産品等）

新潟市の特産品等の物産は、食品系では米、果物、花卉、海産物、加工食品、酒類等がある。非食品系では工芸品等がある。

食品系については、気候風土、雪解けの豊富な水、肥沃な大地に恵まれた風土を背景に、全国的にも有名なコシヒカリや、米を原料とした酒やせんべいなどの加工食品などが消費者の人気を集めており、土産品としてのほかに、滞在中の観光客等にも多く消費されている。

非食品系では伝統技能を活かした新潟漆器、仏壇などの工芸品等がある。

図表2-8 物産等の状況

区分		内容	
食品	米	○コシヒカリ	炊いたご飯が白くて艶があり、食べると、粘り、かすかな甘み、際だつ香りがある。
	野菜・果物	○かきのもと	花卉が赤紫でほろ苦くシャキシャキとした歯ごたえの食用菊。
		○十全ナス	肉質がしまっていながら、柔らかくてほのかな甘さが特徴。
		○長芋	一般の長芋よりもシャリ感と甘みが強い。
		○女池菜	鳥屋野地区で生産され、豊かな甘みとほろ苦さは新潟独特の味覚の一つ。
		○くろさき茶豆	黒崎地区で出荷される茶豆は、枝豆の王様と言われている。
		○スイカ	西地区と南浜の砂丘地から出荷されるスイカで、甘くてシャリ感がある。
		○ル レクチエ	国内で流通している西洋ナシでは最も極上の品種で、貴婦人とも讃えられる。
		○越後姫	平成8年に生まれた新潟ブランドいちご。甘みが強く果肉が柔らかいのが特徴。
	花卉・花木	○チューリップ	大正期、新津小合地区で、日本で初めて球根の商業栽培に成功。新潟市の花に制定。
		○ホワイト阿賀	新テッポウユリ。花のボリューム・バランス・花もちが良い。
		○アザレア	アジア原産のつつじをヨーロッパで室内観賞用に品種改良したもの。
		○ボケ	信濃川下流域が産地として知られている。別名放春花。
		○サツキ	昭和40年代に生産量が大幅に伸び全国有数の産地に発展した。
	海産物	○南蛮えび	甘エビの呼び名が一般的だが、新潟では南蛮えびと呼ばれる。
		○のどぐろ	正式名称は赤むつ。新潟の沿岸部、佐渡近海の深海に生息。白身魚なのに旨みが濃い。
		○さくらます	春の日本海でとれる本鱒は桜鱒とも呼ばれ、見た目も味も素晴らしい高級魚。
		○やなぎがれい	正式名称はヤナギムシガレイ。カレイの中でも最も美味と評されている。
		○あまだい	関西ではグジとも呼ばれる高級食材。
	加工食品	○米菓 ○笹団子 ○塩干物	製法・味付けで種類は様々。あられにはもち米、せんべいにはうるち米が使われる。戦国時代の携帯食として伝わる。あんこが入ったヨモギ餅を笹の葉で包んだもの。鮭、筋子、たらこ等、日本海の新鮮な海の幸をそのままパックした。
	その他	○ラーメン	新潟は全国有数のラーメン大国で、店舗数も多い。
		○のっぺ	素材を生かした素朴な越後の郷土料理。
	酒類	○わっぱ飯	薄味のだし汁で炊き上げた飯米をわっぱに入れ、鮭やとと豆を並べて蒸し上げる。
		○地酒	米処新潟ならではの淡麗辛口の酒。市内に蔵元は15。エチゴビールは日本の地ビール第1号であり、カーブドッチでは樽熟成を経た本格的な辛口のワインもつくられている。
工芸品等	○新潟漆器 ○仏壇	新潟は変わり塗の宝庫といわれ、平成15年に国の伝統的工芸品に指定された。県内最大の仏壇産地であり、江戸時代中期の「白木仏壇」に始まるとされる。	

4. 交通・運輸

(1) 観光アクセス

新潟市と他地域とを結ぶ交通手段は、空路、陸路、海路がある。

空路は平成 24 (2012) 年から、国内線は 8 路線 (札幌 (千歳)、成田、名古屋 (中部)、名古屋 (小牧)、大阪 (伊丹)、福岡、沖縄 (那覇)、佐渡) 運行する。札幌へは 3 便 (夏に増便)、成田へは 1 便、名古屋 (中部) へは 2 便、名古屋 (小牧) へは 1 便、大阪へは 9 便、福岡へは 3 便、沖縄へは 1 便 (10 月～5 月のみ)、佐渡へは 4 便、毎日運航する。国際線は 4 路線 (ソウル、上海、ハルビン、グアム) が運行する。ウラジオストク線、ハバロフスク線は現在運休中である。

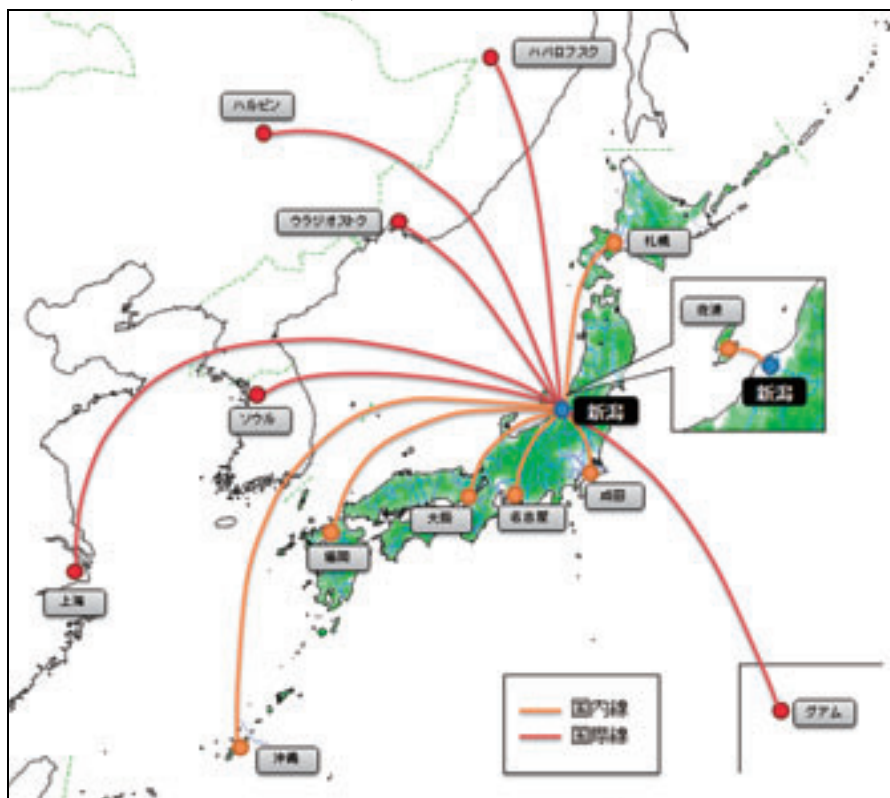
海路は、6 路線 (佐渡・両津航路の 2 路線と小樽、秋田、敦賀の各 1 路線、及び苫小牧・秋田航路の 1 路線) である。

鉄道は、東京方面からは「上越新幹線とき」と「快速ムーンライト越後 (臨時夜行)」が出ており、秋田方面からは「特急いなほ」、山形方面からは「快速きらきらうえつ (臨時)」、福島方面からは「快速あがの」と「快速 SL ばんえつ物語」、金沢方面からは「特急北越」が出ている。

自動車でのアクセスは、東京方面からは関越自動車道と北陸自動車道、茨城・栃木・青森・盛岡・仙台・山形・福島方面からは磐越自動車道、長野方面からは上信越自動車道、富山・金沢方面からは北陸自動車道の利用となる。

また長距離バスが、東京方面からの 16 便をはじめとして、大阪・京都、仙台、山形、郡山、会津若松、長野、金沢、富山、名古屋、高崎・前橋から、それぞれ 1～8 便運航している。

図表 2-9 空路の状況



資料：新潟空港ホームページ等を基に作成

図表2-10 陸路、海路の状況



(2) 市内交通

市内観光の足として、信濃川遊覧水上交通、本市出身の漫画家の作品が車体に描かれた観光循環バス（ドカベン号と犬夜叉号）、いずれのステーションからでも貸出・返却できるレンタサイクルなどが利用できる。

● 新潟市観光循環バス 「ドカベン号・犬夜叉号」	新潟市中心部、中央区内の観光施設を効率よく廻る「新潟市観光循環バス」。新潟市出身の漫画家・水島新司さんの「ドカベン」と高橋留美子さんの「犬夜叉」のキャラクターをバスデザインに採用し通年で運行している。JR 新潟駅万代口発着で乗り降りは新潟市内中心部 18 ヶ所。チューリップの形のバス停が目印。11 ヶ所の観光施設の割引特典が付いた 1 日乗車券も販売している。
● 路線バス	新潟市内の路線バスは、新潟交通（株）1 社で運行している。バスターミナルは中央区の JR 新潟駅万代口と新潟駅南口、万代シティバスセンターの 3 ヶ所にあり、JR 新潟駅万代口と万代シティバスセンターには、バス案内所がある。また、大型イベント・コンサート・スポーツ大会開催時の臨時バスも運行されている。
● 観光タクシー	経験豊富なタクシー乗務員が新潟市内を案内する。北前船の最大の寄港地の名残を残す新潟市内中心部を巡るコースや郊外の豪農の館を訪ねるコースなど、観光客の都合に合わせた観光が楽しめる。
● 信濃川水上バス・遊覧船	日本一の大河、信濃川をめぐる水上バス。信濃川河口部の「新潟市歴史博物館（みなとぴあ）」または「朱鷺メッセ」から萬代橋をくぐり、上流の観光物産施設「新潟ふるさと村」の間を信濃川ウォーターシャトルが運航している。 また、屋形船ばんだい丸は全便貸切運航。食事とともに信濃川遊覧を楽しめる。
● レンタサイクル	リサイクル自転車を利用し 3 時間 100 円の格安料金で利用できる「にいがたレンタサイクル」。20 ヶ所の観光施設・ホテルなどに貸出・返却ステーションがあり、貸出場所と返却場所が一致しなくてもかまわない便利なシステムとなっている。 ルイガノやビアンキなどの 25 台の高級自転車を利用できるのが「スマートクルーズ」。新潟市中央区内 7 ヶ所のターミナルで貸出を行っている。

5. 観光関連計画

(1) 新・新潟市総合計画（平成19年度～平成26年度）

「田園とみなとまちが恵みあい、共に育つまち」を基本理念に掲げ、「人びとの英知が集う、日本海交流開港都市」を目指すまちの姿とする。「地域と共に育つ、分権型協働都市」「大地と共に育つ、田園型拠点都市」「世界と共に育つ、日本海交流都市」「安心と共に育つ、くらし快適都市」「市民と共に育つ、教育文化都市」の5つの都市像を描き、まちづくりを進める。

(2) 古町周辺地区まちづくり基本計画～みなとまちにいがた わくわくプラン～

（平成18年3月～概ね10年間）

本市の顔とも言うべき古町およびその周辺地区は、古くから北前船の寄港地として栄え、横浜や神戸などと並び開港5港にも選ばれた「湊まち」としての歴史を持つ地区だが、全国的には「湊まち」としてのイメージは高くない。また、人々のライフスタイルの変化、長く続いた景気の低迷などの影響もあり、以前のようなまちなかの賑わいは薄れつつある。

そこで、この古町およびその周辺地区がもっと「湊まち新潟」を実感できるまち、いつも賑わいにあふれ「わくわく」するまちとなつて、市内はもちろん市外、県外、そして世界中の国からたくさんの人に訪れて欲しいとの想いから「みなとまちにいがた わくわくプラン」が策定された。

【基本コンセプト】

街並みと賑わいが織り成す歴史模様

何度でも訪れたい湊まち ふるまち

【5つの基本方針】

- ・ 湊まちの息吹を感じる、個性豊かなまちを目指します
- ・ 賑わいにあふれ、訪れた人にとって便利で楽しいまちを目指します
- ・ すべての人に快適で、楽しく回遊できるまちを目指します
- ・ 新しい文化や活動が生まれるまちを目指します
- ・ たくさんの人が暮らしたくなるまちを目指します

(3) 新潟市シティプロモーション推進戦略プラン（平成 18 年度～平成 26 年度）

本市は魅力的な資源に恵まれている一方で、県のイメージが先行し、市の魅力が十分に伝わらず、都市イメージがそれほど強く認識されてこなかった。

また、四季の日本海や豊かな大地からもたらされる食の魅力も、統一的なアピールがなされなかったため、本市の魅力としては確立されていなかった。

そこで、平成 17 年の大合併や政令指定都市移行に伴い、新しい新潟市の特徴を改めて見つめ直し、魅力的で个性的な都市づくりを進めるとともに、それを広く伝えることにより、人やモノ、情報、技術、文化の集積と交流を生み出し、新しい産業や雇用の創出につなげてくため「シティプロモーション戦略プラン」を策定するに至った。

計画では、本市の魅力である「食と花」「みなとまち」をキーワードとして次の 3 点をシティプロモーション推進の柱として取り組んでいく。

- ① 都市イメージ確立
- ② 集客・交流の拡大
- ③ 日本海政令市の推進

シティプロモーションを推進するための基盤整備の柱として、次の 3 点への取り組みも併せて行う。

- ① 魅力の整備
- ② 拠点性の整備
- ③ 推進体制の確立

(4) 新潟市 中心市街地活性化基本計画（平成 20 年 3 月～平成 25 年 3 月）

これまで本市では、人口や経済が右肩上がりに伸びて行くことを想定し、市街地の拡大、またそのインフラ整備を進めることとし、新潟市のまちづくりにおける最も上位計画に位置する総合計画の中でもそのように示してきた。

しかし、近年では新潟市の人口増加も微増、横ばいに留まっており、日本全体が人口減少時代を迎えていることから、今後は市の総人口も減少に転ずると想定されている。その際、人口増加を前提として開発を進めてきた宅地や商業地が歯抜け状に低未利用地として残り、多額のコストをかけて新たに整備した道路や下水道などのインフラが有効利用されない恐れがあるばかりか、防犯・防災面からも好ましくない環境を作り出すことも懸念される。

こうした背景から、今後はこれまで整備してきた市街地や社会資本を有効に活用し、あるいはその質を高めていく方向へ施策を転換し、その上で市民生活の質や満足度を高めていくこととする。

【中心市街地活性化の目標】

① 賑わい・交流の促進

「たくさんの人で賑わい、交流が生まれる中心市街地」

② まちなか居住の促進

「みなとまちの歴史が薫る、人に優しく、暮らしたくなる中心市街地」

③ 都市型雇用の創出

「たくさんの人が働き、良質なサービスを提供する中心市街地」

(5) トキめき佐渡・にいがた観光圏整備計画（平成22年～平成26年）

現在、新潟市と佐渡市はカーフェリーで2時間30分、ジェットfoilで約1時間という近さにあり、北前船を始めとする海運で結ばれて来たという歴史上の繋がりも深い。また、近年では新潟市を始め本州に飛来する特別天然記念物・トキも話題に上がっている。

東アジアのゲートウェイとして国際的な拠点性や都市機能に優れ、かつ、みなとまち文化と田園文化が融合する「新潟市」と、朱鷺を始めとした豊かな自然や伝統文化・芸能などに恵まれ、国内屈指の観光地の一つである「佐渡市」が、観光面において広域な連携を推進することにより、誘客や滞在日数の拡大を目指すことを当観光圏形成の目的とする。

【基本方針】

- ① ゆったり感を大切に旅の演出で宿泊数の増加を目指す
- ② 新潟らしさ、佐渡らしさの磨きだし
- ③ 新しい観光イメージの創出
- ④ 世界に開かれた空港を軸にしたインバウンド推進
- ⑤ 「まちぐるみのおもてなし」によるホスピタリティの増進
- ⑥ 情報発信力の強化による観光ブランドイメージの確立

第3章 観光動向調査 調査概要

第3章 観光動向調査 調査概要

国の共通基準による観光地点パラメータ調査に準じたアンケート調査を市内観光地点・宿泊施設において実施した。

さらに、観光地点の補足調査として主にビジネス目的の入込客の動向を把握するため、交通施設においても同様の調査を実施した。

1. 調査実施日及び調査地点

(1) 観光地点等調査

① 観光地点調査

調査日時：平成23年8月28日（日） 10:00～17:00・・・夏季

（天候：晴時々曇 気温：最高 28.6℃、最低 23.3℃）

平成23年11月20日（日） 10:00～17:00・・・秋季

（天候：雨時々曇 気温：最高 17.1℃、最低 7.4℃）

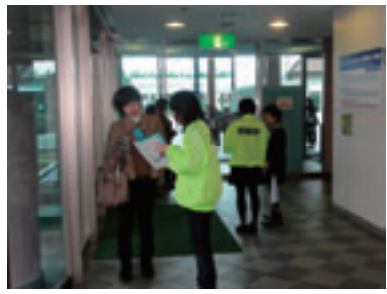
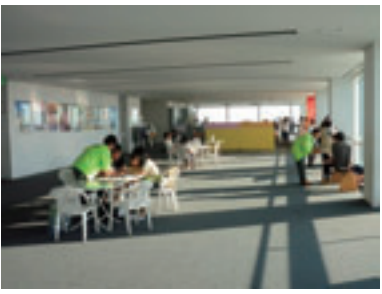
平成24年1月22日（日） 10:00～17:00・・・冬季

（天候：曇 気温：最高 8.0℃、最低 1.5℃）

調査地点：マリニピア日本海・Befco ばかうけ展望室・ピア Bandai・新潟せんべい王国・北方文化博物館・カーブドッチ

調査方法：調査員（2名）による自計又は他計方式により実施

《調査風景》

		
マリニピア日本海	Befco ばかうけ展望室	ピア Bandai
		
新潟せんべい王国	北方文化博物館	カーブドッチ

② 交通施設補足調査

調査日時：平成23年 8 月 29 日（月） 10:00～17:00・・・夏季

（天候：晴れ一時薄曇 気温：最高 28.6℃、最低 23.3℃）

平成23年11月21日（月） 10:00～17:00・・・秋季

（天候：雨、あられを伴う 気温：最高 8.3℃、最低 2.6℃）

平成24年 1 月 23 日（月） 10:00～17:00・・・冬季

（天候：雪一時雨、あられを伴う 気温：最高 6.2℃、最低-0.9℃）

調査地点：新潟駅 ※夏季は東西連絡通路、秋季・冬季は新幹線待合室にて調査

調査方法：調査員（2名）による自計又は他計方式により実施

《調査風景》

		
東側連絡通路	西側連絡通路	新幹線待合室

(2) 宿泊施設調査

調査日時：平成23年 8 月 4 日（木）～平成23年 9 月 4 日（日）・・・夏季

平成23年11月 1 日（火）～平成23年11月30日（水）・・・秋季

平成24年 1 月 7 日（土）～平成24年 2 月 4 日（土）・・・冬季

調査地点：市内宿泊施設 10 施設

調査方法：宿泊施設での留め置き方式により実施

2. 調査項目

旅行目的・観光情報源・旅行形態と人数・新潟市来訪回数・宿泊数と利用宿泊施設・立ち寄った観光地点・新潟市以外の訪問市町村・利用交通機関・観光消費額・再来訪意向・個人属性（性別、年齢、職業、居住地）

3. 回収結果

No.	調 査	夏 季	秋 季	冬 季
(1)	観光地点調査	551 票	500 票	435 票
	交通施設補足調査	22 票	48 票	55 票
(2)	宿泊施設調査	258 票	280 票	193 票

第4章 観光地点調査結果・分析

第4章 観光地点調査結果・分析

1. 調査結果

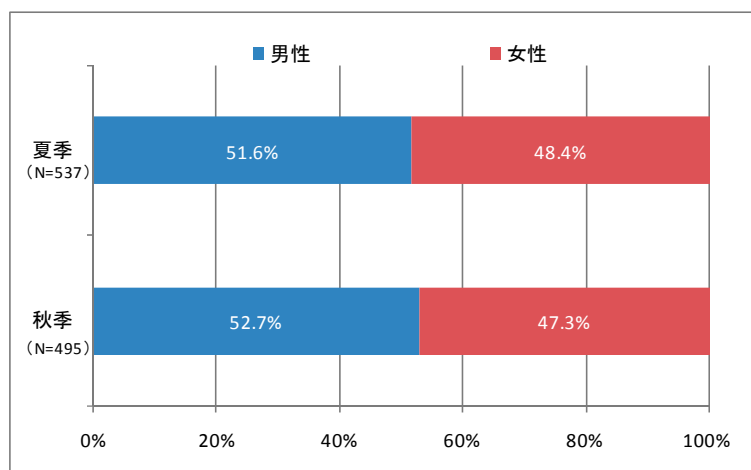
以下に、夏季及び秋季における観光地点での調査結果を示す。冬季については別冊に示す。

(1) 回答者の個人属性（性別・年齢・職業・居住地）

①性 別

・各季節ともに「男性」の占める割合が高く、秋季の「男性」の占める割合は夏季に比べ1.1ポイント高くなっている。

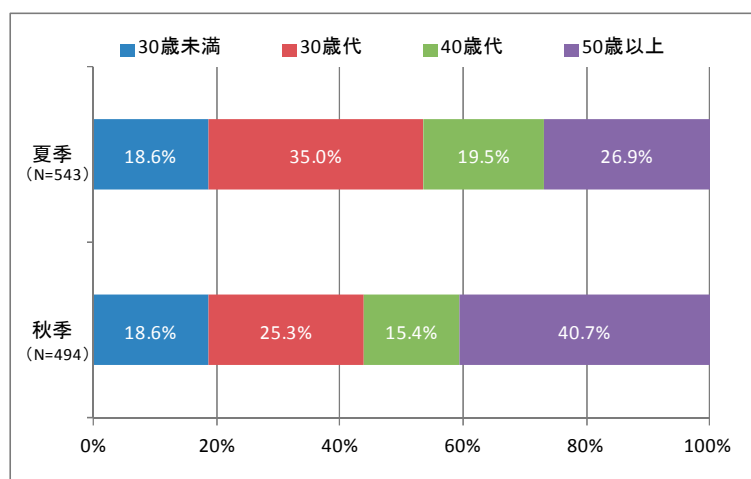
- ・夏季では「男性」の占める割合が51.6%と女性より3.2ポイント高くなっている。
- ・秋季では「男性」の占める割合が52.7%と女性より5.4ポイント高くなっている。



②年 齢

・各季節ともに「30歳未満」の占める割合が同一で、夏季は40歳未満、秋季は40歳以上が5割以上を占めている。

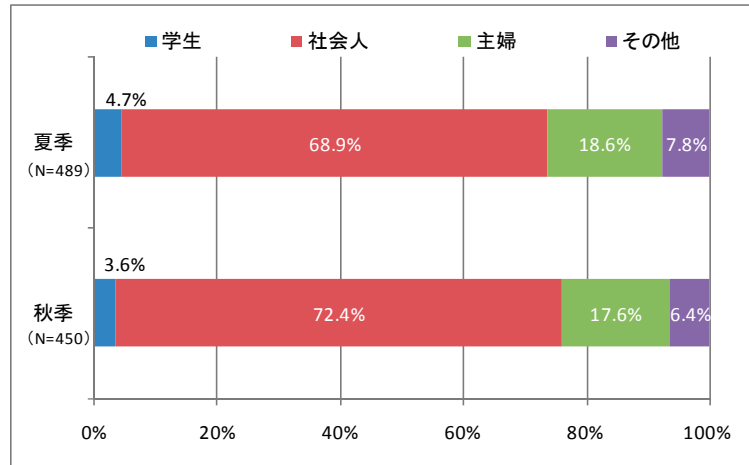
- ・夏季では「30歳代」が最も高く35.0%、次いで「50歳以上」が26.9%となっている。
- ・秋季では「50歳以上」が最も高く40.7%、次いで「30歳代」が25.3%となっている。



③職 業

- ・各季節ともに「社会人」の占める割合が最も高く、秋季の「社会人」を占める割合は夏季に比べ3.5ポイント高くなっている。

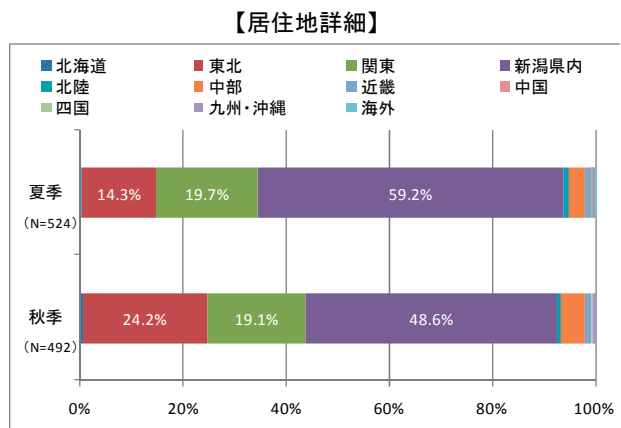
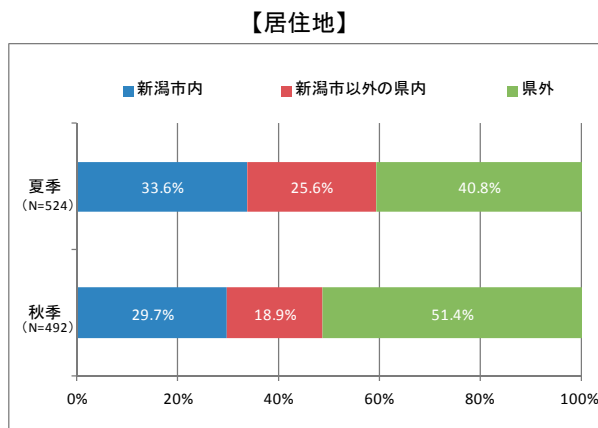
- ・夏季では「社会人」が最も高く68.9%、次いで「主婦」が18.6%となっている。
- ・秋季では「社会人」が最も高く72.4%、次いで「主婦」が17.6%となっている。



④居住地

- ・居住地では、各季節ともに「県外」の占める割合が最も高く、秋季の「県外」を占める割合は夏季に比べ10.6ポイント高くなっている。
- ・居住地詳細では、各季節ともに「新潟県内」の占める割合が最も高く、次いで、夏季では「関東」、秋季では「東北」となっている。

- ・居住地の夏季では「県外」が最も高く40.8%、次いで「新潟市内」が33.6%となっている。
- ・居住地の秋季では「県外」が最も高く51.4%、次いで「新潟市内」が29.7%となっている。
- ・居住地詳細の夏季では「新潟県内」が最も高く59.2%、次いで「関東」が19.8%となっている。
- ・居住地詳細の秋季では「新潟県内」が最も高く48.6%、次いで「東北」が24.2%となっている。

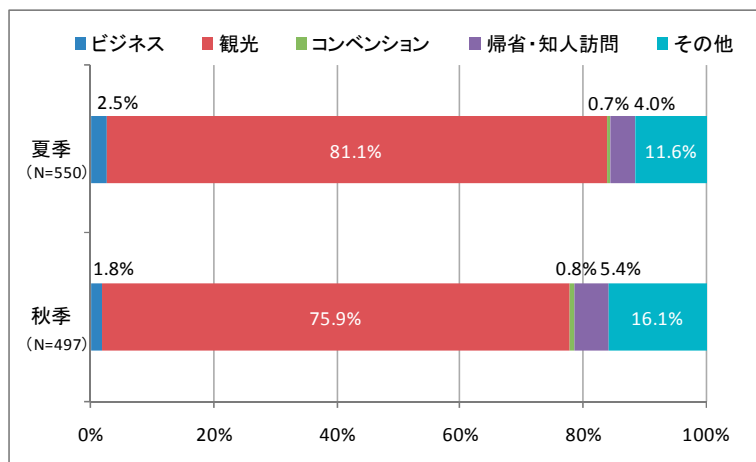


※5.0%未満の数値は非表示

(2) 旅行目的

・旅行目的は、各季節ともに「観光」の占める割合が最も高く、夏季の「観光」を占める割合は、秋季に比べ5.2ポイント高くなっている。

- ・夏季では「観光」の占める割合が最も高く81.1%、次いで「その他」が11.6%となっている。
- ・秋季では「観光」の占める割合が最も高く75.9%、次いで「その他」が16.1%となっている。



◆その他の主な内容

【夏季】

- ・結婚式、競馬などのついで
- ・イベント（結婚式、町内会行事など）

など

【秋季】

- ・食事 ・買物
- ・結婚式、スポーツなどのついで
- ・イベント（結婚式、町内会行事など）
- ・避難

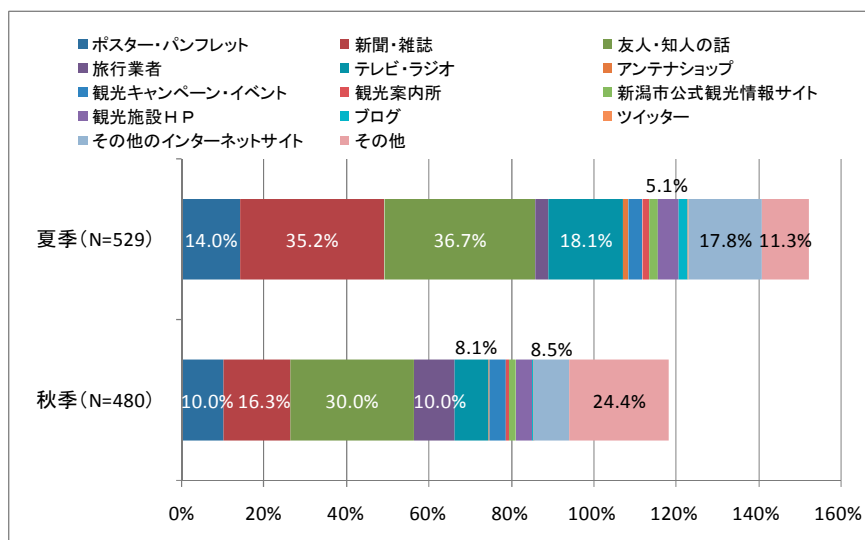
など

(3) 情報源

①旅行きっかけ時…複数回答

・旅行きっかけ時の情報源は、各季節ともに「友人・知人の話」の占める割合が最も高く、夏季の「友人・知人の話」を占める割合は、秋季に比べ6.7ポイント高くなっている。

- ・夏季では「友人・知人の話」の占める割合が最も高く36.7%、次いで「新聞・雑誌」が35.2%となっている。
- ・秋季では「友人・知人の話」の占める割合が最も高く30.0%、次いで「その他」が24.4%となっている。



◆その他の主な内容

【夏季・秋季ともに共通】

- ・以前から知っている（来たことがある）
- ・イベントなどをきっかけに知った
- ・通りがかり
- ・家族が知っていた（家族の希望で訪れた）
- ・宿泊施設、観光施設、タクシーなどの運転手の勧め
- ・看板で知った

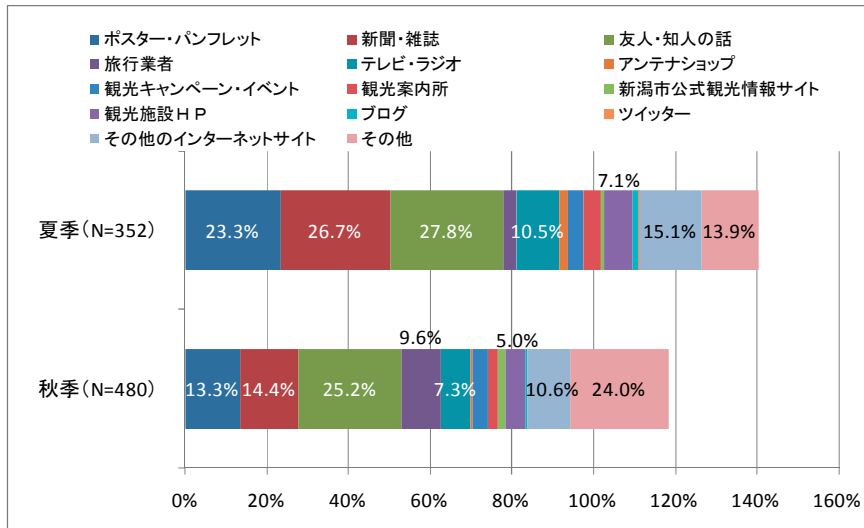
など

※5.0%未満の数値は非表示

②新潟市滞在時…複数回答

・滞在時の情報源は、各季節ともに「友人・知人の話」の占める割合が最も高く、夏季の「友人・知人の話」を占める割合は、秋季に比べ2.6ポイント高くなっている。

- ・夏季では「友人・知人の話」の占める割合が最も高く27.8%、次いで「新聞・雑誌」が26.7%となっている。
- ・秋季では「友人・知人の話」の占める割合が最も高く25.2%、次いで「その他」が24.0%となっている。



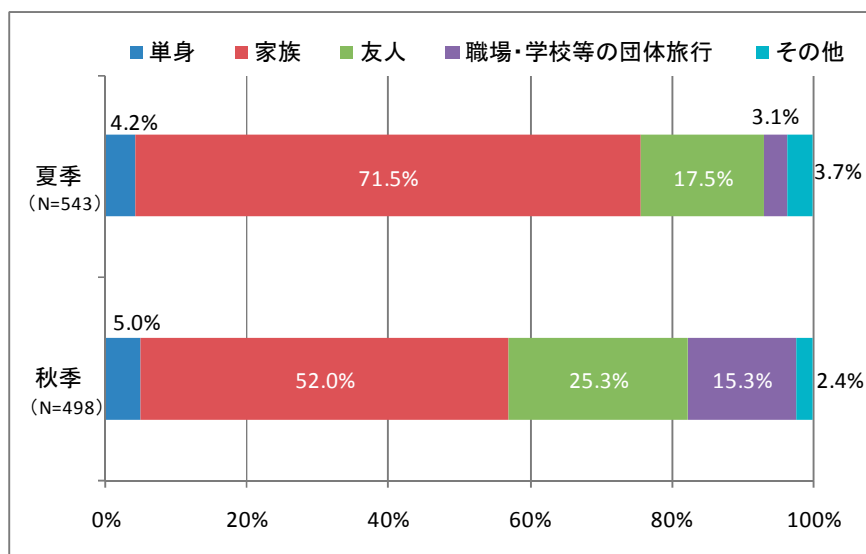
◆その他の主な内容
【夏季・秋季ともに共通】
 ・以前から知っている
 (来たことがある)
 ・イベントなどをきっかけに
 知った
 ・通りがかり
 ・家族が知っていた
 (家族の希望で訪れた)
 ・宿泊施設、観光施設、タクシー
 などの運転手の勧め
 など

※5.0%未満の数値は非表示

(4) 旅行形態

・各季節ともに「家族」の占める割合が最も高く、夏季の「家族」を占める割合は、秋季に比べ19.5ポイント高くなっている。

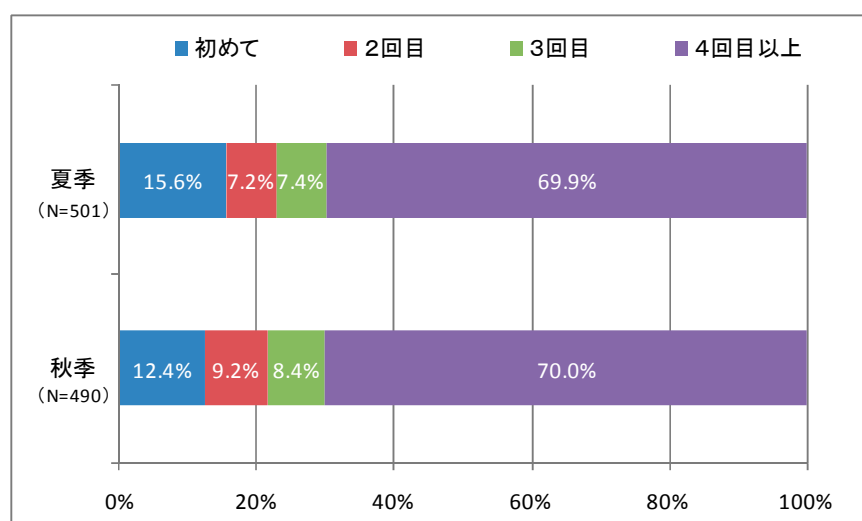
- ・夏季では「家族」の占める割合が最も高く71.5%、次いで「友人」が17.5%となっている。
- ・秋季では「家族」の占める割合が最も高く52.0%、次いで「友人」が25.3%となっている。



(5) 来訪回数

・各季節で「4回目以上」の占める割合が最も高く、夏季と秋季で「4回目以上」を占める割合に大きな差は生じていない。

- ・夏季では「4回目以上」の占める割合が最も高く 69.9%、次いで「初めて」が 15.6%となっている。
- ・秋季では「4回目以上」の占める割合が最も高く 70.0%、次いで「初めて」が 12.4%となっている。



(6) 旅行中の宿泊の有無・・・一部複数回答

【旅行中の宿泊者の有無】

- ・各季節ともに「日帰り」の占める割合が最も高く、夏季の「日帰り」を占める割合は秋季に比べ11.3ポイント高くなっている。

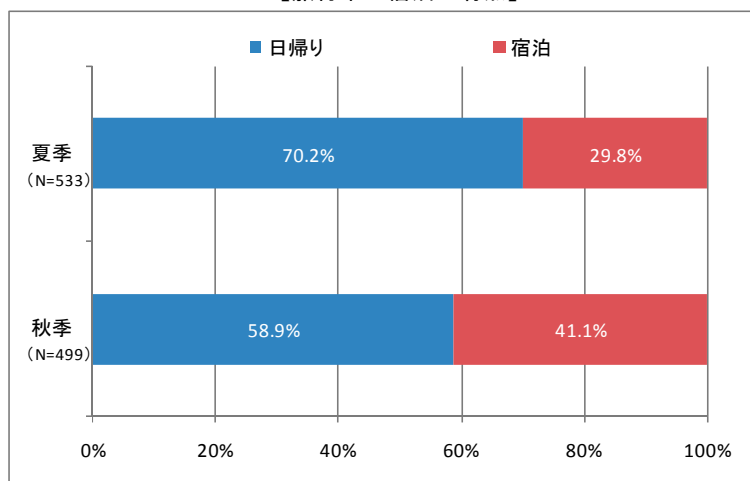
【旅行中の宿泊数と新潟市での宿泊数】

- ・旅行中の宿泊数では、各季節ともに「1泊」の占める割合が最も高く、秋季の「1泊」を占める割合は夏季に比べ18.6ポイント高くなっている。
- ・新潟市での宿泊数では、各季節ともに「1泊」の占める割合が最も高く、夏季の「1泊」を占める割合は秋季に比べ1.9ポイント高くなっている。

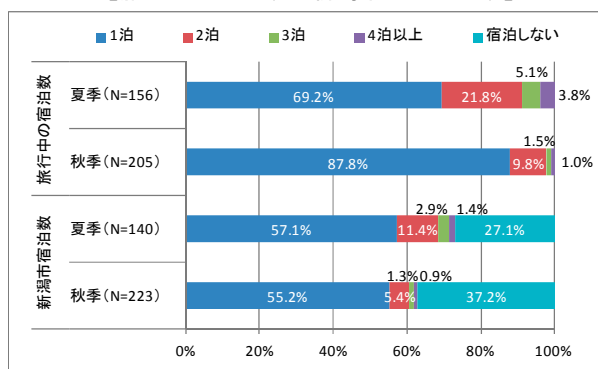
【新潟市内での宿泊施設】・・・複数回答

- ・各季節ともに「ホテル」の占める割合が最も高く、次いで「実家や知人・親戚宅」となっている。
- ・各季節の「旅館」の占める割合に大きな差は生じていない。

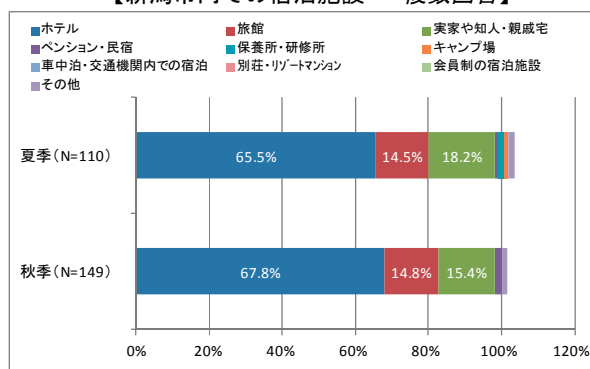
【旅行中の宿泊の有無】



【旅行中の宿泊数と新潟市での宿泊数】



【新潟市内での宿泊施設・・・複数回答】



※5.0%未満の数値は非表示

(7) 立ち寄った観光施設数および観光地点…一部複数回答

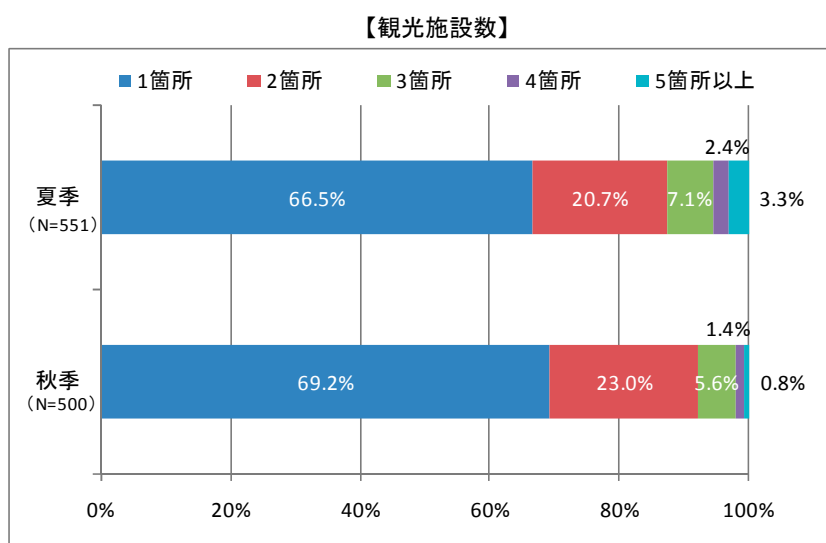
【観光施設数】

- ・立ち寄った観光施設数では、各季節ともに「1箇所」の占める割合が最も高くなっている。

【観光地点】…複数回答

- ・立ち寄った観光地点では、調査地点を除くと、各季節ともに「新潟ふるさと村」の回答数が最も多くなっている。

- ・各季節ともに立ち寄った観光施設数は「1箇所」が6割以上を占めている。



【観光地点…複数回答】

夏 季		秋 季	
地 点	回答数	地 点	回答数
マリンピア日本海（水族館）	174	せんべい王国	126
Befco ばかうけ展望室 （朱鷺メッセ 31 階）	129	マリンピア日本海（水族館）	112
せんべい王国	119	Befco ばかうけ展望室 （朱鷺メッセ 31 階）	103
カーブドッチ	106	ピア Bandai	87
ピア Bandai	77	カーブドッチ	73
北方文化博物館	53	北方文化博物館	48
新潟ふるさと村	49	新潟ふるさと村	48
白山神社	23	新潟市歴史博物館（みなとぴあ）	12
関屋浜	13	岩室温泉	10
県立自然科学館	10	今代司酒造	8

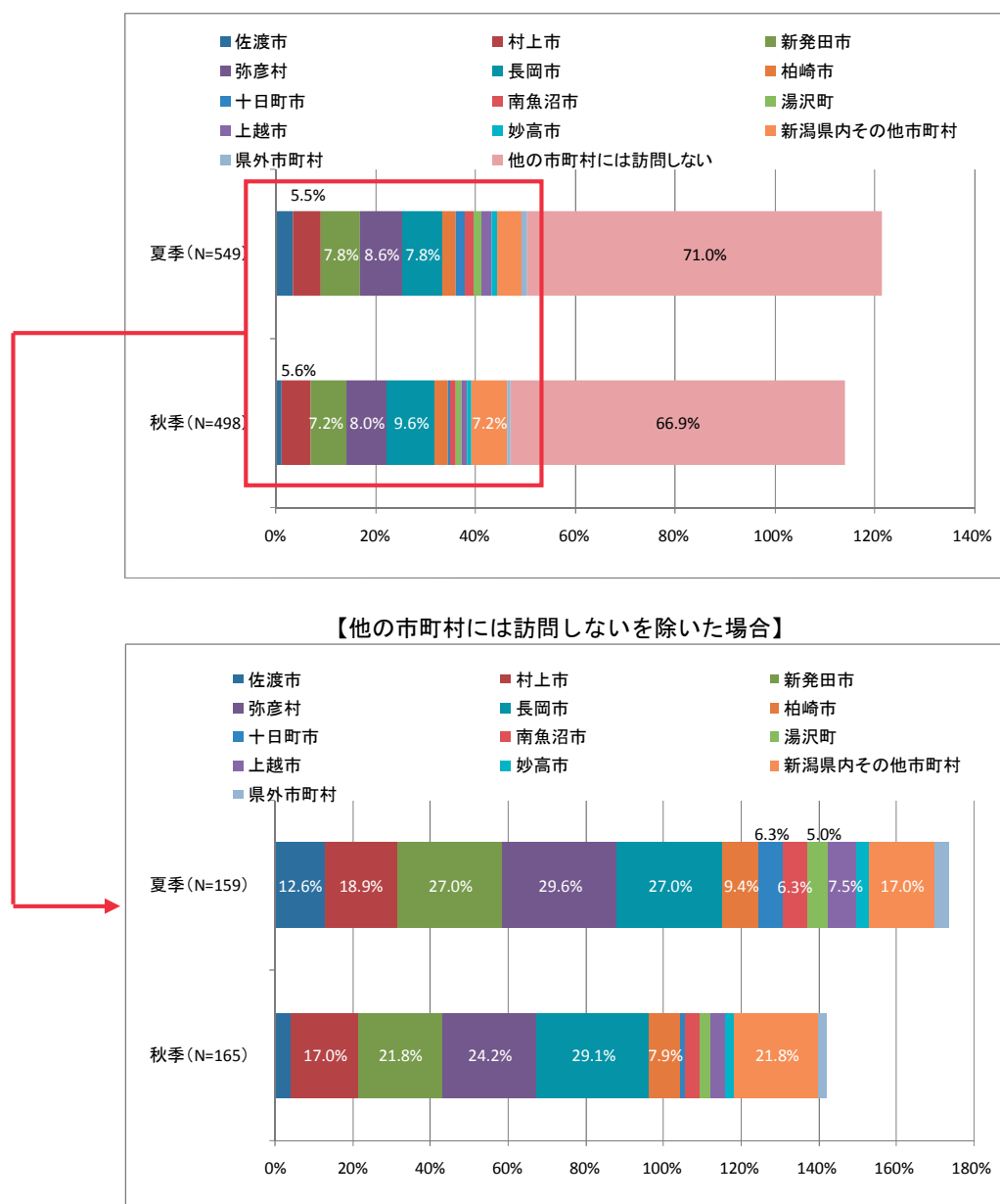
※観光地点の回答には、必ず回答をした調査地点が含まれるため調査地点の回答数が多くなっている。

(8) 新潟市以外の来訪市町村…複数回答

・新潟市以外に来訪する市町村は、「他の市町村には訪問しない」を除くと、夏季では「弥彦村」、秋季では「長岡市」の占める割合が最も高くなっている。

- ・夏季では「他の市町村には訪問しない」を除くと、「弥彦村」の占める割合が最も高く 8.6% (29.6%)、次いで「長岡市」「新発田市」が 7.8% (27.0%) となっている。
- ・秋季では「他の市町村には訪問しない」を除くと、「長岡市」の占める割合が最も高く 9.6% (29.1%)、次いで「弥彦村」が 8.0% (24.2%) となっている。

※ () 内の数字は「他の市町村には訪問しない」を除いた場合の割合。



※5.0%未満の数値は非表示

(9) 利用交通機関（新潟市来訪時・新潟市滞在時）…一部複数回答

①新潟市来訪時

・各季節ともに「自家用車」の占める割合が最も高く、夏季の「自家用車」を占める割合は秋季に比べ 15.6 ポイント高くなっている。

- ・夏季では「自家用車」の占める割合が最も高く 85.0%、次いで「JR 新幹線」が 4.3%となっている。
- ・秋季では「自家用車」の占める割合が最も高く 69.4%、次いで「貸切バス・観光バス」が 14.4%となっている。

項 目	夏季 (N=532)	秋季 (N=493)
自家用車	85.0%	69.4%
JR 新幹線	4.3%	8.3%
貸切バス・観光バス	3.6%	14.4%
JR 在来線	1.5%	1.8%
高速バス	1.1%	1.2%
フェリー	1.1%	0.0%
レンタカー	0.9%	1.2%
飛行機	0.9%	1.8%
市内路線バス	0.0%	0.8%
タクシー	0.0%	0.2%
観光タクシー	0.0%	0.2%
その他（自転車、バイク）	1.5%	0.6%
計	100.0%	100.0%

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

②新潟市滞在時…複数回答

・各季節ともに「自家用車」の占める割合が最も高く、夏季の「自家用車」を占める割合は秋季に比べ 14.4 ポイント高くなっている。

- ・夏季では「自家用車」の占める割合が最も高く 87.2%、次いで「貸切バス・観光バス」が 3.8%となっている。
- ・秋季では「自家用車」の占める割合が最も高く 72.8%、次いで「貸切バス・観光バス」が 15.0%となっている。

項 目	夏季 (N=532)	秋季 (N=492)
自家用車	87.2%	72.8%
貸切バス・観光バス	3.8%	15.0%
レンタカー	2.6%	3.0%
市内路線バス	2.3%	3.3%
タクシー	2.1%	3.3%
JR 在来線	0.9%	1.4%
新潟市観光循環バス（ドカベン号・犬夜叉号）	0.9%	1.0%
高速バス	0.2%	0.4%
フェリー	0.2%	0.2%
観光タクシー	0.2%	0.4%
レンタサイクル	0.2%	0.2%
その他（徒歩、自転車、送迎バスなど）	2.4%	1.6%
計	103.0%	102.6%

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

(10) 1人当たりの観光消費額（日帰り・宿泊）

- ・夏季では「日帰り」で1,799円、「宿泊」で16,876円、秋季では「日帰り」で3,753円、「宿泊」で17,633円となっている。
- ・秋季の「日帰り」では夏季の約2.1倍となっている。

項 目		夏 季		秋 季	
		日帰り	宿 泊	日帰り	宿 泊
合 計		1, 799	16, 876	3, 753	17, 633
内 訳	交通費	257	1, 872	281	994
	宿泊費	—	9, 405	—	9, 496
	土産代	351	2, 873	2, 955	3, 846
	飲食費	691	2, 133	347	2, 800
	入場料	413	491	122	427
	その他	87	102	48	70

※同一グループと想定される票の取扱は8人以上の団体客に対して、同居住地かつ宿泊費や交通費、パック料金が同一な回答を対象とし、各種金額の平均値を用いて算定した。

※交通費は市内分のみ計上している。

※居住地が県外の回答票において交通費を市内分市外分一括して記載されている場合は含まない。

※宿泊観光客で宿泊施設が「実家や知人・親戚宅」「(キャンプ場以外の)車中泊・交通機関での宿泊」以外の選択の回答で金額がゼロの回答は含まない。

※日帰り観光客における宿泊費の回答は含まない。

※日帰り、宿泊が無回答の回答者は含まない。

※旅行人数が無回答の回答者は含まない。

◆秋季・日帰りの土産代について

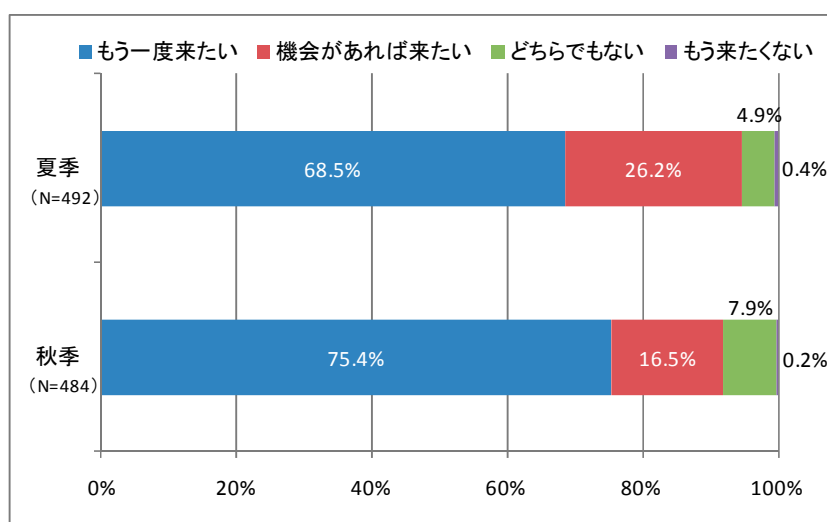
秋季・日帰りの回収票には500名、450名の団体客の票が含まれており、それぞれ土産代を6,000円、5,000円と回答している。

消費額＝ Σ 一人当たりの消費単価×人数÷ Σ 人数 で求められるため、大規模な団体客の回答の影響が大きく反映された結果となっている。

(11) 再来訪の意向

・各季節ともに「もう一度来たい」の占める割合が最も高く、秋季の「もう一度来たい」を占める割合は夏季に比べ6.9ポイント高くなっている。

- ・夏季では「もう一度来たい」の占める割合が最も高く68.5%、次いで「機会があれば来たい」が26.2%となっている。
- ・秋季では「もう一度来たい」の占める割合が最も高く75.4%、次いで「機会があれば来たい」が16.5%となっている。
- ・各季節ともに「もう一度来たい」と「機会があれば来たい」の割合の和は9割以上を占めており、来訪者の再来訪意向は高いことが想定される。



2. 観光地点調査分析（クロス集計）

以下に各設問に対して、「性別」「年代」「居住地」のクロス集計結果を示す。

(1) 個人属性

① 性別

【年代】

- ・夏季では、男女ともに「30 歳代」の占める割合が最も高く、男性では 40 歳未満が 5 割近く、女性では 5 割以上を占めている。
- ・秋季では、男女ともに「50 歳以上」の占める割合が最も高く、40 歳以上が 5 割以上を占めている。

【職業】

- ・各季節の男女ともに「社会人」の占める割合が最も高くなっている。
- ・各季節の男女ともに各職業の割合に大きな変化は見られない。

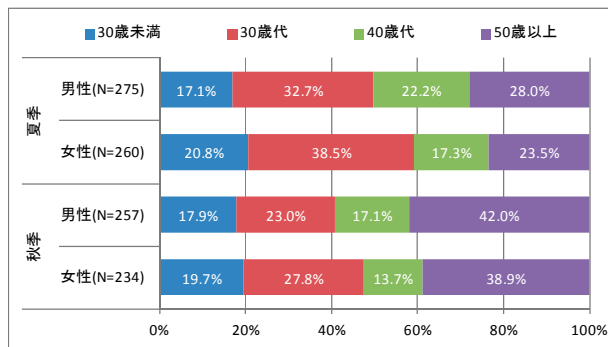
【居住地】

- ・夏季では、男性が「県外」、女性が「新潟市内」の占める割合が最も高く、秋季では男女ともに「県外」を占める割合が高くなっている。

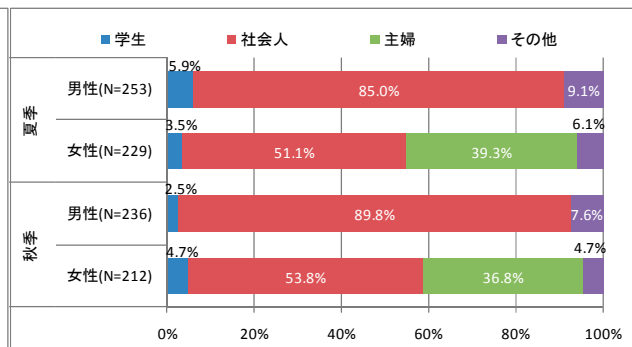
【居住地詳細】

- ・各季節の男女ともに「新潟県内」の占める割合が最も高くなっている。

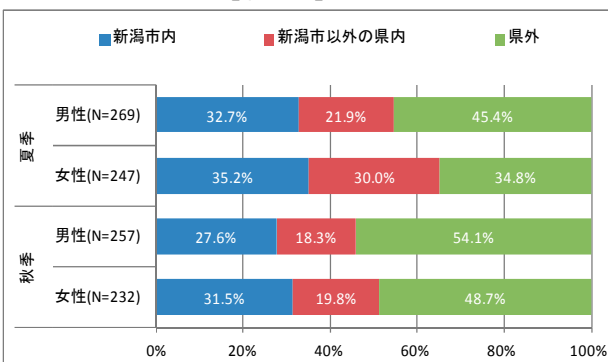
【年代】



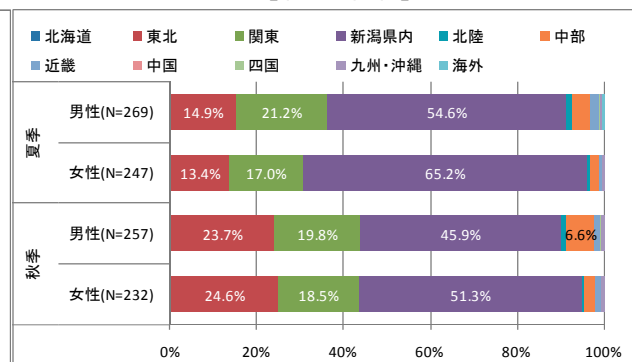
【職業】



【居住地】



【居住地詳細】



※5.0%未満の数値は非表示

②年 代

【職業】

- ・各季節の各年代ともに「社会人」の占める割合が最も高く、50歳以上では「その他」の占める割合が他の年代と比べ高くなっている。
- ・各季節の年代による職業の割合に大きな変化は見られない。

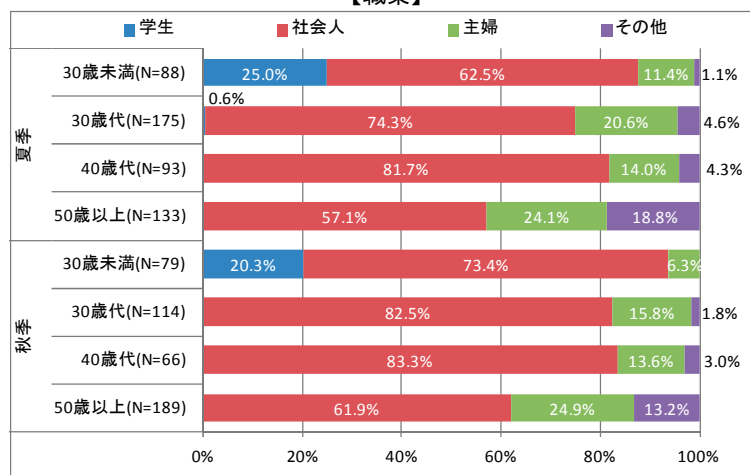
【居住地】

- ・夏季では年代が高くなるにつれ、「新潟市内」以外の占める割合が高くなっている。
- ・秋季の各年代の「県外」を占める割合は夏季に比べ高くなっている。

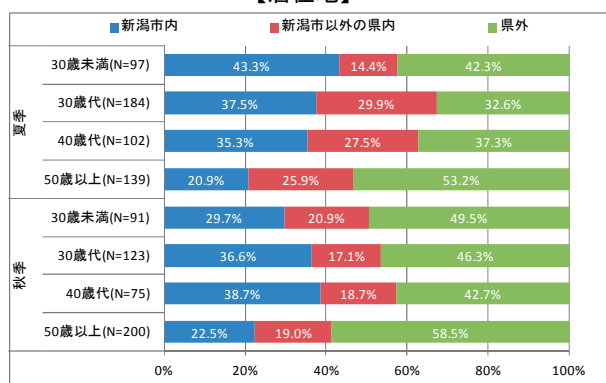
【居住地詳細】

- ・各季節の50歳以上の「東北」を占める割合は他の年代に比べ高くなっている。

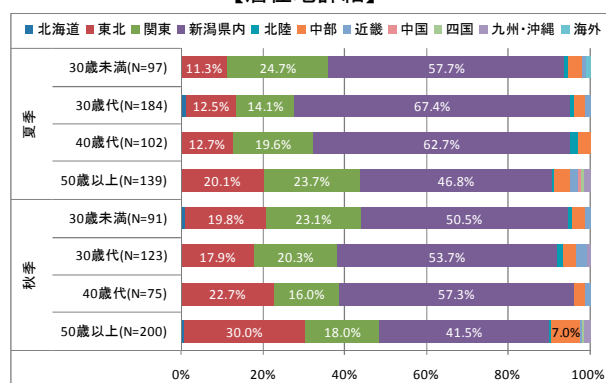
【職業】



【居住地】



【居住地詳細】



※5.0%未満の数値は非表示

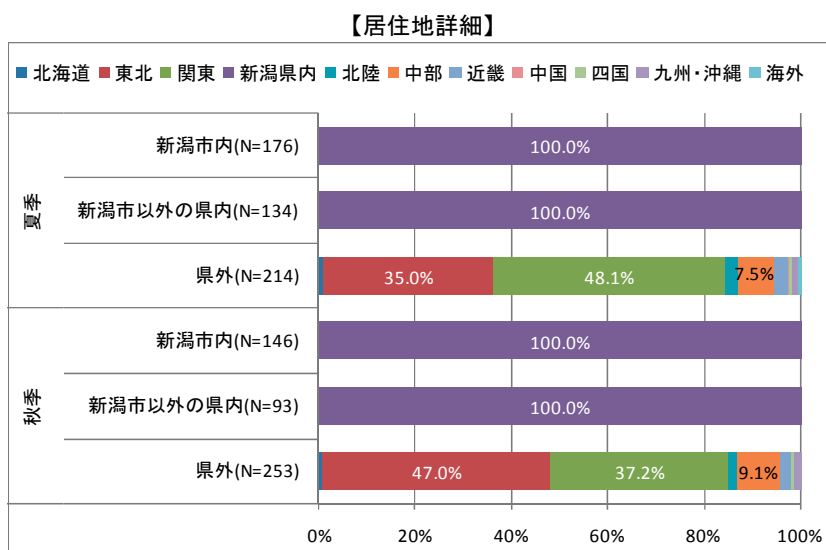
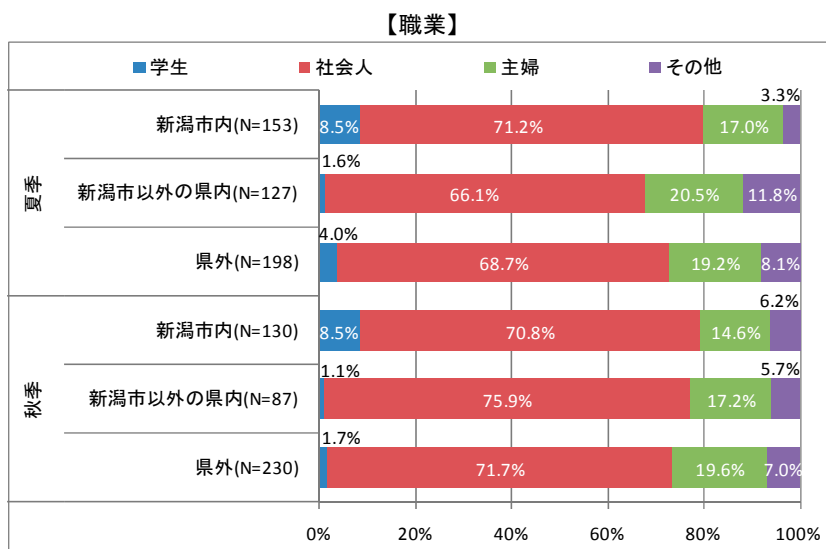
③居住地

【職業】

- ・各季節の居住地ともに「社会人」の占める割合が最も高くなっている。
- ・各季節の居住地による各職業の割合に大きな変化は見られない。

【居住地詳細】

- ・夏季の県外では「関東」が最も高く、秋季に比べ 10.9 ポイント高くなっている。
- ・秋季の県外では「東北」が最も高く、夏季に比べ 12.0 ポイント高くなっている。



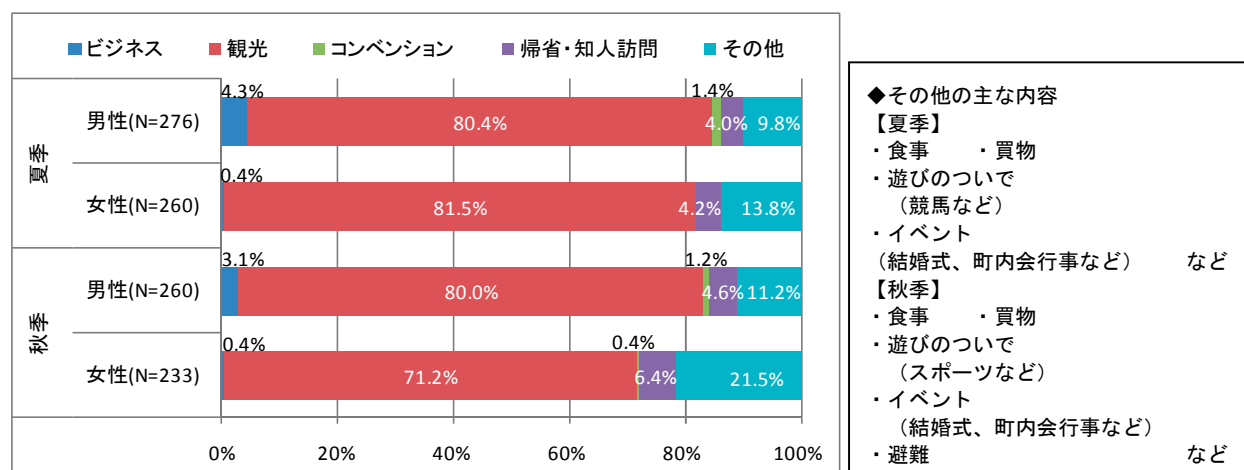
※5.0%未満の数値は非表示

(2) 旅行目的

①性 別

- ・各季節の男女ともに「観光」の占める割合が最も高くなっている。
- ・各季節の男女ともに「ビジネス」「コンベンション」「帰省・知人訪問」の占める割合に大きな差は生じていない。

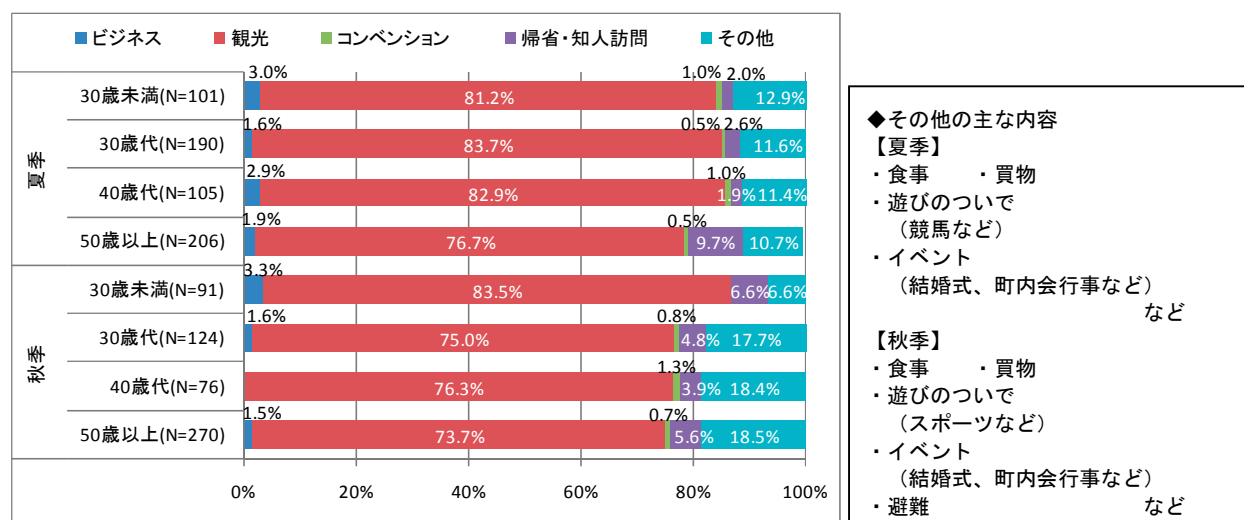
- ・各季節の男女ともに「観光」の占める割合が最も高く、次いで、「その他」となっている。
- ・夏季の男性の「ビジネス」を占める割合は4.3%、秋季は3.1%に対し、女性では各季節ともに0.4%となっている。



②年 代

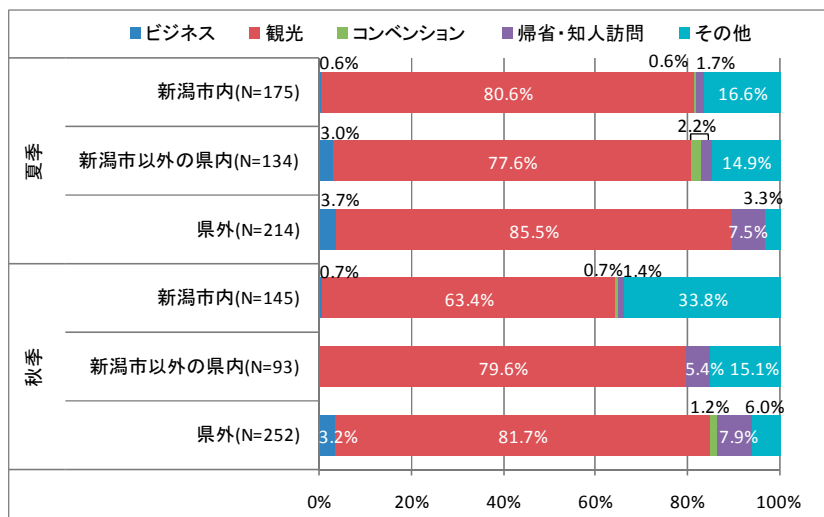
- ・各季節の各年代ともに「観光」の占める割合が最も高くなっている。
- ・秋季の30歳以上の「その他」を占める割合は、夏季に比べ高くなっている。

- ・夏季では、50歳以上の「帰省・知人訪問」を占める割合が他の年代に比べ高くなっている。
- ・秋季では、30歳未満の「観光」を占める割合が他の年代に比べ高くなっている。



③居住地

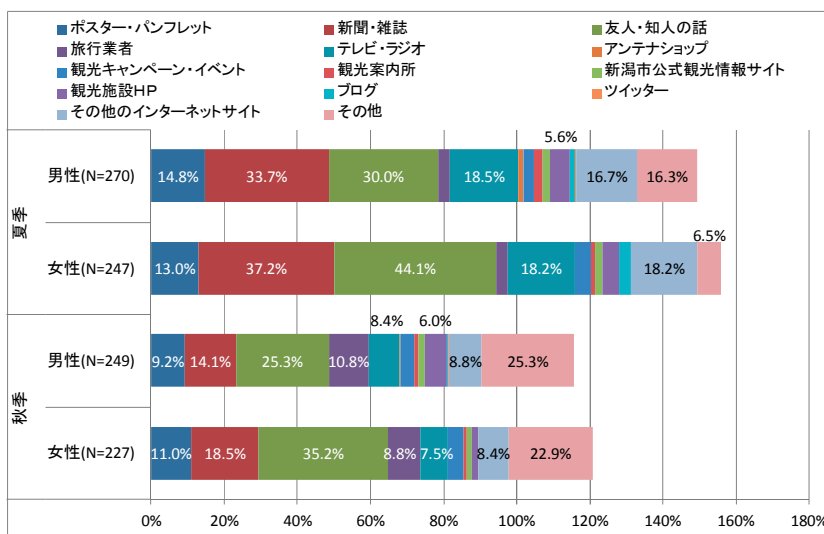
- ・各季節の各居住地ともに「観光」の占める割合が最も高くなっている。
- ・各季節の県外の「帰省・知人訪問」を占める割合は、他の居住地に比べ高くなっている。



(3)－1 情報源（旅行きっかけ時）・・・複数回答

①性 別（「その他」は“以前から知っている”の回答が多いためコメント記載はしていない）・・・複数回答

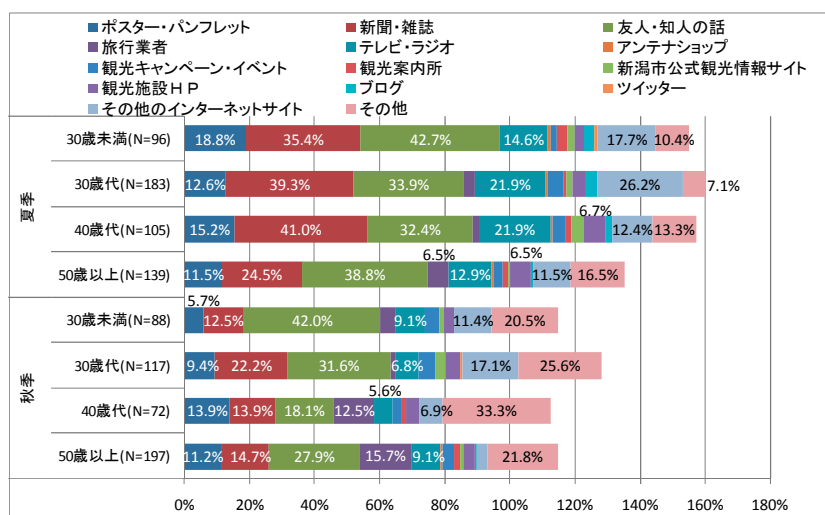
- ・夏季では、男性が「新聞・雑誌」、女性が「友人・知人の話」の占める割合が最も高くなっている。
- ・秋季の男女ともに「友人・知人の話」の占める割合が最も高くなっている。
- ・男女ともに夏季は「ポスター・パンフレット」「新聞・雑誌」「友人・知人の話」「テレビ・ラジオ」「その他インターネットサイト」、秋季は「新聞・雑誌」「友人・知人の話」の占める割合が高くなっている。
- ・男女ともに秋季の「旅行者」を占める割合は夏季に比べ高くなっている。



※5.0%未満の数値は非表示

②年 代（「その他」は“以前から知っている”の回答が多いためコメント記載はしていない）・・・複数回答

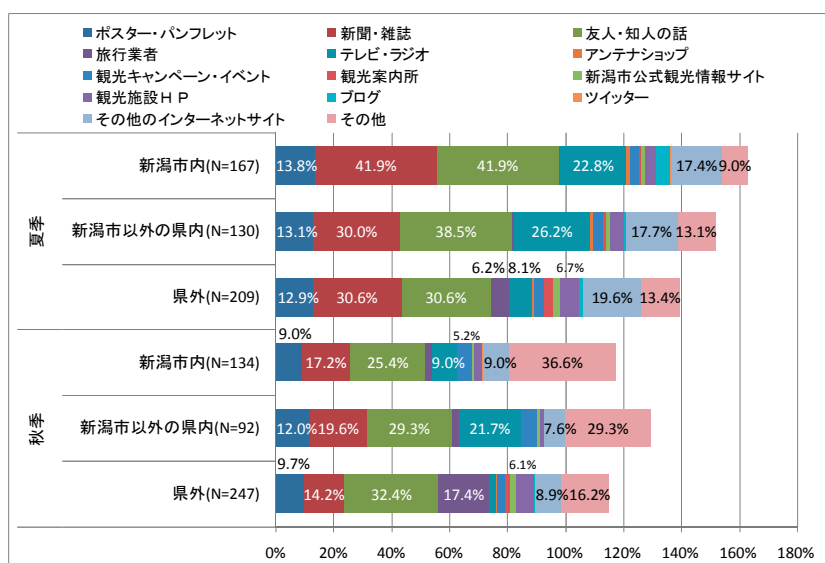
- ・各季節の各年代ともに「新聞・雑誌」もしくは「友人・知人の話」の占める割合が最も高くなっている。
- ・夏季の各年代ともに「新聞・雑誌」「テレビ・ラジオ」「その他のインターネットサイト」を占める割合は秋季に比べ高くなっている。
- ・秋季の40歳以上の「旅行業者」を占める割合は夏季に比べ高くなっている。



※5.0%未満の数値は非表示

③居住地（「その他」は“以前から知っている”の回答が多いためコメント記載はしていない）・・・複数回答

- ・夏季の各居住地ともに「新聞・雑誌」もしくは「友人・知人の話」の占める割合が最も高くなっている。
- ・秋季の各居住地ともに「友人・知人の話」の占める割合が最も高くなっている。
- ・夏季の各居住地ともに「新聞・雑誌」「テレビ・ラジオ」「その他のインターネットサイト」の占める割合は秋季に比べ高くなっている。

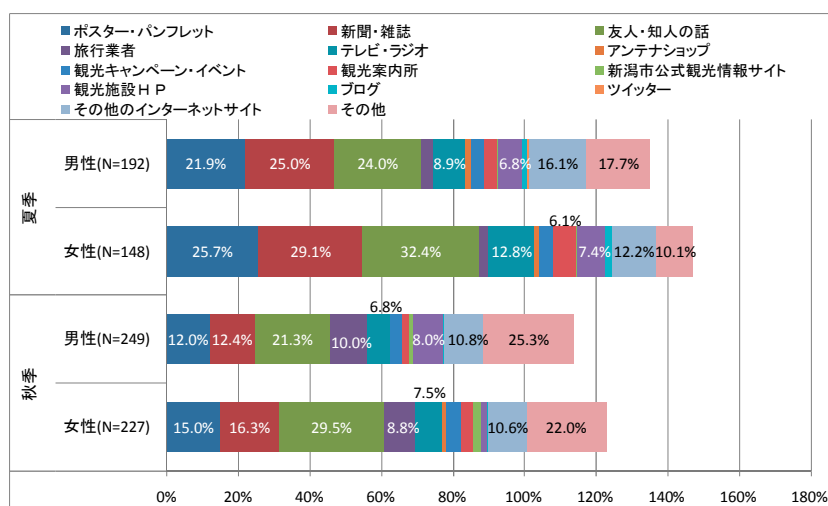


※5.0%未満の数値は非表示

(3) ー2 情報源（新潟市滞在時）・・・複数回答

①性 別（「その他」は「以前から知っている」の回答が多いためコメント記載はしていない。）・・・複数回答

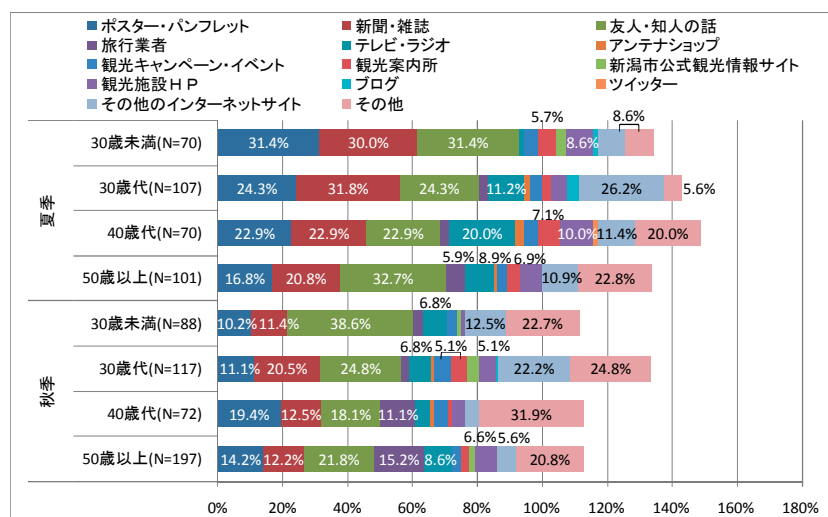
- ・夏季の男性では「新聞・雑誌」、女性では「友人・知人の話」の占める割合が最も高くなっている。
- ・秋季の男女ともに「友人・知人の話」の占める割合が最も高くなっている。
- ・各季節の男女ともに「ポスター・パンフレット」「新聞・雑誌」「友人・知人の話」「その他インターネットサイト」の占める割合が高くなっている。
- ・秋季の男女ともに「旅行者」を占める割合は夏季に比べ高くなっている。



※5.0%未満の数値は非表示。

②年 代（「その他」は「以前から知っている」の回答が多いためコメント記載はしていない）・・・複数回答

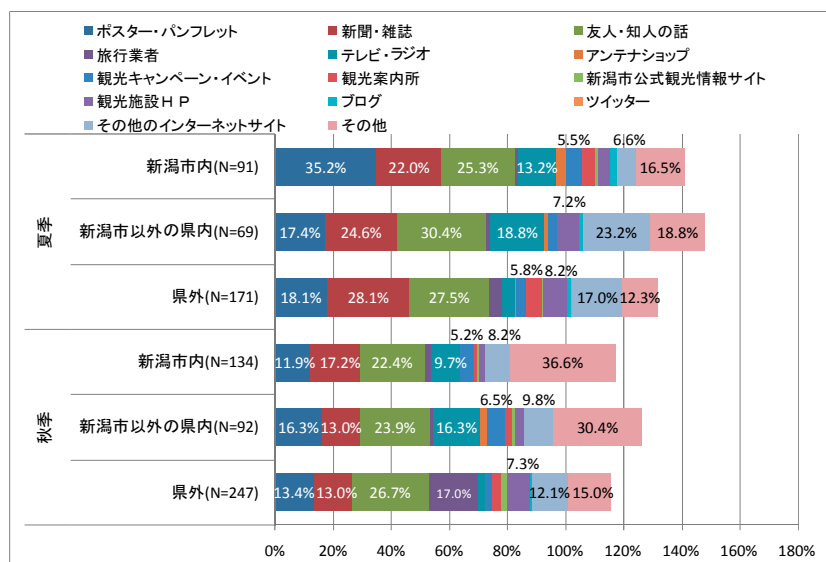
- ・各季節の各年代ともに「ポスター・パンフレット」もしくは「新聞・雑誌」「友人・知人の話」の占める割合が高くなっている。
- ・夏季の各年代ともに「ポスター・パンフレット」「新聞・雑誌」「テレビ・ラジオ」の占める割合は秋季に比べ高くなっている。
- ・秋季の40歳以上の「旅行者」を占める割合は夏季に比べ高くなっている。



※5.0%未満の数値は非表示

③居住地（「その他」は“以前から知っている”の回答が多いためコメント記載はしていない）・・・複数回答

- ・夏季では各居住地ともに「ポスター・パンフレット」「新聞・雑誌」「友人・知人の話」を占める割合は秋季に比べ高くなっている。
- ・夏季の新潟市内の「ポスター・パンフレット」を占める割合は秋季に比べ 23.3 ポイント高くなっている。



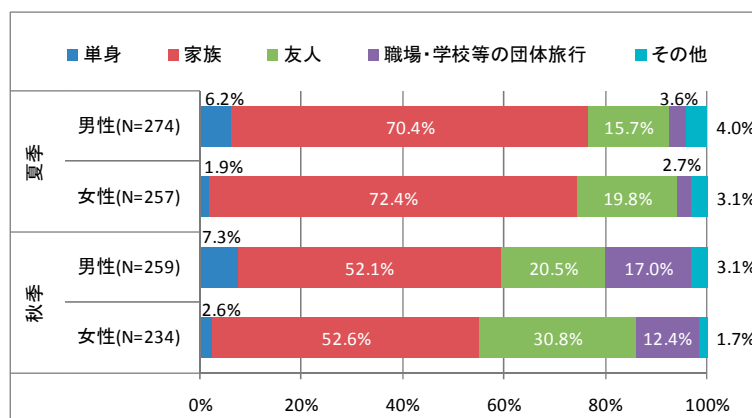
※5.0%未満の数値は非表示

(4) 旅行形態

①性 別

- ・各季節の男女ともに「家族」の占める割合が最も高くなっている。
- ・秋季の男女ともに「友人」「職場・学校等の団体旅行」の占める割合は、夏季に比べ高くなっている。

- ・各季節の男女ともに「家族」の占める割合が最も高く、次いで、「友人」となっている。
- ・秋季の「友人」を占める割合は夏季に比べ男性では 4.8 ポイント、女性では 11.0 ポイント高くなっている。
- ・秋季の「職場・学校等の団体旅行」の占める割合は夏季に比べ男性では 13.4 ポイント、女性では 9.7 ポイント高くなっている。



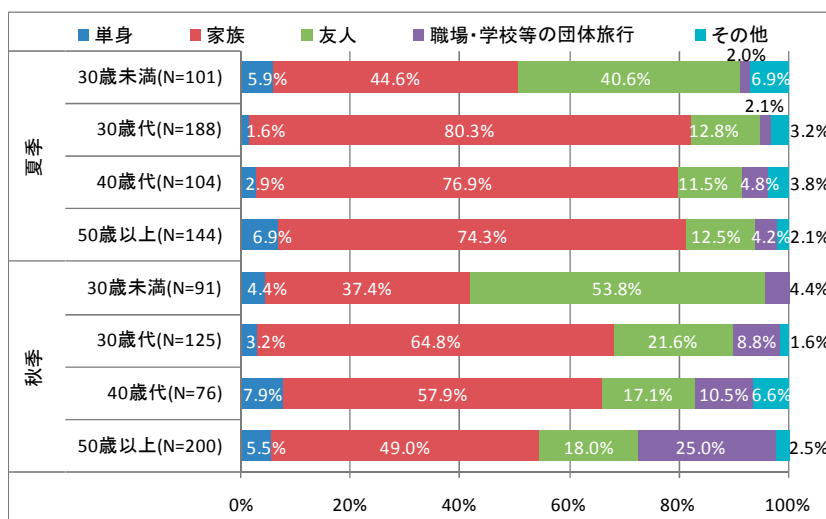
②年 代

・各季節ともに30歳未満の「家族」を占める割合は他の年代に比べ低く、「友人」を占める割合は高くなっている。

・秋季では30歳未満、30～40歳代、50歳以上で旅行形態が異なっている。

・各季節ともに30～40歳代では「家族」の占める割合が最も高く、次いで「友人」となっている。

・秋季では年代が高くなるにつれ「職場・学校等の団体旅行」の占める割合が高くなっている。



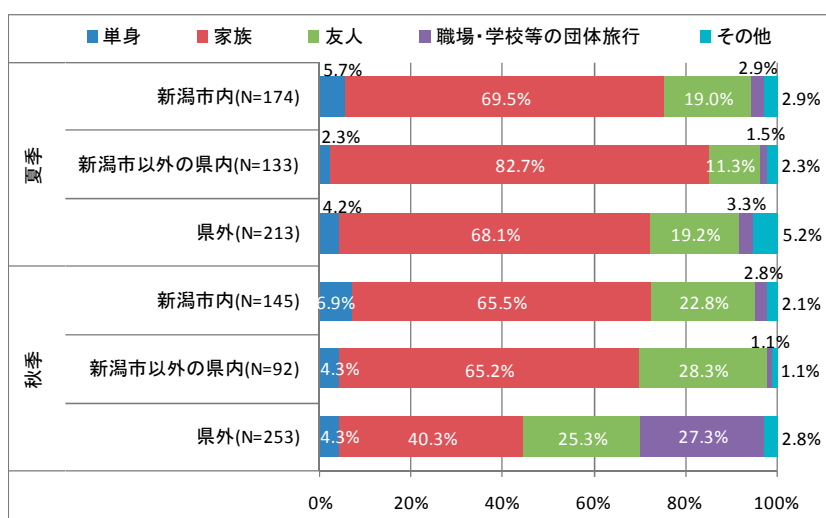
③居住地

・各季節の各居住地ともに「家族」の占める割合が最も高くなっている。

・秋季の県外の「職場・学校等の団体旅行」を占める割合は夏季に比べ高くなっている。

・夏季の各居住地ともに「家族」の占める割合が秋季に比べ高くなっている。

・秋季の各居住地ともに「友人」の占める割合が夏季に比べ高くなっている。

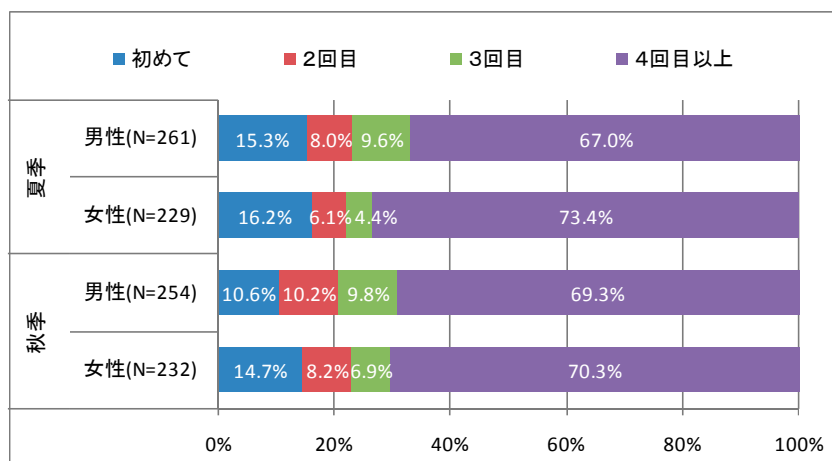


(5) 来訪回数

①性 別

・各季節の男女ともに「4回目以上」の占める割合が最も高くなっている。

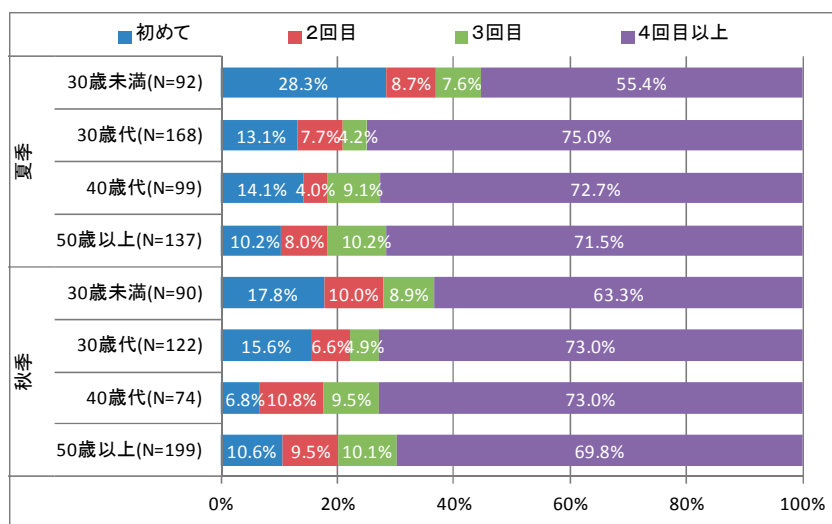
- ・各季節の男女ともに「4回目以上」の占める割合が最も高く、次いで、「初めて」となっている。
- ・各季節の男女ともに来訪回数の割合に大きな差は生じていない。



②年 代

・各季節の各年代とも「4回目」の占める割合が最も高くなっている。

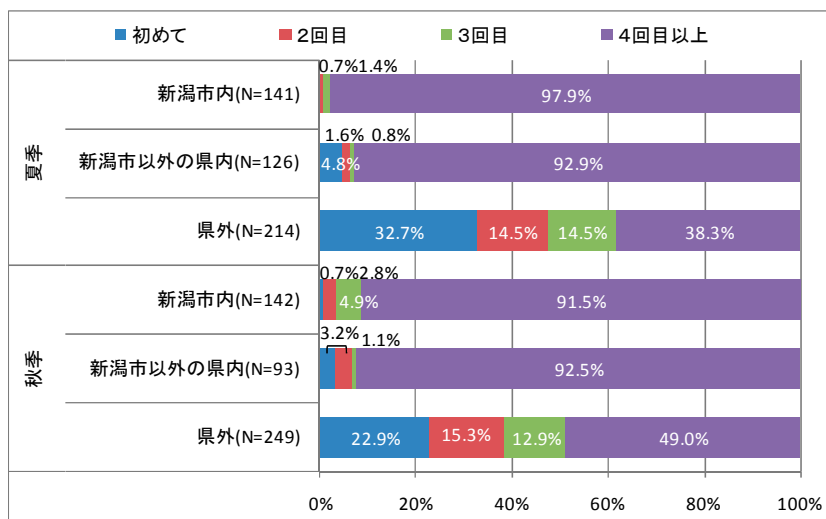
- ・各季節の各年代とも「4回目」の占める割合が最も高くなっている。
- ・夏季の30歳未満の「初めて」を占める割合は、他の年代に比べ高くなっている。



③居住地

- ・各季節の各居住地ともに「4回目以上」の占める割合が最も高くなっている。
- ・各季節の県外の「初めて」「2回目」「3回目」を占める割合は、他の居住地に比べ高くなっている。

- ・各季節の新潟市内、新潟市以外の県内ともに「4回目以上」を占める割合はそれぞれ9割以上を占めている。



(6) 旅行中の宿泊の有無…一部複数回答

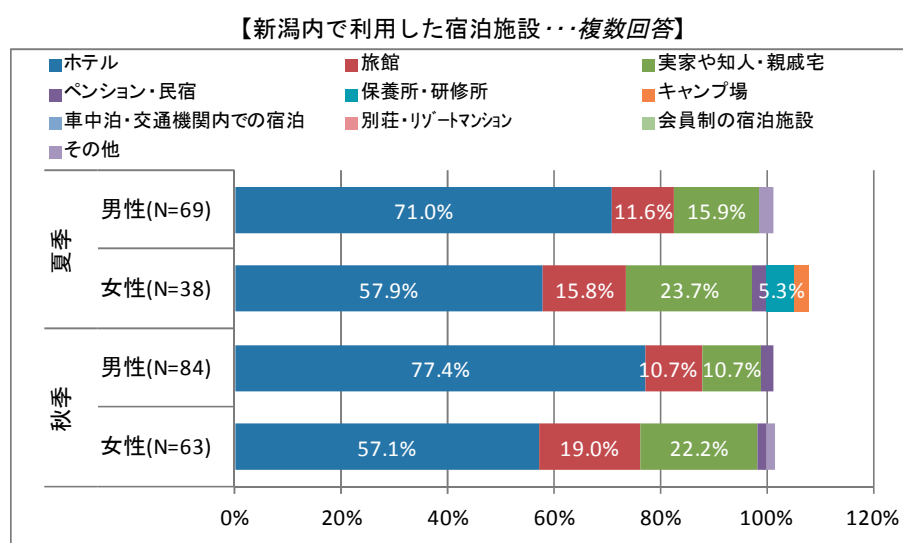
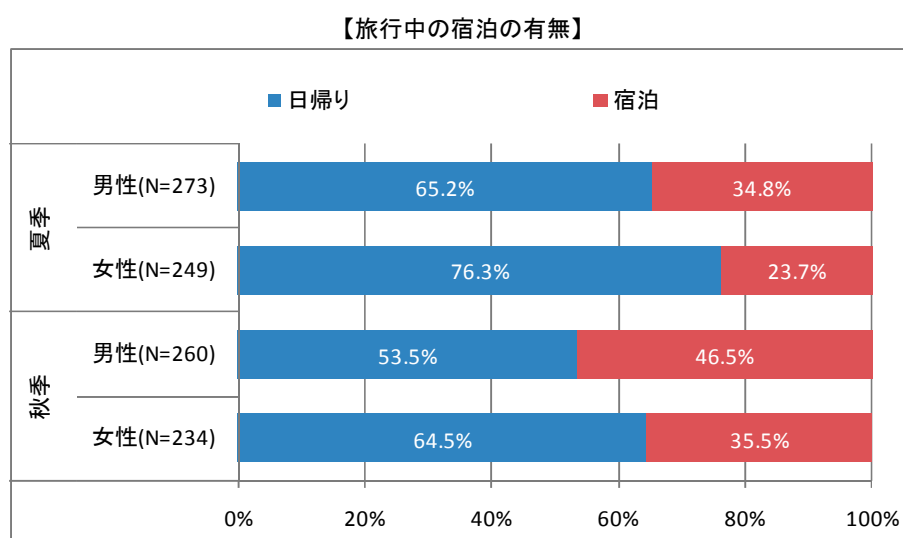
①性 別…一部複数回答

【旅行中の宿泊の有無】

- ・各季節の男女ともに「日帰り」の占める割合が高くなっている。
- ・男女ともに秋季の「宿泊」を占める割合は夏季に比べ高くなっている。

【新潟市内で利用した宿泊施設】…複数回答

- ・各季節の男女ともに「ホテル」の占める割合が最も高くなっている。
- ・各季節の女性の「旅館」「実家や知人・親戚宅」を占める割合は男性に比べ高くなっている。
- ・男性の秋季「宿泊」の占める割合は夏季に比べ、11.7ポイント高くなっている。
- ・女性の秋季「宿泊」の占める割合は夏季に比べ、11.8ポイント高くなっている。
- ・各季節の男女ともに、「ホテル」の占める割合が最も高く、次いで「実家や知人・親戚宅」と高くなっている。



※5.0%未満の数値は非表示

②年 代…一部複数回答

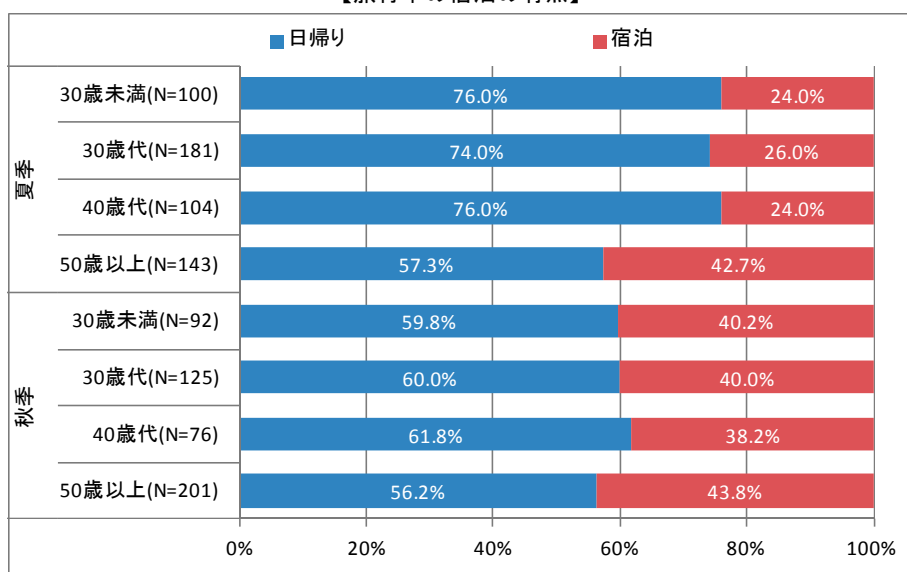
【旅行中の宿泊の有無】

- ・各季節の各年代ともに「日帰り」の占める割合が高くなっている。
- ・夏季では50歳以上の「宿泊」を占める割合は他の年代に比べ高くなっている。

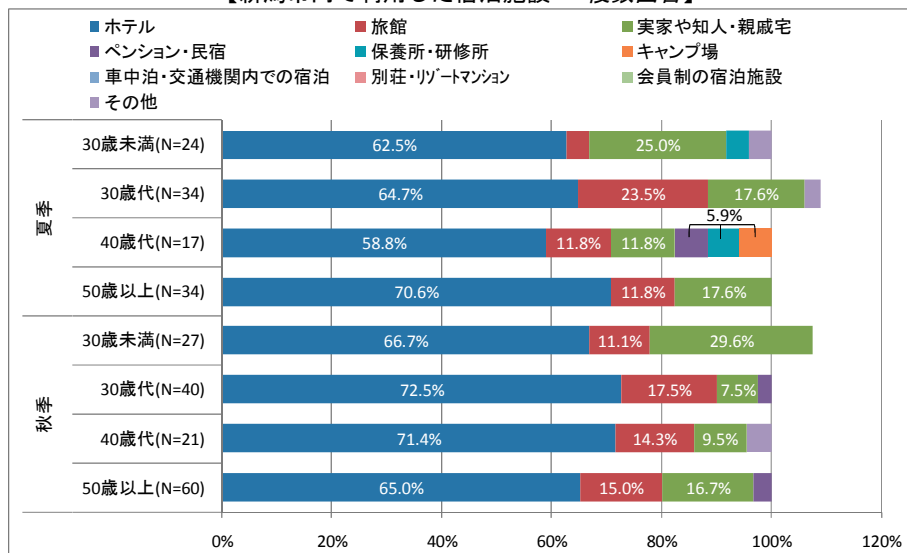
【新潟市内で利用した宿泊施設…複数回答】

- ・各季節の各年代ともに「ホテル」の占める割合が最も高くなっている。
- ・各季節の各年代ともに「ホテル」「旅館」「実家や知人・親戚宅」の占める割合が大部分を占める。

【旅行中の宿泊の有無】



【新潟市内で利用した宿泊施設…複数回答】



※5.0%未満の数値は非表示

③居住地…一部複数回答

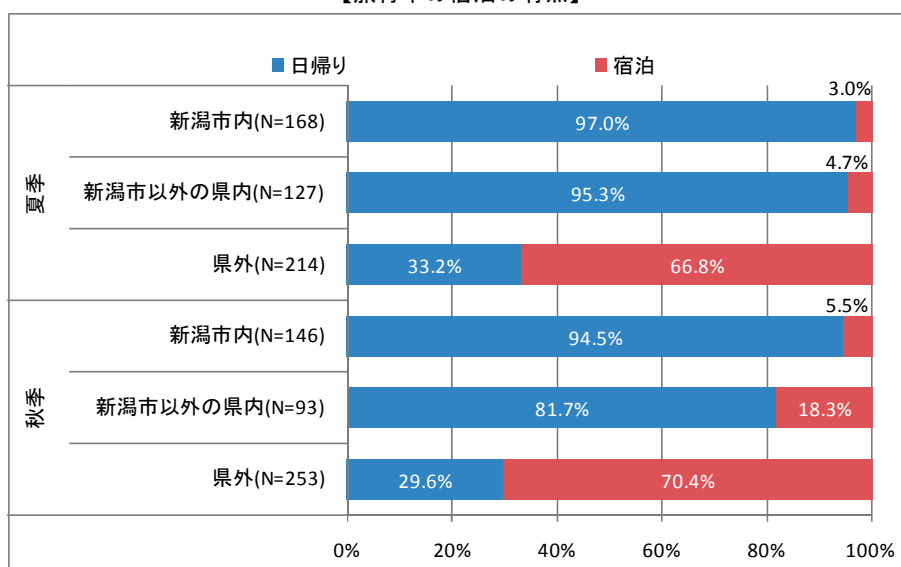
【旅行中の宿泊の有無】

- ・各季節の新潟市内、新潟市以外の県内では「日帰り」、県外では、「宿泊」の占める割合が高くなっている。
- ・秋季の各居住地ともに「宿泊」を占める割合は夏季に比べて高くなっている。

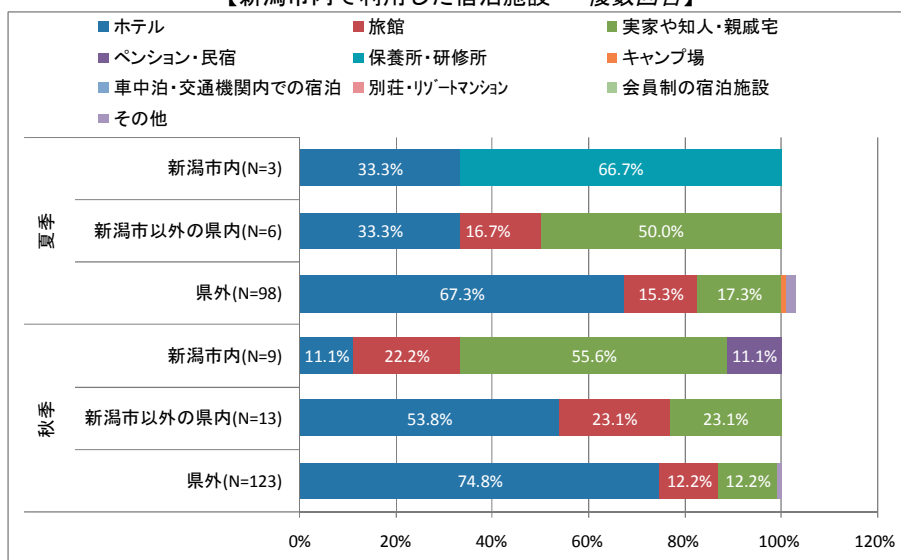
【新潟市内で利用した宿泊施設】…複数回答

- ・各季節の県外では、「ホテル」の占める割合が最も高くなっている。
- ・夏季の県外の「旅館」「実家や知人・親戚宅」を占める割合は秋季に比べ高くなっている。

【旅行中の宿泊の有無】



【新潟市内で利用した宿泊施設…複数回答】



※5.0%未満の数値は非表示

(7) 立ち寄った観光施設数及び観光地点…一部複数回答

①性 別…一部複数回答

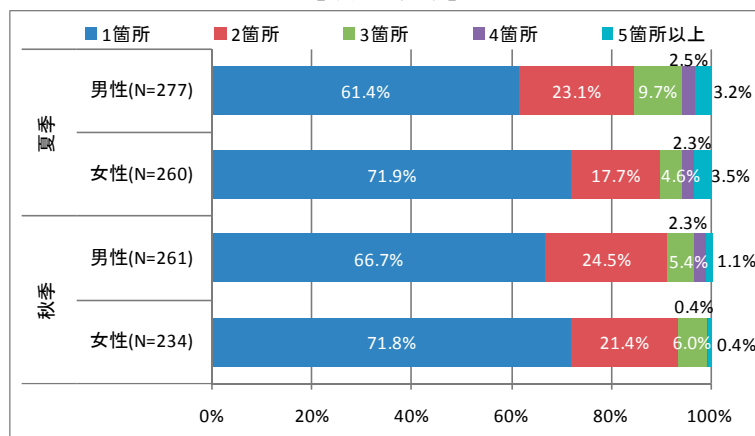
【観光施設数】

- ・各季節の男女ともに「1箇所」の占める割合が最も高くなっている。
- ・各季節の男女ともに立ち寄った観光施設数の割合に大きな差は生じていない。

【観光地点】…複数回答

- ・調査地点を除くと各季節の男女ともに「新潟ふるさと村」の回答が最も多くなっている。
- ・各季節ともに調査地点を除くと男性では「県立自然科学館」、女性では「白山神社」「新潟市歴史博物館」や「岩室温泉」の回答があった。

【観光施設数】



【観光地点…複数回答】

夏 季		秋 季	
男 性	女 性	男 性	女 性
1. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (83)	1. マリンピア日本海 (水族館) (106)	1. せんべい王国 (78)	1. マリンピア日本海 (水族館) (58)
2. マリンピア日本海 (水族館) (67)	2. せんべい王国 (52)	2. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (55)	2. カーブドッチ (51)
3. せんべい王国 (63)	2. カーブドッチ (52)	3. マリンピア日本海 (水族館) (54)	3. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (48)
4. カーブドッチ (54)	4. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (46)	4. ピア Bandai (48)	4. せんべい王国 (46)
5. 北方文化博物館 (38)	5. ピア Bandai (42)	5. 北方文化博物館 (34)	5. ピア Bandai (37)
6. ピア Bandai (32)	6. 新潟ふるさと村 (20)	6. 新潟ふるさと村 (28)	6. 新潟ふるさと村 (19)
7. 新潟ふるさと村 (28)	7. 白山神社 (9)	7. カーブドッチ (21)	7. 北方文化博物館 (14)
8. 白山神社 (11)	7. 北方文化博物館 (9)	8. 県立自然科学館 (6)	8. 新潟市歴史博物館 (みなとぴあ) (7)
9. 県立自然科学館 (6)	9. 関屋浜 (7)	9. 護国神社 (5)	8. 岩室温泉 (7)
10. 関屋浜 (6)	10. 新潟市歴史博物館 (みなとぴあ) (6)	9. 新潟市歴史博物館 (みなとぴあ) (5)	10. 白山神社 (3)
	10. 岩室温泉 (6)	9. 今代司酒造 (5)	10. 新潟県立万代島美術館 (3)
			10. 中野邸美術館 (3)
			10. 今代司酒造 (3)

※ () 内の数字は回答数
 ※観光地点の回答には、必ず回答をした調査地点が含まれるため調査地点の回答数が多くなっている

②年 代…一部複数回答

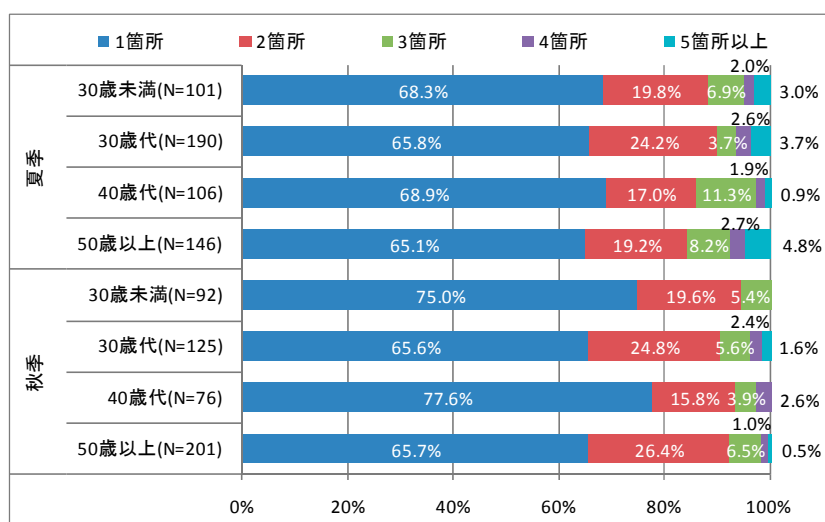
【観光施設数】

- ・各季節の各年代ともに「1箇所」の占める割合が最も高くなっている。
- ・各季節の各年代ともに立ち寄った観光施設数の割合に大きな差は生じていない。

【観光地点】…複数回答

- ・調査地点を除くと夏季の各年代ともに「新潟ふるさと村」の回答が多くなっている。
- ・夏季の各年代ともに「関屋浜」「角田浜」といった海水浴場の回答があった。
- ・調査地点を除くと秋季の各年代ともに「新潟ふるさと村」の回答が最も多くなっている。
- ・秋季の各年代ともに「新潟市歴史博物館（みなとぴあ）」などの文化施設の回答があった。

【観光施設数】



【観光地点…複数回答】

夏季			
30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代
1. せんべい王国 (25)	1. マリンピア日本海 (水族館) (76)	1. マリンピア日本海 (水族館) (35)	1. マリンピア日本海 (水族館) (37)
1. マリンピア日本海 (水族館) (25)	2. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (44)	2. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (29)	2. せんべい王国 (33)
1. カーブドッチ (25)	3. カーブドッチ (40)	3. せんべい王国 (21)	3. 北方文化博物館 (32)
4. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (24)	4. せんべい王国 (36)	4. カーブドッチ (17)	4. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (31)
5. ピア Bandai (16)	5. ピア Bandai (27)	5. ピア Bandai (16)	5. カーブドッチ (24)
6. 新潟ふるさと村 (5)	6. 新潟ふるさと村 (13)	6. 新潟ふるさと村 (9)	6. 新潟ふるさと村 (21)
6. 白山神社 (4)	7. 北方文化博物館 (10)	7. 北方文化博物館 (8)	7. ピア Bandai (16)
7. 北方文化博物館 (3)	8. 県立自然科学館 (7)	8. 白山神社 (4)	8. 白山神社 (7)
7. 関屋浜 (3)	9. 関屋浜 (6)	8. レインボータワー (4)	9. 角田浜 (5)
8. 護国神社 (2)	10. 白山神社 (5)	10. 関屋浜 (3)	10. 日本海タワー (4)
8. 白根グレープガーデン (2)			10. 新潟県立万代島美術館 (4)
8. ビッグスワン (2)			10. 新潟市歴史博物館 (みなとぴあ) (4)
8. 日本海タワー (2)			

() 内の数字は回答数

※観光地点の回答には、必ず回答をした調査地点が含まれるため調査地点の回答数が多くなっている

秋季			
30 歳未満	30 歳代	40 歳代	50 歳以上
1. マリンピア日本海 (水族館) (33)	1. マリンピア日本海 (水族館) (39)	1. ピア Bandai (22)	1. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (52)
2. せんべい王国 (31)	2. ピア Bandai (30)	2. せんべい王国 (20)	2. せんべい王国 (50)
3. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (15)	3. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (25)	3. マリンピア日本海 (水族館) (16)	3. カーブドッチ (35)
4. ピア Bandai (11)	4. カーブドッチ (21)	4. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (10)	4. 北方文化博物館 (32)
5. カーブドッチ (9)	5. せんべい王国 (20)	5. カーブドッチ (7)	5. ピア Bandai (24)
6. 新潟ふるさと村 (8)	6. 新潟ふるさと村 (11)	5. 新潟ふるさと村 (7)	5. マリンピア日本海 (水族館) (24)
7. 北方文化博物館 (4)	7. 新潟市歴史博物館 (みなとびあ) (6)	7. 北方文化博物館 (6)	7. 新潟ふるさと村 (21)
8. ビッグスワン (2)	7. 北方文化博物館 (6)	8. 県立自然科学館 (2)	8. 岩室温泉 (8)
9. 天寿園 (1)	9. 白山神社 (4)	10. 護国神社 (1)	9. 新潟市歴史博物館 (みなとびあ) (3)
9. 會津八一記念館 (1)	9. 今代司酒造 (4)	10. 重要文化財笹川邸 (1)	9. 護国神社 (3)
9. 新潟市歴史博物館 (みなとびあ) (1)		10. 水の公園福島潟 (1)	
9. 雪梁舎美術館 (1)		10. 天寿園 (1)	
9. 今代司酒造 (1)		10. 新潟市歴史博物館 (みなとびあ) (1)	
9. カーブドッチヴィネスパ (1)		10. 月潟郷土産物資料館 (1)	
		10. 今代司酒造 (1)	
		10. 四ツ郷屋浜 (1)	
		10. カーブドッチヴィネスパ (1)	
		10. ビッグスワン (1)	

() 内の数字は回答数

※観光地点の回答には、必ず回答をした調査地点が含まれるため調査地点の回答数が多くなっている

③居住地…一部複数回答

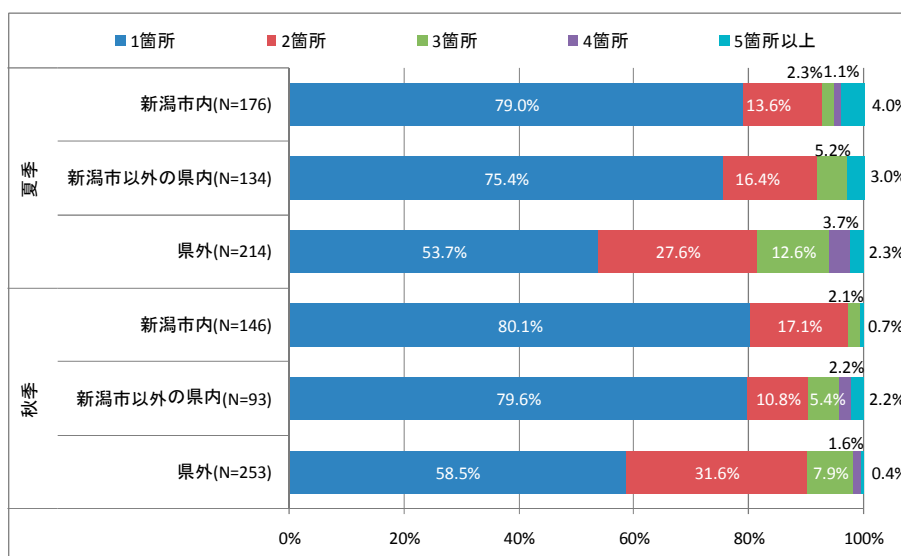
【観光施設数】

- ・各季節の各居住地ともに「1箇所」の占める割合が最も高くなっている。
- ・各季節の県外の「2箇所以上」を占める割合は他の居住地に比べ高くなっている。

【観光地点】…複数回答

- ・調査地点を除くと夏季の各居住地ともに「新潟ふるさと村」または「白山神社」の回答が最も多くなっている。
- ・夏季の新潟市以外の回答では「関屋浜」「角田浜」といった海水浴場の回答があった。
- ・調査地点を除くと秋季の各居住地ともに「新潟ふるさと村」の回答が最も多くなっている。
- ・秋季では「新潟市歴史博物館（みなとぴあ）」や「新潟県立美術館」などの文化施設の回答があった。

【観光施設数】



【観光地点…複数回答】

夏 季			
新潟市内	新潟市以外の県内	県外	海外
1. カーブドッチ (66)	1. マリンピア日本海 (水族館) (49)	1. マリンピア日本海 (水族館) (79)	1. カーブドッチ (1)
2. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (43)	2. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (36)	2. せんべい王国 (69)	
3. マリンピア日本海 (水族館) (42)	3. カーブドッチ (20)	3. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (48)	
4. せんべい王国 (28)	4. せんべい王国 (15)	4. 北方文化博物館 (32)	
5. ピア Bandai (15)	5. ピア Bandai (15)	5. ピア Bandai (29)	
6. 北方文化博物館 (9)	6. 新潟ふるさと村 (13)	6. 新潟ふるさと村 (26)	
7. 白山神社 (7)	7. 北方文化博物館 (11)	7. カーブドッチ (17)	
8. 新潟ふるさと村 (5)	8. 白山神社 (4)	8. 関屋浜 (7)	
9. 県立自然科学館 (4)	8. 新潟県立万代島美術館 (4)	9. 白山神社 (6)	
9. ビッグスワン (4)	8. 関屋浜 (4)	9. 岩室温泉 (6)	
	8. 角田浜 (4)		

() 内の数字は回答数

※観光地点の回答には、必ず回答をした調査地点が含まれるため調査地点の回答数が多くなっている

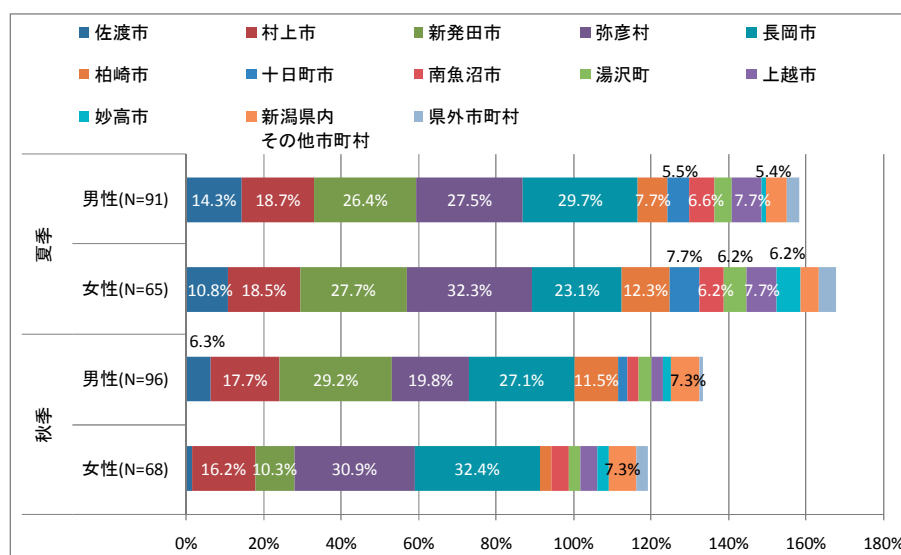
秋季		
新潟市内	新潟市以外の県内	県外
1. ピア Bandai (33)	1. マリンピア日本海 (水族館) (29)	1. せんべい王国 (84)
2. カーブドッチ (30)	2. カーブドッチ (22)	2. マリンピア日本海 (水族館) (58)
3. せんべい王国 (28)	3. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (20)	3. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (55)
4. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (26)	4. せんべい王国 (12)	4. ピア Bandai (43)
5. マリンピア日本海 (水族館) (25)	5. 北方文化博物館 (9)	5. 新潟ふるさと村 (34)
6. 新潟ふるさと村 (8)	5. ピア Bandai (9)	6. 北方文化博物館 (29)
6. 北方文化博物館 (8)	7. 新潟ふるさと村 (6)	7. カーブドッチ (19)
8. 新潟県立万代島美術館 (3)	8. 新潟市歴史博物館 (みなとびあ) (4)	8. 新潟市歴史博物館 (みなとびあ) (8)
9. 白山神社 (2)	8. 県立自然科学館 (4)	9. 今代司酒造 (8)
9. 護国神社 (2)	10. 護国神社 (3)	10. 岩室温泉 (8)
9. 四ツ郷屋浜 (2)		
9. 岩室温泉 (2)		
9. カーブドッチヴィネスバ (2)		

() 内の数字は回答数
 ※観光地点の回答には、必ず回答をした調査地点が含まれるため調査地点の回答数が増えている

(8) 新潟市以外の来訪市町村（他の市町村には来訪しないは除く）・・・複数回答

①性 別・・・複数回答

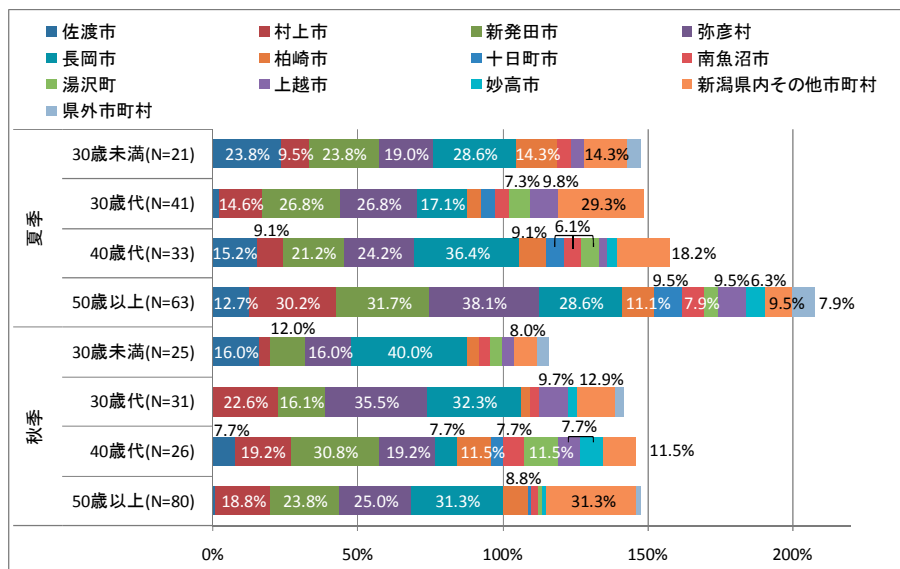
- ・夏季の男女、秋季の男性では「村上市」「新発田市」「弥彦村」「長岡市」の占める割合が高く、秋季の女性では「村上市」「弥彦村」「長岡市」の占める割合が高くなっている。
- ・各季節の男女ともに「県外市町村」の占める割合は低くなっている。



※5.0%未満の数値は非表示

②年 代・・・複数回答

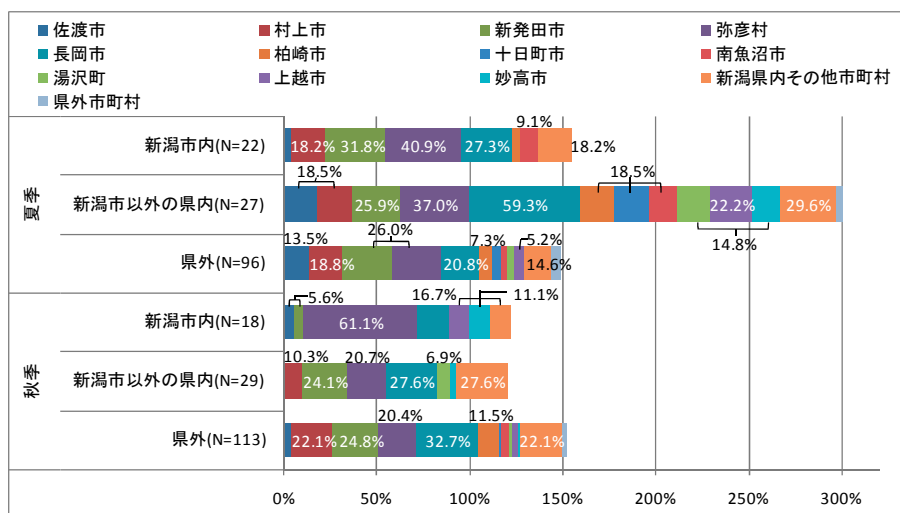
- ・各季節の各年代ともに「新発田市」「弥彦村」「長岡市」の占める割合が高くなっている。
- ・夏季の各年代ともに「佐渡市」の占める割合は秋季に比べ高くなっている。



※5.0%未満の数値は非表示

③居住地・・・複数回答

- ・夏季の各居住地ともに「新発田市」「弥彦村」「長岡市」の占める割合が高くなっている。
- ・秋季の各居住地ともに「弥彦村」「長岡市」「新潟県内のその他市町村」の占める割合が高くなっている。



※5.0%未満の数値は非表示

(9)－1 利用交通機関（新潟市来訪時）

①性 別

- ・各季節の男女ともに「自家用車」の占める割合が最も高くなっている。
- ・秋季の「貸切バス・観光バス」を占める割合は夏季に比べ高くなっている。

項 目	夏季		秋季	
	男性 (N=272)	女性 (N=252)	男性 (N=259)	女性 (N=231)
自家用車	87.1%	82.9%	67.2%	71.9%
JR 新幹線	3.7%	5.2%	7.7%	9.1%
貸切バス・観光バス	2.2%	4.4%	15.1%	13.4%
JR 在来線	2.2%	0.8%	2.7%	0.9%
飛行機	1.5%	0.4%	2.3%	1.3%
その他	1.1%	2.0%	0.8%	0.4%
レンタカー	1.1%	0.8%	1.9%	0.4%
フェリー	0.7%	1.6%	0.0%	0.0%
高速バス	0.4%	2.0%	1.2%	1.3%
市内路線バス	0.0%	0.0%	0.8%	0.9%
タクシー	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%
観光タクシー	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

②年 代

- ・各季節の各年代ともに「自家用車」の占める割合が最も高くなっている。
- ・各季節の50歳以上の「自家用車」を占める割合は他の年代と比べ低く、「貸切バス・観光バス」を占める割合は高くなっている。

項 目	夏季			
	30 歳未満 (N=98)	30 歳代 (N=188)	40 歳代 (N=103)	50 歳以上 (N=141)
自家用車	86.7%	89.9%	87.4%	75.9%
JR 新幹線	5.1%	2.1%	2.9%	7.8%
貸切バス・観光バス	2.0%	1.6%	1.9%	8.5%
JR 在来線	2.0%	1.1%	2.9%	0.7%
高速バス	2.0%	0.5%	0.0%	2.1%
レンタカー	2.0%	0.0%	1.0%	1.4%
フェリー	0.0%	2.1%	1.9%	0.0%
その他	0.0%	1.6%	1.9%	2.1%
飛行機	0.0%	1.1%	0.0%	1.4%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

項 目	秋季			
	30 歳未満 (N=92)	30 歳代 (N=124)	40 歳代 (N=75)	50 歳以上 (N=199)
自家用車	78.3%	79.8%	80.0%	55.3%
JR 新幹線	8.7%	9.7%	5.3%	8.5%
貸切バス・観光バス	4.3%	4.0%	8.0%	27.1%
高速バス	3.3%	0.0%	0.0%	1.5%
レンタカー	2.2%	0.0%	2.7%	1.0%
JR 在来線	1.1%	3.2%	2.7%	1.0%
市内路線バス	1.1%	0.0%	0.0%	1.5%
飛行機	0.0%	2.4%	0.0%	3.0%
タクシー	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%
観光タクシー	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

③居住地

- ・各季節の各居住地ともに「自家用車」の占める割合が最も高くなっている。
- ・各季節の県外の「自家用車」を占める割合は他の居住地と比べ低く、夏季では「JR 新幹線」、秋季では「貸切バス・観光バス」を占める割合が高くなっている。

項 目	夏季		
	新潟市内 (N=172)	新潟市以外の県内 (N=131)	県外 (N=211)
自家用車	89.5%	92.4%	76.8%
貸切バス・観光バス	4.7%	0.0%	4.3%
その他	4.1%	0.8%	0.0%
JR 在来線	1.2%	0.8%	2.4%
レンタカー	0.6%	0.8%	1.4%
JR 新幹線	0.0%	0.8%	10.0%
高速バス	0.0%	1.5%	1.9%
フェリー	0.0%	3.1%	0.9%
飛行機	0.0%	0.0%	2.4%
計	100.0%	100.0%	100.0%

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

項 目	秋季		
	新潟市内 (N=146)	新潟市以外の県内 (N=93)	県外 (N=249)
自家用車	93.2%	91.4%	47.0%
市内路線バス	2.1%	0.0%	0.4%
その他	2.1%	0.0%	0.0%
JR 在来線	1.4%	3.2%	1.6%
JR 新幹線	0.7%	2.2%	15.3%
貸切バス・観光バス	0.7%	1.1%	27.3%
レンタカー	0.0%	0.0%	2.4%
高速バス	0.0%	1.1%	2.0%
タクシー	0.0%	0.0%	0.4%
観光タクシー	0.0%	1.1%	0.0%
飛行機	0.0%	0.0%	3.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

(9)－2 利用交通機関（新潟市滞在時・・・複数回答）

①性 別・・・複数回答

- ・各季節の男女ともに「自家用車」の占める割合が最も高くなっている。
- ・新潟市来訪時と同様に秋季の「貸切バス・観光バス」を占める割合は夏季に比べ高くなっている。

項 目	夏季		秋季	
	男性 (N=272)	女性 (N=252)	男性 (N=257)	女性 (N=232)
自家用車	88.2%	86.5%	70.8%	75.0%
レンタカー	3.3%	2.0%	3.5%	2.6%
タクシー	2.9%	1.2%	3.5%	3.0%
貸切バス・観光バス	2.2%	4.8%	16.0%	13.8%
市内路線バス	1.8%	2.8%	1.9%	4.7%
新潟市観光循環バス （ドカベン号・犬夜叉号）	1.1%	0.8%	1.6%	0.4%
JR 新幹線	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
JR 在来線	0.7%	1.2%	1.6%	1.3%
高速バス	0.0%	0.4%	0.4%	0.4%
観光タクシー	0.0%	0.4%	0.0%	0.9%
フェリー	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%
レンタサイクル	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%
その他	2.6%	2.4%	1.9%	1.3%
計	102.9%	103.2%	101.9%	103.4%

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

②年 代…複数回答

- ・各季節の各年代ともに「自家用車」の占める割合が最も高くなっている。
- ・各季節の50歳以上の「自家用車」を占める割合は他の年代と比べ低く、「貸切バス・観光バス」を占める割合は高くなっている。

項 目	夏季			
	30歳未満(N=98)	30歳代(N=186)	40歳代(N=103)	50歳以上(N=143)
自家用車	87.8%	93.0%	89.3%	78.3%
レンタカー	4.1%	1.6%	1.9%	2.8%
タクシー	4.1%	0.0%	1.9%	3.5%
その他	3.1%	1.6%	2.9%	2.8%
貸切バス・観光バス	2.0%	2.2%	1.9%	8.4%
市内路線バス	2.0%	1.1%	2.9%	3.5%
JR在来線	2.0%	0.0%	1.0%	1.4%
新潟市観光循環バス (ドカベン号・犬夜叉号)	1.0%	0.0%	1.0%	2.1%
レンタサイクル	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
高速バス	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%
フェリー	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%
観光タクシー	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%
計	106.0%	100.0%	102.9%	104.9%

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

項 目	秋季			
	30歳未満(N=91)	30歳代(N=124)	40歳代(N=75)	50歳以上(N=199)
自家用車	82.4%	82.3%	80.0%	60.3%
レンタカー	7.7%	0.8%	2.7%	2.5%
貸切バス・観光バス	4.4%	4.8%	9.3%	27.6%
市内路線バス	3.3%	4.0%	4.0%	2.5%
その他	2.2%	0.8%	1.3%	2.0%
タクシー	1.1%	5.6%	2.7%	3.0%
フェリー	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
JR在来線	0.0%	1.6%	4.0%	1.0%
新潟市観光循環バス (ドカベン号・犬夜叉号)	0.0%	1.6%	0.0%	1.5%
観光タクシー	0.0%	0.8%	0.0%	0.5%
レンタサイクル	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%
高速バス	0.0%	0.0%	1.3%	0.5%
計	102.2%	103.2%	105.3%	101.5%

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

③居住地…複数回答

- ・各季節の各居住地ともに「自家用車」の占める割合が最も高くなっている。
- ・秋季の県外の「貸切バス・観光バス」を占める割合は他の居住地に比べ、高くなっている。

項 目	夏季		
	新潟市内 (N=173)	新潟市以外の県内 (N=131)	県外 (N=210)
自家用車	89.0%	93.1%	82.4%
貸切バス・観光バス	4.6%	0.0%	4.8%
その他	4.6%	0.8%	1.9%
市内路線バス	1.2%	3.1%	2.9%
JR 在来線	0.6%	0.0%	1.9%
レンタカー	0.6%	1.5%	5.2%
新潟市観光循環バス (ドカベン号・犬夜叉号)	0.6%	0.0%	1.9%
高速バス	0.0%	0.8%	0.0%
フェリー	0.0%	0.0%	0.5%
タクシー	0.0%	1.5%	3.8%
観光タクシー	0.0%	0.8%	0.0%
レンタサイクル	0.0%	0.0%	0.5%
	101.2%	101.6%	105.8%

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

項 目	秋季		
	新潟市内 (N=146)	新潟市以外の県内 (N=92)	県外 (N=249)
自家用車	93.8%	92.4%	53.4%
その他	2.7%	0.0%	1.6%
市内路線バス	1.4%	2.2%	4.8%
JR 在来線	0.7%	1.1%	2.0%
貸切バス・観光バス	0.7%	1.1%	28.1%
タクシー	0.7%	0.0%	6.0%
レンタカー	0.0%	1.1%	5.6%
高速バス	0.0%	0.0%	0.8%
新潟市観光循環バス (ドカベン号・犬夜叉号)	0.0%	1.1%	1.6%
フェリー	0.0%	0.0%	0.4%
観光タクシー	0.0%	1.1%	0.4%
レンタサイクル	0.0%	0.0%	0.4%
	100.0%	100.0%	105.1%

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

(10) 1人当たりの観光消費額（日帰り・宿泊）

①夏 季

日帰り		交通費	宿泊費	土産代	飲食費	入場料	その他	合計
性別	男性	421	—	416	752	331	21	1,942
	女性	101	—	291	642	482	144	1,660
年代	30歳未満	608	—	410	1,244	331	36	2,629
	30歳代	124	—	336	673	495	40	1,668
	40歳代	194	—	350	654	365	58	1,622
	50歳以上	258	—	342	439	403	198	1,688

宿泊		交通費	宿泊費	土産代	飲食費	入場料	その他	合計
性別	男性	4,712	10,063	2,480	3,203	530	219	21,207
	女性	197	8,007	3,326	1,183	400	0	13,112
年代	30歳未満	57	4,417	343	914	143	0	5,873
	30歳代	2,170	7,770	1,847	2,966	717	227	15,697
	40歳代	938	9,343	2,268	2,829	843	24	16,244
	50歳以上	6,848	12,500	4,619	1,775	416	100	26,258

②秋 季

日帰り		交通費	宿泊費	土産代	飲食費	入場料	その他	合計
性別	男性	269	—	1,000	643	333	56	2,301
	女性	329	—	3,585	282	71	46	4,313
年代	30歳未満	504	—	899	938	557	49	2,947
	30歳代	245	—	506	826	232	100	1,909
	40歳代	264	—	706	503	387	142	2,002
	50歳以上	325	—	4,196	171	31	27	4,750

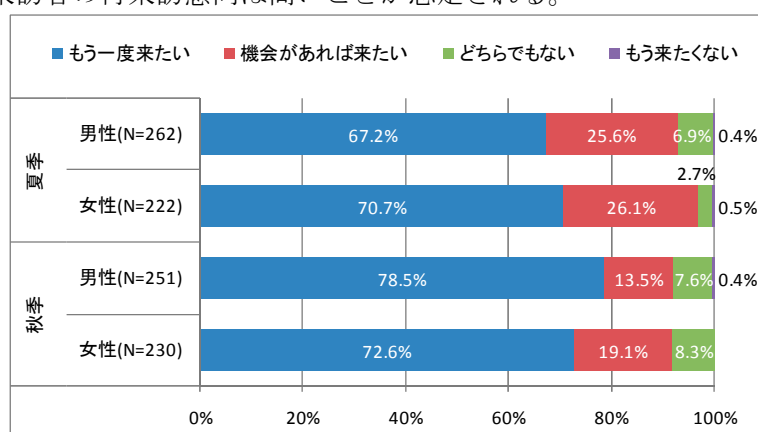
宿泊		交通費	宿泊費	土産代	飲食費	入場料	その他	合計
性別	男性	1,227	9,084	3,976	2,881	389	17	17,574
	女性	623	10,228	3,480	2,579	534	214	17,658
年代	30歳未満	753	5,383	3,204	1,651	222	19	11,232
	30歳代	1,542	9,010	2,601	3,820	695	75	17,743
	40歳代	364	9,330	1,902	2,816	578	29	15,019
	50歳以上	1,001	11,739	4,959	2,703	339	90	20,831

(11) 再来訪の意向

①性 別

- ・各季節の男女ともに「もう一度来たい」の占める割合が高くなっている。
- ・各季節の男女ともに再来訪の意向に大きな差は生じていない。

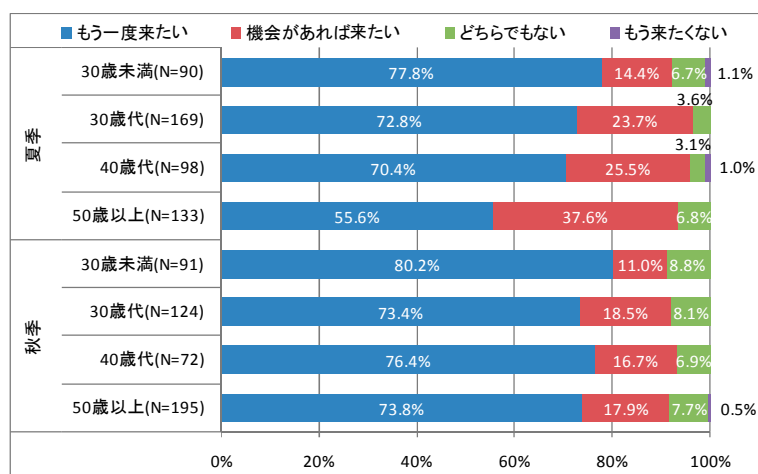
- ・各季節の男女ともに「もう一度来たい」の占める割合が最も高く、次いで「機会があれば来たい」となっている。
- ・各季節の男女ともに再来訪したい意向（「もう一度来たい」＋「機会があれば来たい」）は9割以上を占めており、来訪者の再来訪意向は高いことが想定される。



②年 代

- ・各季節の各年代ともに「もう一度来たい」の占める割合が最も高くなっている。
- ・夏季では年代が上がるにつれて「もう一度来たい」の占める割合は低くなり、秋季では各年代ともに再来訪の意向に大きな差は生じていない。

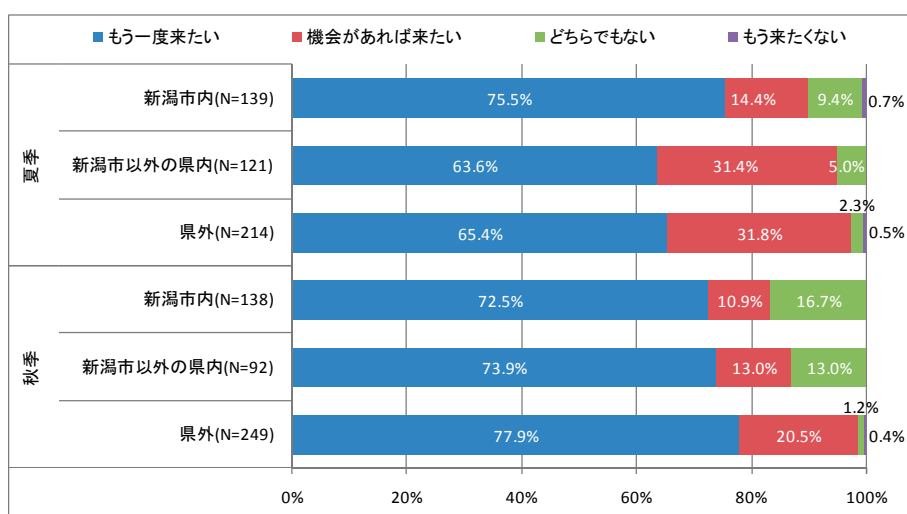
- ・各季節の各年代ともに「もう一度来たい」の占める割合が最も高く、次いで「機会があれば来たい」となっている。
- ・各季節の各年代において再来訪したい意向（「もう一度来たい」＋「機会があれば来たい」）は9割以上を占めており、来訪者の再来訪意向は高いことが想定される。



③居住地

- ・各季節の各居住地ともに「もう一度来たい」の占める割合が最も高くなっている。
- ・夏季の各居住地ともに「機会があれば来たい」の占める割合が秋季に比べ高くなっている。

- ・夏季の各居住地、秋季の県外において「もう一度来たい」の占める割合が最も高く、次いで「機会があれば来たい」となっている。
- ・秋季の新潟市内では、「もう一度来たい」の占める割合が最も高く、次いで「どちらでもない」となっている。
- ・夏季の新潟市以外の県内及び県外と秋季の県外の再来訪したい意向（「もう一度来たい」＋「機会があれば来たい」）は9割以上を占めている。



3. 交通施設補足調査

(1) 回答者の個人属性（性別・年齢・職業・居住地）

①性 別

項 目	夏季		秋季	
男性	11	(52.4%)	33	(68.8%)
女性	10	(47.6%)	15	(31.3%)
無回答	1	(-)	0	(-)
計	22	(100%)	48	(100%)

②年 齢

項 目	夏季		秋季	
30 歳未満	5	(23.8%)	3	(6.3%)
30 歳代	4	(19.0%)	5	(10.4%)
40 歳代	7	(33.3%)	12	(25.0%)
50 歳以上	5	(23.8%)	28	(58.3%)
無回答	1	(-)	0	(-)
計	22	(100%)	48	(100%)

③職 業

項 目	夏季		秋季	
学生	4	(19.0%)	0	(0.0%)
社会人	12	(57.1%)	33	(68.8%)
主婦	2	(9.5%)	8	(16.7%)
その他	3	(14.3%)	7	(14.6%)
無回答	1	(-)	0	(-)
計	22	(100%)	48	(100%)

④-1 居住地

項 目	夏季		秋季	
新潟市内	2	(9.5%)	0	(0.0%)
新潟市以外の県内	2	(9.5%)	4	(8.5%)
新潟県外	17	(81.0%)	42	(89.4%)
海外	0	(0.0%)	1	(2.1%)
無回答	1	(-)	1	(-)
計	22	(100%)	48	(100%)

④-2 居住地詳細

項 目	夏季		秋季	
北海道	2	(9.5%)	0	(0.0%)
東北	2	(9.5%)	1	(2.1%)
関東	11	(52.4%)	39	(83.0%)
新潟県内	4	(19.0%)	4	(8.5%)
北陸	2	(9.5%)	0	(0.0%)
中部	0	(0.0%)	0	(0.0%)
近畿	0	(0.0%)	2	(4.3%)
中国	0	(0.0%)	0	(0.0%)
四国	0	(0.0%)	0	(0.0%)
九州・沖縄	0	(0.0%)	0	(0.0%)
海外	0	(0.0%)	1	(2.1%)
無回答	1	(-)	1	(-)
計	22	(100%)	48	(100%)

(2) 旅行目的

項 目	夏季		秋季	
ビジネス	7	(31.8%)	19	(39.6%)
観光	3	(13.6%)	14	(29.2%)
コンベンション	0	(0.0%)	1	(2.1%)
帰省・知人訪問	5	(22.7%)	13	(27.1%)
その他	7	(31.8%)	1	(2.1%)
無回答	0	(-)	0	(-)
計	22	(100%)	48	(100%)

(3) 情報源…複数回答

①旅行きっかけ時…複数回答

項 目	夏季		秋季	
ポスター・パンフレット	1	(5.6%)	1	(5.0%)
新聞・雑誌	1	(5.6%)	3	(15.0%)
友人・知人の話	5	(27.8%)	6	(30.0%)
旅行業者	2	(11.1%)	2	(10.0%)
テレビ・ラジオ	0	(0.0%)	0	(0.0%)
アンテナショップ	0	(0.0%)	0	(0.0%)
観光キャンペーン・イベント	0	(0.0%)	0	(0.0%)
観光案内所	0	(0.0%)	1	(5.0%)
新潟市公式観光情報サイト	0	(0.0%)	0	(0.0%)
観光施設HP	1	(5.6%)	1	(5.0%)
ブログ	0	(0.0%)	0	(0.0%)
ツイッター	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他のインターネットサイト	10	(55.6%)	5	(25.0%)
その他	1	(5.6%)	4	(20.0%)
無回答	4	(-)	28	(-)
計	25	(-)	51	(-)
有効回答者数	18	(116.7%)	20	(115.0%)

②新潟市滞在時…複数回答

項 目	夏季		秋季	
ポスター・パンフレット	1	(14.3%)	1	(5.0%)
新聞・雑誌	0	(0.0%)	2	(10.0%)
友人・知人の話	2	(28.6%)	6	(30.0%)
旅行業者	0	(0.0%)	2	(10.0%)
テレビ・ラジオ	1	(14.3%)	0	(0.0%)
アンテナショップ	0	(0.0%)	0	(0.0%)
観光キャンペーン・イベント	0	(0.0%)	0	(0.0%)
観光案内所	1	(14.3%)	1	(5.0%)
新潟市公式観光情報サイト	0	(0.0%)	0	(0.0%)
観光施設HP	0	(0.0%)	1	(5.0%)
ブログ	0	(0.0%)	0	(0.0%)
ツイッター	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他のインターネットサイト	2	(28.6%)	5	(25.0%)
その他	1	(14.3%)	5	(25.0%)
無回答	15	(-)	28	(-)
計	23	(-)	51	(-)
有効回答者数	7	(114.3%)	20	(115.0%)

(4) 旅行形態

項 目	夏季		秋季	
単身	15	(68.2%)	24	(50.0%)
家族	4	(18.2%)	14	(29.2%)
友人	1	(4.5%)	4	(8.3%)
職場・学校等の団体旅行	1	(4.5%)	5	(10.4%)
その他	1	(4.5%)	1	(2.1%)
無回答	0	(-)	0	(-)
計	22	(100%)	48	(100%)

(5) 来訪回数

項 目	夏季		秋季	
初めて	4	(18.2%)	4	(8.3%)
2回目	2	(9.1%)	3	(6.3%)
3回目	3	(13.6%)	2	(4.2%)
4回目以上	13	(59.1%)	39	(81.3%)
無回答	0	(-)	0	(-)
計	22	(100%)	48	(100%)

(6) 旅行中の宿泊の有無

①旅行中の宿泊の有無

項 目	夏季		秋季	
日帰り	0	(0.0%)	21	(43.8%)
宿泊	22	(100.0%)	27	(56.3%)
無回答	0	(-)	0	(-)
計	22	(100%)	48	(100%)

②旅行中の宿泊数と新潟市での宿泊数

項 目	旅行中				新潟市内			
	夏季		秋季		夏季		秋季	
1泊	6	(30.0%)	11	(40.7%)	3	(15.8%)	5	(38.5%)
2泊	7	(35.0%)	11	(40.7%)	5	(26.3%)	6	(46.2%)
3泊	3	(15.0%)	3	(11.1%)	2	(10.5%)	1	(7.7%)
4泊以上	4	(20.0%)	2	(7.4%)	1	(5.3%)	1	(7.7%)
なし	-	-	-	-	8	(42.1%)	0	(0.0%)
無回答	2	(-)	21	(-)	3	(-)	35	(-)
計	22	(100%)	48	(100%)	22	(100%)	48	(100%)

③新潟市内での宿泊施設・・・複数回答

項 目	夏季		秋季	
ホテル	8	(72.7%)	11	(78.6%)
旅館	1	(9.1%)	0	(0.0%)
実家や知人・親戚宅	2	(18.2%)	2	(14.3%)
ペンション・民宿	0	(0.0%)	0	(0.0%)
保養所・研修所	0	(0.0%)	0	(0.0%)
キャンプ場	0	(0.0%)	0	(0.0%)
(キャンプ場以外の)車中泊・交通機関内での宿泊	0	(0.0%)	0	(0.0%)
別荘・リゾートマンション	0	(0.0%)	0	(0.0%)
会員制の宿泊施設	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	0	(0.0%)	2	(14.3%)
無回答	11	(-)	34	(-)
計	22	(-)	49	(-)
有効回答者数	11	(100.0%)	14	(107.1%)

(7) 立ち寄った観光施設数および観光地点・・・一部複数回答

①観光施設数

項 目	夏季		秋季	
1箇所	4	(100.0%)	3	(100.0%)
2箇所	0	(0.0%)	0	(0.0%)
3箇所	0	(0.0%)	0	(0.0%)
4箇所	0	(0.0%)	0	(0.0%)
5箇所以上	0	(0.0%)	0	(0.0%)
なし	0	(0.0%)	0	(0.0%)
無回答	18	(-)	45	(-)
計	4	(100%)	3	(100%)

②観光地点・・・複数回答

項 目	夏季		秋季	
白山神社	3	(75.0%)	0	(0.0%)
高森の大ケヤキ	1	(25.0%)	0	(0.0%)
マリンピア日本海(水族館)	0	(0.0%)	1	(33.3%)
岩室温泉	0	(0.0%)	1	(33.3%)
ビッグスワン	0	(0.0%)	1	(33.3%)
無回答	18	(-)	45	(-)
計	22	(-)	48	(-)
有効回答者数	4	(100.0%)	3	(100.0%)

(8) 新潟市以外の来訪市町村・・・複数回答

項 目	夏季		秋季	
佐渡市	2	(9.5%)	2	(4.2%)
村上市	3	(14.3%)	3	(6.3%)
新発田市	3	(14.3%)	5	(10.4%)
弥彦村	1	(4.8%)	1	(2.1%)
長岡市	3	(14.3%)	2	(4.2%)
柏崎市	1	(4.8%)	0	(0.0%)
十日町市	0	(0.0%)	0	(0.0%)
南魚沼市	0	(0.0%)	0	(0.0%)
湯沢町	0	(0.0%)	0	(0.0%)
上越市	0	(0.0%)	0	(0.0%)
妙高市	0	(0.0%)	0	(0.0%)
新潟県内その他市町村	3	(14.3%)	6	(12.5%)
県外市町村	4	(19.0%)	1	(2.1%)
他の市町村には訪問しない	9	(42.9%)	29	(60.4%)
無回答	1	(-)	0	(-)
計	30	(-)	49	(-)
有効回答者数	21	(138.1%)	48	(102.1%)

(9) 利用交通機関（新潟市来訪時・新潟市滞在時）・・・一部複数回答

①新潟市来訪時

項 目	夏季		秋季	
JR 新幹線	8	(38.1%)	46	(95.8%)
JR 在来線	6	(28.6%)	1	(2.1%)
自家用車	2	(9.5%)	0	(0.0%)
レンタカー	0	(0.0%)	0	(0.0%)
高速バス	1	(4.8%)	0	(0.0%)
市内路線バス	0	(0.0%)	0	(0.0%)
新潟市観光循環バス(ドカベン号・犬夜叉号)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
貸切バス・観光バス	0	(0.0%)	0	(0.0%)
信濃川水上バス・遊覧船	0	(0.0%)	0	(0.0%)
フェリー	2	(9.5%)	0	(0.0%)
タクシー	0	(0.0%)	0	(0.0%)
観光タクシー	0	(0.0%)	0	(0.0%)
ペロタクシー(自転車タクシー)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
レンタサイクル	0	(0.0%)	0	(0.0%)
飛行機	2	(9.5%)	1	(2.1%)
その他	0	(0.0%)	0	(0.0%)
無回答	1	(-)	0	(-)
計	22	(100%)	48	(100%)

②新潟市滞在時…複数回答

項 目	夏季		秋季	
JR 新幹線	0	(0.0%)	0	(0.0%)
JR 在来線	6	(35.3%)	9	(18.8%)
自家用車	2	(11.8%)	3	(6.3%)
レンタカー	1	(5.9%)	6	(12.5%)
高速バス	0	(0.0%)	0	(0.0%)
市内路線バス	10	(58.8%)	14	(29.2%)
新潟市観光循環バス(ドカベン号・犬夜叉号)	0	(0.0%)	1	(2.1%)
貸切バス・観光バス	0	(0.0%)	0	(0.0%)
信濃川水上バス・遊覧船	0	(0.0%)	0	(0.0%)
フェリー	0	(0.0%)	1	(2.1%)
タクシー	1	(5.9%)	11	(22.9%)
観光タクシー	1	(5.9%)	0	(0.0%)
ペロタクシー(自転車タクシー)	0	(0.0%)	1	(2.1%)
レンタサイクル	1	(5.9%)	0	(0.0%)
飛行機	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	1	(5.9%)	12	(25.0%)
無回答	5	(-)	0	(-)
計	28	(-)	58	(-)
有効回答者数	17	(135.3%)	48	(120.8%)

(10) 1人当たりの観光消費額(日帰り・宿泊)

項 目		日帰り		宿泊	
		夏季	秋季	夏季	秋季
合 計		0	22,296	34,209	51,742
内 訳	交通費	0	18,500	16,352	30,787
	宿泊費	—	—	11,236	12,088
	土産代	0	2,121	3,690	5,031
	飲食費	0	1,655	2,517	3,673
	入場料	0	0	0	145
	その他	0	20	414	18

※交通費は市内分と市外分の合計値を計上

※宿泊観光客で宿泊施設が「実家や知人・親戚宅」「(キャンプ場以外の)車中泊・交通機関での宿泊」以外の選択の回答で金額がゼロの回答は含まない。

※日帰り観光客における宿泊費の回答は含まない。

※日帰り、宿泊が無回答の回答は含まない。

※旅行人数が無回答の回答は含まない。

※夏季の調査では日帰り客からの回答が得られなかったため、夏季回答はゼロとなっている。

(11) 再来訪の意向

項 目	夏季		秋季	
もう一度来たい	16	(80.0%)	33	(70.2%)
機会があれば来たい	2	(10.0%)	11	(23.4%)
どちらでもない	2	(10.0%)	3	(6.4%)
もう来たくない	0	(0.0%)	0	(0.0%)
無回答	2	(-)	1	(-)
計	22	(100%)	48	(100%)

第5章 宿泊施設調査結果・分析

第5章 宿泊施設調査結果・分析

1. 調査結果

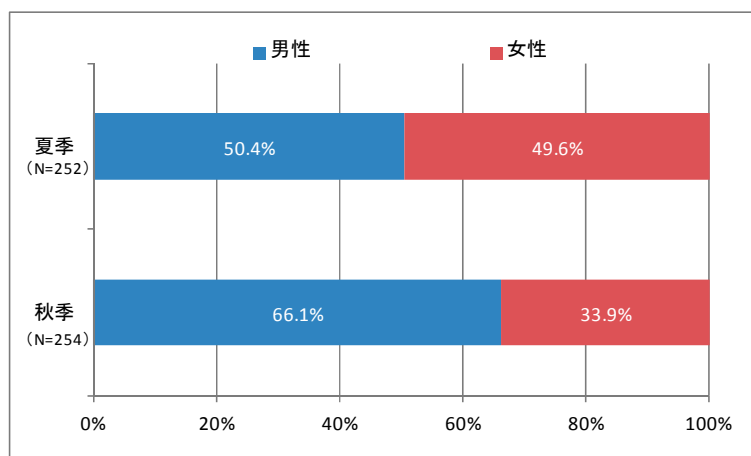
以下に、夏季及び秋季における宿泊施設での調査結果を示す。冬季については別冊に示す。

(1) 回答者の個人属性（性別・年齢・職業・居住地）

①性 別

・各季節ともに「男性」の占める割合が「女性」より高く、秋季の「男性」を占める割合は、夏季に比べ 15.7 ポイント高くなっている。

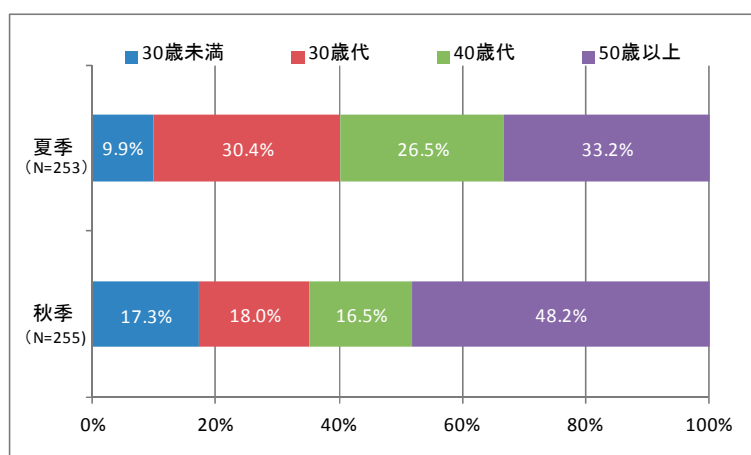
- ・夏季では「男性」の占める割合が 50.4%と女性より 0.8 ポイント高くなっている。
- ・秋季では「男性」の占める割合が 66.1%と女性より 32.2 ポイント高くなっている。



②年 齢

・各季節ともに「50 歳以上」の占める割合が最も高く、次いで「30 歳代」となっている。

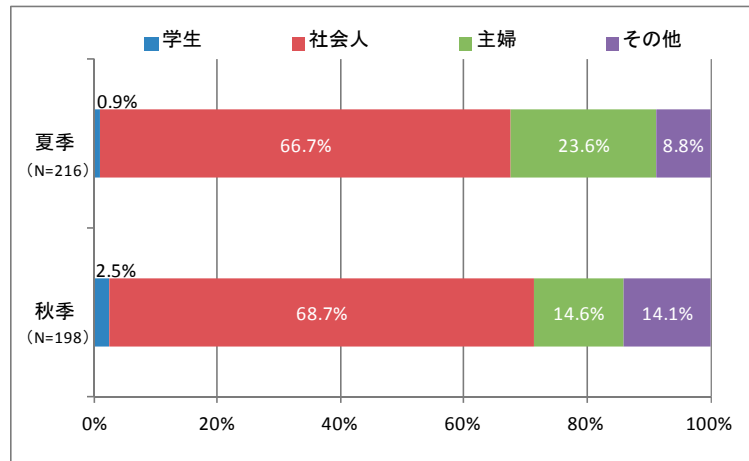
- ・夏季では「50 歳以上」の占める割合が最も高く 33.2%、次いで「30 歳代」が 30.4%となっている。
- ・秋季では「50 歳以上」の占める割合が最も高く 48.2%、次いで「30 歳代」が 18.0%となっている。



③職 業

- ・各季節ともに「社会人」の占める割合が最も高く、秋季の「社会人」を占める割合は夏季に比べ2.0ポイント高くなっている。

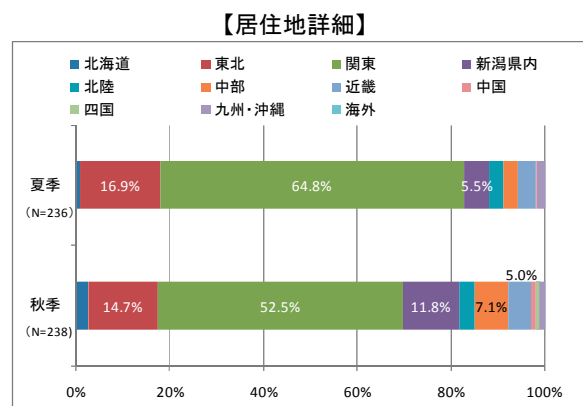
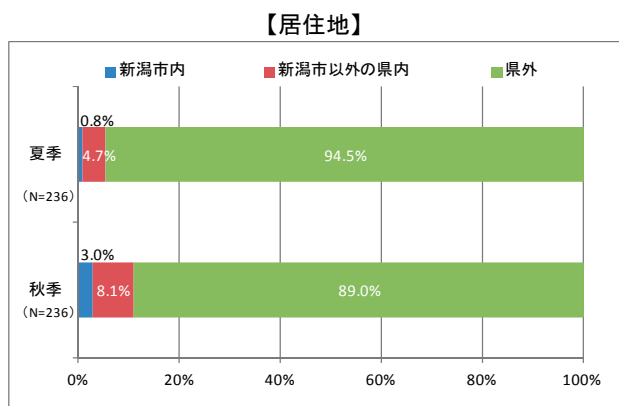
- ・夏季では「社会人」が最も高く66.7%、次いで「主婦」が23.6%となっている。
- ・秋季では「社会人」が最も高く68.7%、次いで「主婦」が14.6%となっている。



④居住地

- ・居住地では、各季節で「県外」の占める割合が最も高く、夏季の「県外」を占める割合は秋季に比べ5.5ポイント高くなっている。
- ・居住地詳細では、各季節ともに「関東」の占める割合が最も高く、次いで「東北」となっている。

- ・居住地の夏季では「県外」の占める割合が最も高く94.5%、次いで「新潟市以外の県内」が4.7%となっている。
- ・居住地の秋季では「県外」の占める割合が最も高く89.0%、次いで「新潟市以外の県内」が8.1%となっている。
- ・居住地詳細の夏季では「関東」の占める割合が最も高く64.8%、次いで「東北」が16.9%となっている。
- ・居住地詳細の秋季では「関東」の占める割合が最も高く52.5%、次いで「東北」が14.7%となっている。

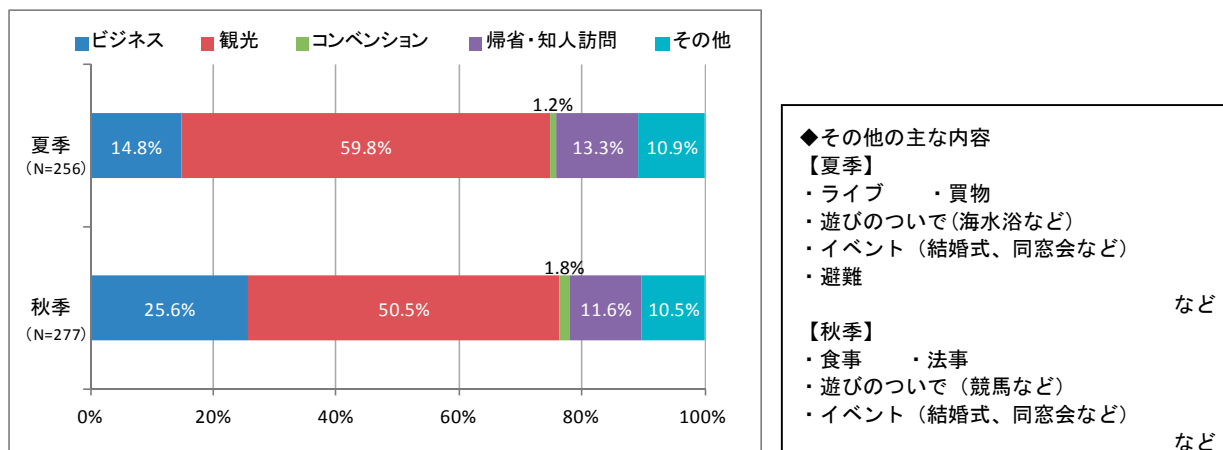


※5.0%未満の数値は非表示

(2) 旅行目的

・各季節ともに「観光」の占める割合が最も高く、夏季の「観光」を占める割合は秋季に比べ9.3ポイント高くなっている。

- ・夏季では「観光」の占める割合が最も高く59.8%、次いで「ビジネス」が14.8%となっている。
- ・秋季では「観光」の占める割合が最も高く50.5%、次いで「ビジネス」が25.6%となっている。

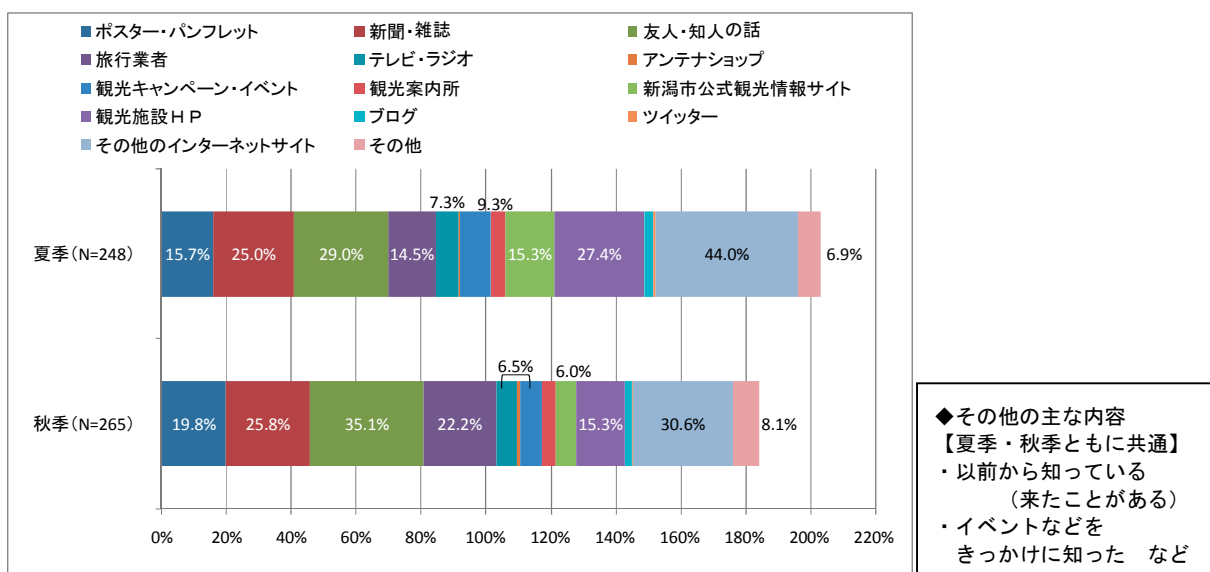


(3) 情報源…複数回答

①旅行きっかけ時…複数回答

・旅行きっかけ時の情報源は、夏季は「その他のインターネットサイト」、秋季は「友人・知人の話」の占める割合が最も高くなっている。

- ・夏季では「その他のインターネットサイト」の占める割合が最も高く44.0%、次いで「友人・知人の話」が29.0%となっている。
- ・秋季では「友人・知人の話」の占める割合が最も高く35.1%、次いで「その他のインターネットサイト」が30.6%となっている。

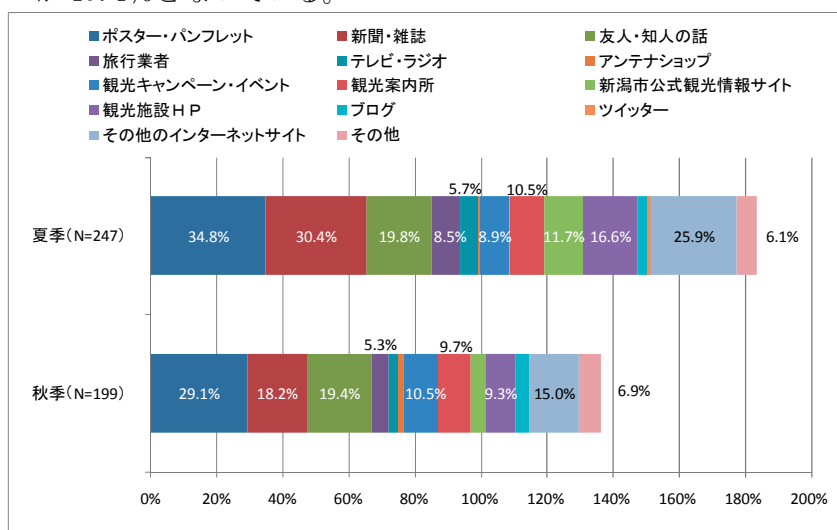


※5.0%未満の数値は非表示

②新潟市滞在時…複数回答

・滞在時の情報源は、各季節ともに「ポスター・パンフレット」の占める割合が最も高く、夏季の「ポスター・パンフレット」を占める割合は秋季に比べ5.7ポイント高くなっている。

- ・夏季では「ポスター・パンフレット」の占める割合が最も高く 34.8%、次いで「新聞・雑誌」が 30.4%となっている。
- ・秋季では「ポスター・パンフレット」の占める割合が最も高く 29.1%、次いで「友人・知人の話」が 19.4%となっている。



◆その他の主な内容
【夏季・秋季ともに共通】
・イベントなどをきっかけに知った
・宿泊施設、観光施設、
タクシーなどの運転手の勧め など

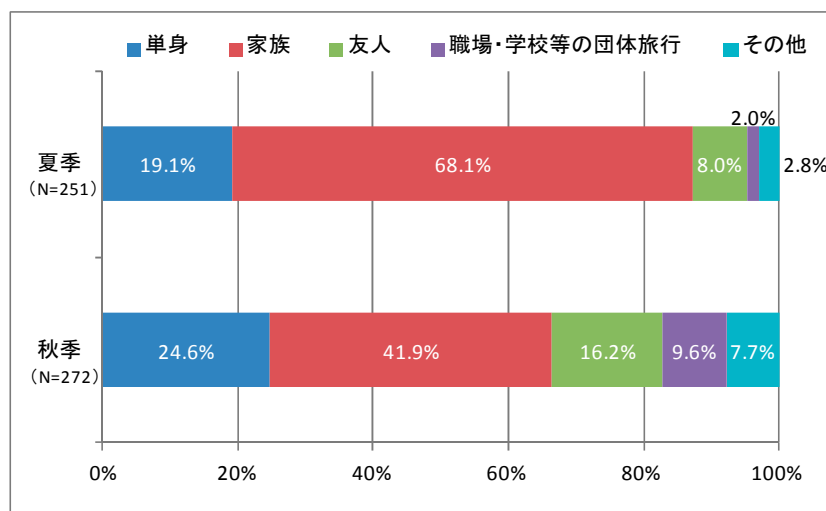
※5.0%未満の数値は非表示

(4) 旅行形態

・各季節ともに「家族」の占める割合が最も高く、夏季の「家族」を占める割合は秋季に比べ26.2ポイント高くなっている。

・秋季の「友人」「職場・学校等の団体旅行」「その他」を占める割合は夏季に比べ2倍以上高くなっている。

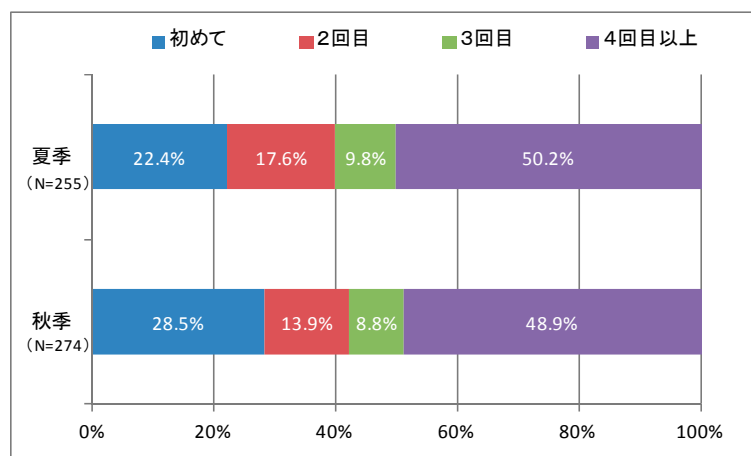
- ・夏季では「家族」の占める割合が最も高く 68.1%、次いで「単身」が 19.1%となっている。
- ・秋季では「家族」の占める割合が最も高く 41.9%、次いで「単身」が 24.6%となっている。



(5) 来訪回数

・各季節ともに「4回目以上」の占める割合が最も高く、「4回目以上」を占める割合は5割前後を占めている。

- ・夏季では「4回目以上」の占める割合が最も高く 50.2%、次いで「初めて」が 22.4%となっている。
- ・秋季では「4回目以上」の占める割合が最も高く 48.9%、次いで「初めて」が 28.5%となっている。



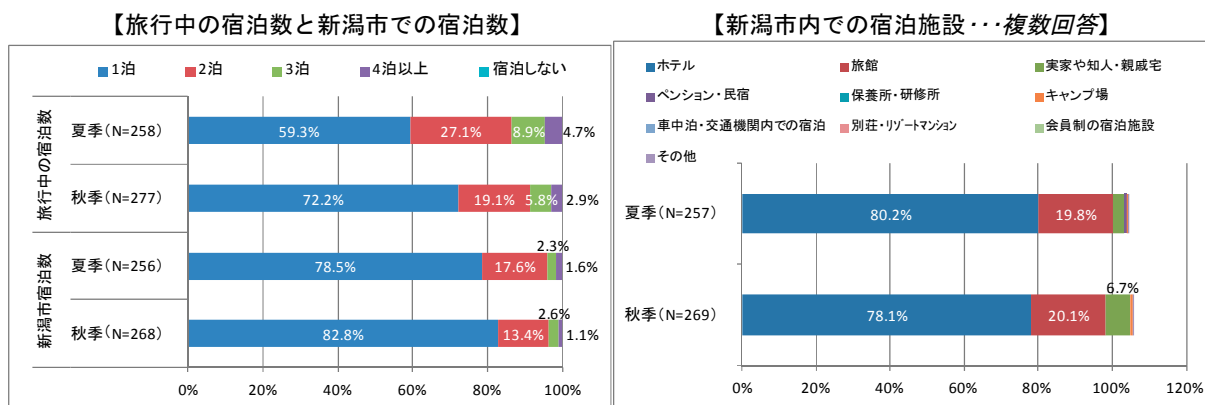
(6) 旅行中の宿泊数…一部複数回答

【旅行中の宿泊数と新潟市での宿泊数】

- ・旅行中の宿泊数では、各季節ともに「1泊」の占める割合が最も高く、秋季の「1泊」の占める割合は夏季に比べ高くなっている。
- ・新潟市での宿泊数では、各季節ともに「1泊」の占める割合が最も高く、秋季の「1泊」の占める割合は夏季に比べ高くなっている。

【新潟市内での宿泊施設】…複数回答

- ・利用する宿泊施設では、各季節ともに「ホテル」の占める割合が最も高く、次いで「旅館」となっている。



※5.0%未満の数値は非表示

(7) 立ち寄った観光施設数及び観光地点…一部複数回答

【観光施設数】

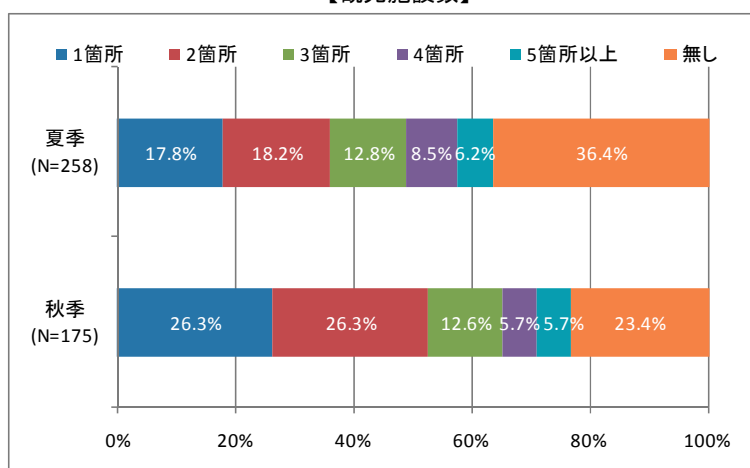
- ・各季節ともに立ち寄った観光施設数では、「無し」を除くと「2箇所」の占める割合が最も高くなっている。

【観光地点】…複数回答

- ・立ち寄った観光地点では、夏季が「マリニピア日本海(水族館)」、秋季が「白山神社」の回答が最も多くなっている。

- ・夏季では「無し」を除くと「2箇所」の占める割合が最も高く 18.2%、次いで「1箇所」が 17.8% となっている。
- ・秋季では「無し」を除くと「1箇所」「2箇所」の占める割合が最も高く 26.3%、次いで「3箇所」が 12.6% となっている。

【観光施設数】



【観光地点…複数回答】

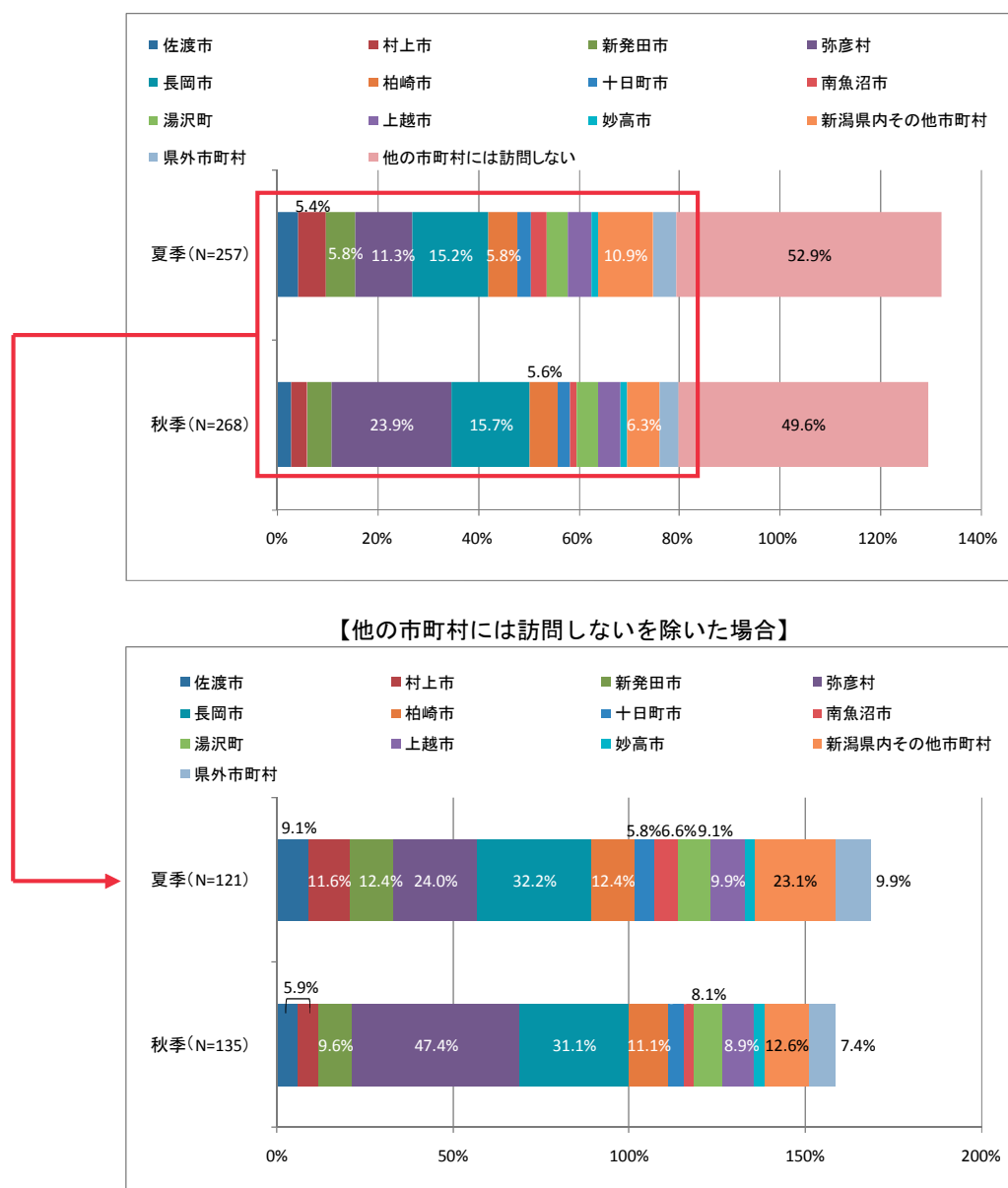
夏 季		秋 季	
地 点	回答数	地 点	回答数
マリニピア日本海（水族館）	57	白山神社	30
新潟ふるさと村	37	マリニピア日本海（水族館）	28
岩室温泉	34	岩室温泉	28
Befco ばかうけ展望室 （朱鷺メッセ 31 階）	29	新潟ふるさと村	27
関屋浜	26	ピア Bandai	16
ピア Bandai	23	護国神社	12
白山神社	22	せんべい王国	12
せんべい王国	19	Befco ばかうけ展望室 （朱鷺メッセ 31 階）	12
新潟市歴史博物館（みなとぴあ）	16	いわむろや	7
北方文化博物館	10	新潟市歴史博物館（みなとぴあ）	6

(8) 新潟市以外の来訪市町村・・・複数回答

・新潟市以外に来訪する市町村は、「他の市町村に訪問しない」を除くと夏季では「長岡市」、秋季では「弥彦村」の占める割合が最も高くなっている。

- ・夏季では「他の市町村に訪問しない」を除くと「長岡市」の占める割合が最も高く 15.2% (32.2%)、次いで「弥彦村」が 11.3% (24.0%) となっている。
- ・秋季では「他の市町村に訪問しない」を除くと「弥彦村」の占める割合が最も高く 23.9% (47.4%)、次いで「長岡市」が 15.7% (31.1%) となっている。

※()内の数字は、「他の市町村には訪問しない」を除いた場合の割合



※5.0%未満の数値は非表示

(9) 利用交通機関（新潟市来訪時・新潟市滞在時）・・・一部複数回答

①新潟市来訪時

・新潟市来訪時の利用交通機関は、夏季が「自家用車」秋季が「JR 新幹線」の占める割合が最も高くなっている。

- ・夏季では「自家用車」の占める割合が最も高く 62.6%、次いで「JR 新幹線」が 26.3%となっている。
- ・秋季では「JR 新幹線」の占める割合が最も高く 45.7%、次いで「自家用車」が 40.6%となっている。

項 目	夏季 (N=243)	秋季 (N=256)
自家用車	62.6%	40.6%
JR 新幹線	26.3%	45.7%
高速バス	3.3%	3.9%
JR 在来線	2.9%	1.6%
飛行機	1.6%	2.3%
貸切バス・観光バス	0.8%	1.6%
タクシー	0.8%	0.4%
レンタカー	0.4%	1.6%
フェリー	0.0%	0.8%
観光タクシー	0.0%	0.8%
その他(社用車、バイク)	1.2%	0.8%
計	100.0%	100.0%

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

②新潟市滞在時・・・複数回答

・新潟市滞在時の利用交通機関は、各季節ともに「自家用車」の占める割合が最も高く、夏季の「自家用車」を占める割合は秋季に比べ 18.0 ポイント高くなっている。

- ・夏季では「自家用車」の占める割合が最も高く 64.7%、次いで「タクシー」が 20.4%となっている。
- ・秋季では「自家用車」の占める割合が最も高く 46.7%、次いで「タクシー」が 17.8%となっている。

項 目	夏季 (N=235)	秋季 (N=214)
自家用車	64.7%	46.7%
タクシー	20.4%	17.8%
市内路線バス	12.3%	17.3%
JR 在来線	4.7%	13.1%
新潟市観光循環バス (ドカベン号・犬夜叉号)	4.3%	5.6%
レンタカー	3.4%	10.7%
レンタサイクル	2.6%	0.5%
貸切バス・観光バス	2.1%	3.7%
信濃川水上バス・遊覧船	0.4%	0.9%
フェリー	0.4%	0.0%
観光タクシー	0.0%	1.4%
その他(徒歩、社用車、友人の車、バイク)	5.5%	4.2%
計	120.8%	121.9%

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

(10) 1人当たりの観光消費額（宿泊のみ）

- ・観光消費額は、夏季では21,895円、秋季では23,284円となっている。
- ・秋季の交通費は夏季の約1.9倍となっている。

項 目		夏 季	秋 季
		宿 泊	宿 泊
合 計		21,895	23,284
内 訳	交通費	1,970	3,745
	宿泊費	11,176	11,640
	土産代	2,955	3,133
	飲食費	4,458	3,856
	入場料	633	394
	その他	703	516

※交通費は市内分のみ計上している。

※居住地が県外の回答票において交通費を市内分市外分一括して記載されている場合は含まない。

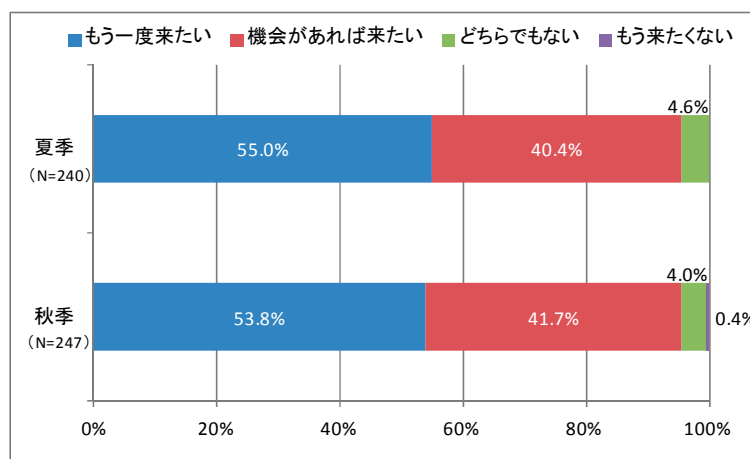
※宿泊費で金額がゼロの回答は含まない。

※旅行人数が無回答の回答者は含まない。

(11) 再来訪の意向

- ・再来訪の意向は、各季節で「もう一度来たい」の占める割合が最も高く、夏季の「もう一度来たい」を占める割合は秋季に比べ1.2ポイント高くなっている。

- ・夏季では「もう一度来たい」の占める割合が最も高く55.0%、次いで「機会があれば来たい」が40.4%となっている。
- ・秋季では「もう一度来たい」の占める割合が最も高く53.8%、次いで「機会があれば来たい」が41.7%となっている。



2. 宿泊施設調査分析（クロス集計）

以下に各設問に対して、「性別」「年代」のクロス集計結果を示す。

(1) 個人属性

① 性別

【年代】

- ・夏季の男性、秋季の男女ともに「50 歳以上」の占める割合が最も高く、夏季の女性では「30 歳代」の占める割合が最も高くなっている。
- ・夏季の男女ともに「30 歳代」「40 歳代」の占める割合は秋季に比べ高くなっている。
- ・秋季の男女ともに「50 歳以上」の占める割合は夏季に比べ高くなっている。

【職業】

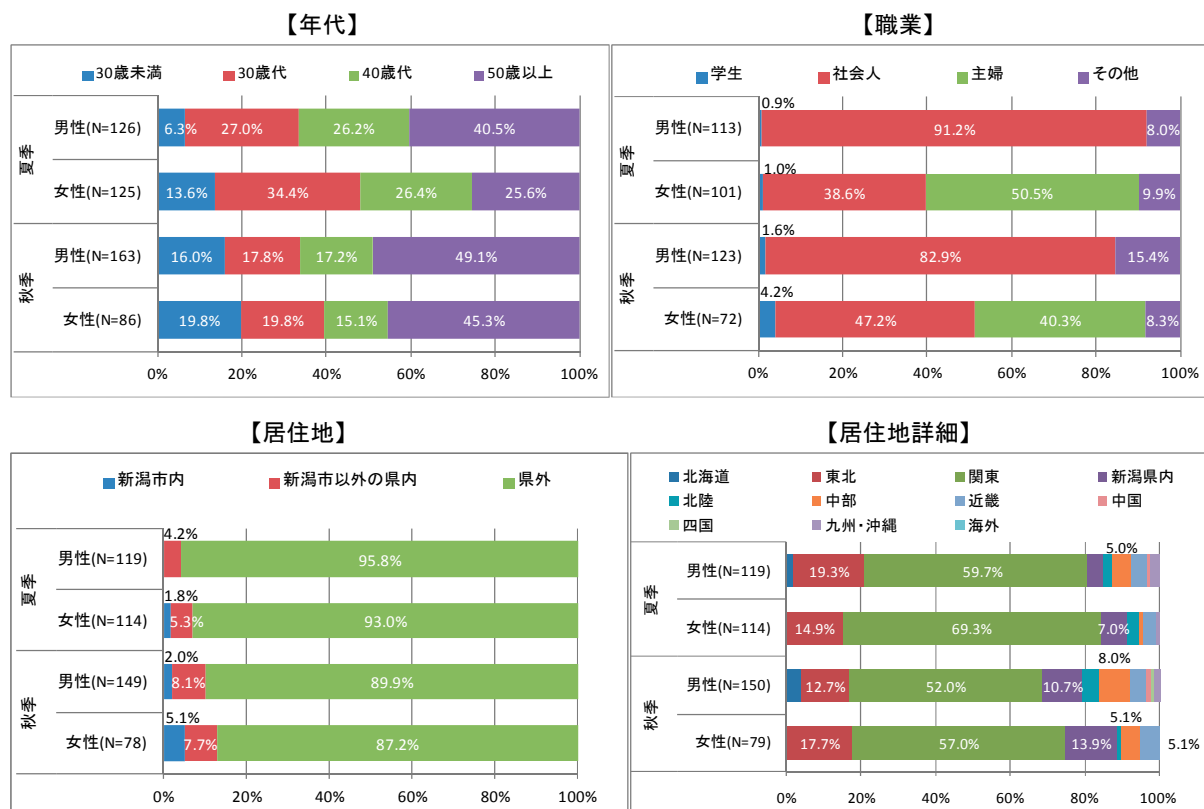
- ・夏季では男性が「社会人」女性は「主婦」の占める割合が最も高くなっている。
- ・秋季では男女ともに「社会人」の占める割合が最も高くなっている。

【居住地】

- ・各季節の男女ともに「県外」の占める割合が最も高くなっている。
- ・秋季の男女ともに「新潟市内」「新潟市以外の県内」を占める割合は夏季に比べ高くなっている。

【居住地詳細】

- ・各季節の男女ともに「関東」の占める割合が最も高く、次いで「東北」となっている。
- ・秋季の男女ともに「新潟県内」を占める割合は夏季に比べ高くなっている。



※5.0%未満の数値は非表示

②年 代

【職業】

- ・各季節ともに「社会人」の占める割合が最も高く、秋季の30歳以上では年代が上がるにつれ「社会人」の占める割合が低くなっている。
- ・夏季の30歳代、40歳代の「主婦」を占める割合は秋季に比べ高くなっている。

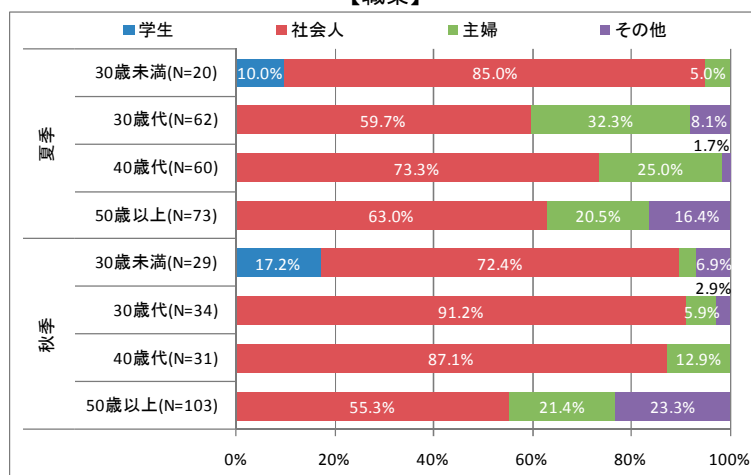
【居住地】

- ・各季節の各年代ともに「新潟市内」以外の占める割合が9割以上を占めている。

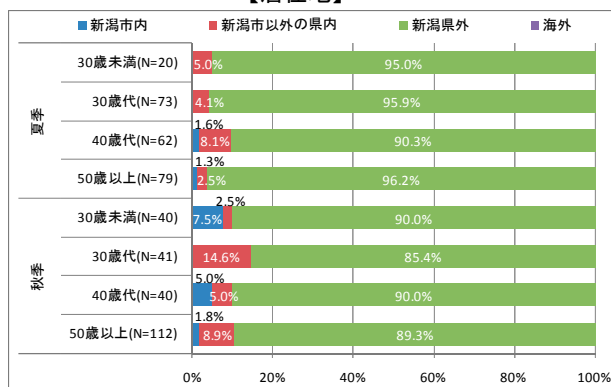
【居住地詳細】

- ・夏季の各年代ともに「関東」を占める割合は秋季に比べ高くなっている。

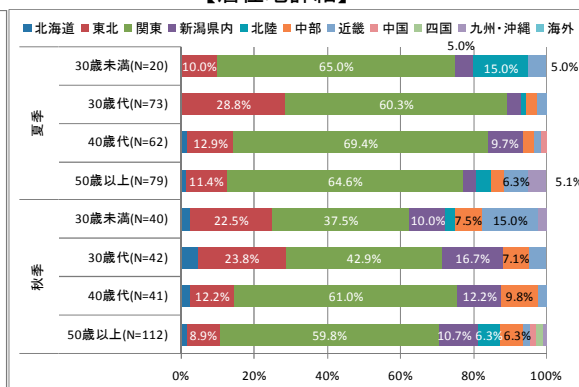
【職業】



【居住地】



【居住地詳細】

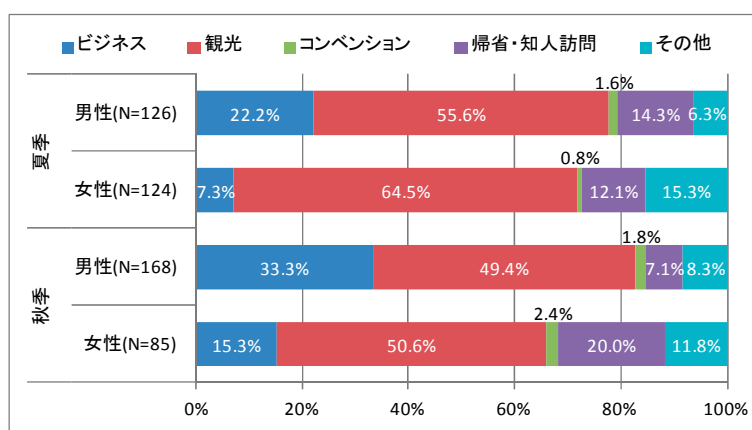


(2) 旅行目的

①性 別

- ・各季節の男女ともに「観光」の占める割合が最も高くなっている。
- ・秋季の男女ともに「ビジネス」を占める割合が夏季に比べ高くなっている。
- ・秋季の男性の「帰省・知人訪問」を占める割合は夏季に比べ7.2ポイント低くなっているが、女性では7.9ポイント高くなっている。

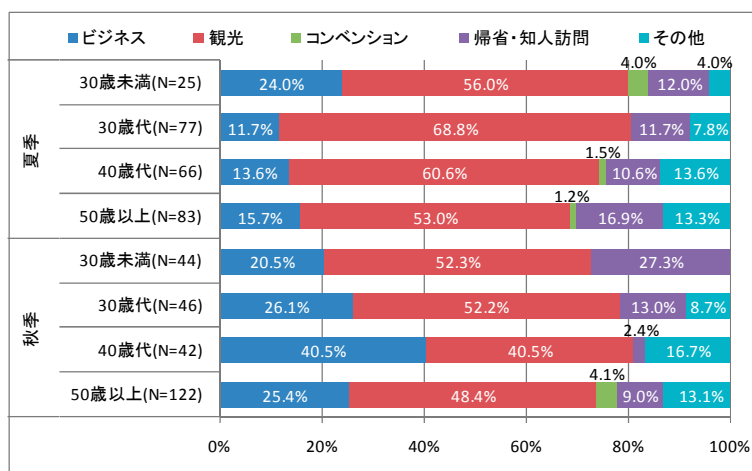
- ・各季節の男性では「観光」の占める割合が最も高く、次いで「ビジネス」となっている。
- ・各季節の女性では「観光」の占める割合が最も高く、次いで「帰省・知人訪問」となっている。



②年 代

- ・各季節の各年代ともに「観光」の占める割合が最も高くなっている。
- ・夏季の各年代ともに「観光」を占める割合は秋季に比べ高くなっている。

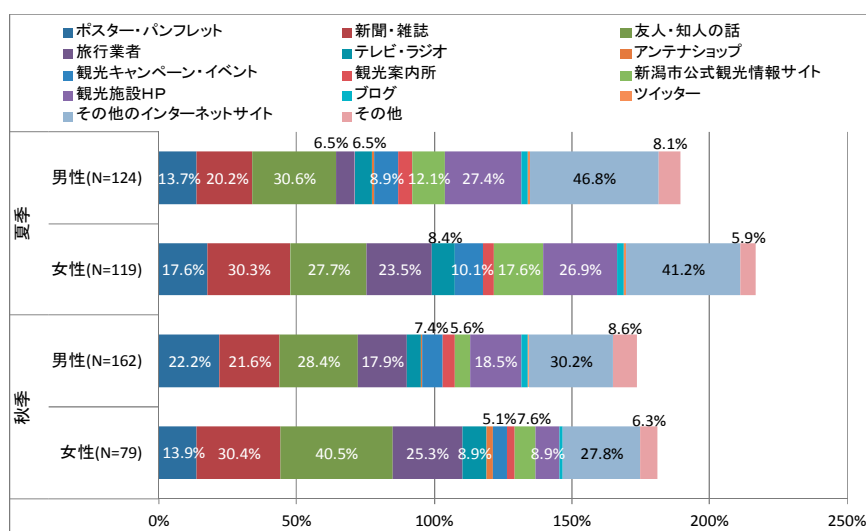
- ・秋季の30歳未満の「帰省・知人訪問」を占める割合は、夏季に比べ高くなっている。
- ・秋季の30歳以上の「ビジネス」を占める割合は、夏季に比べ高くなっている。



(3) ① 情報源（旅行きっかけ時）・・・複数回答

①性 別（「その他」は“以前から知っている”の回答が多いためコメント記載はしていない）・・・複数回答

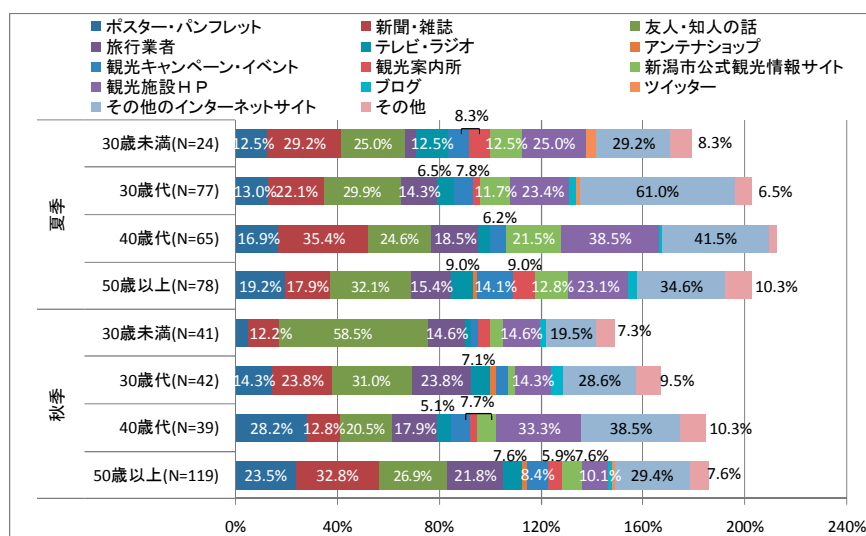
- ・夏季の男女ともに「新聞・雑誌」「友人・知人の話」「観光施設HP」「その他インターネットサイト」の占める割合が高くなっている。
- ・秋季の男女ともに「新聞・雑誌」「友人・知人の話」「その他のインターネットサイト」の占める割合が高くなっている。
- ・夏季の男女ともに「新潟市公式観光情報サイト」「観光施設HP」「その他のインターネットサイト」を占める割合は秋季に比べ高く、秋季の「旅行者」を占める割合は夏季に比べ高くなっている。



※5.0%未満の数値は非表示

②年 代（「その他」は“以前から知っている”の回答が多いためコメント記載はしていない）・・・複数回答

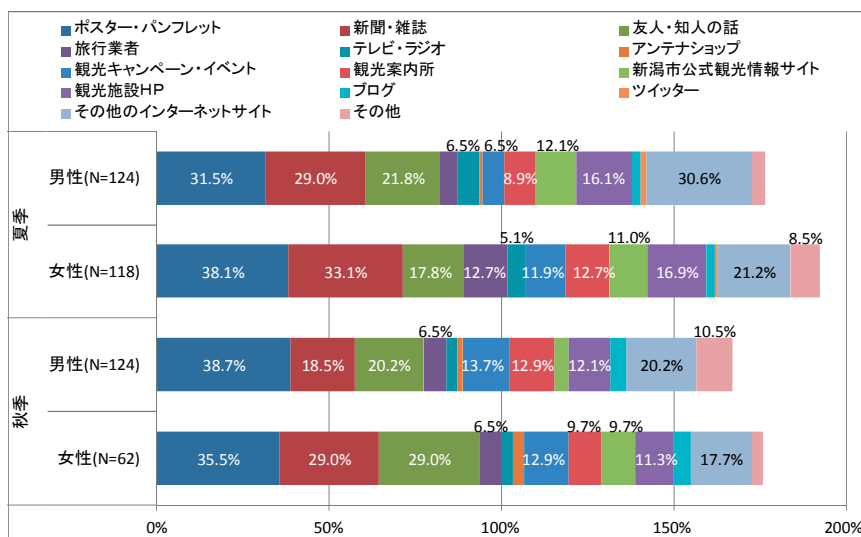
- ・各季節の各年代ともに「新聞・雑誌」「友人・知人の話」「その他のインターネットサイト」の占める割合が高くなっている。
- ・夏季の各年代ともに「観光施設HP」「その他インターネットサイト」を占める割合は秋季に比べ高くなっている。



※5.0%未満の数値は非表示

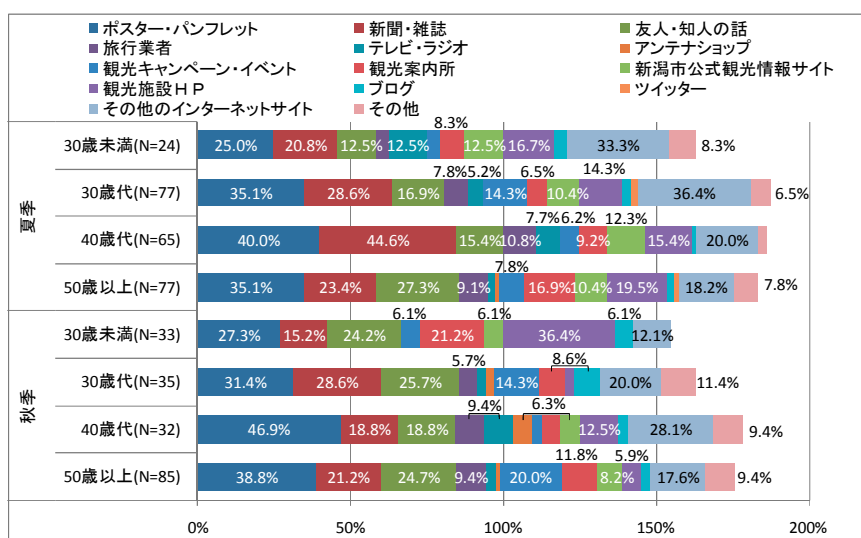
①性別 「その他」は“以前から知っている”の回答が多いためコメント記載はしていない。・・・複数回答

- ・各季節の男女ともに「ポスター・パンフレット」「新聞・雑誌」「友人・知人の話」「その他インターネットサイト」の占める割合が高くなっている。
- ・夏季の男女ともに「観光施設HP」の占める割合が秋季に比べ高くなっている。
- ・夏季の女性の「旅行者」の占める割合は秋季に比べ高くなっている。
- ・秋季の男性の「観光キャンペーン・イベント」の占める割合が、夏季に比べ高くなっている。



※5.0%未満の数値は非表示

- ・各季節の各年代ともに「ポスター・パンフレット」「新聞・雑誌」「友人・知人の話」「その他インターネットサイト」の占める割合が高くなっている。
- ・夏季の 40 歳未満の「その他インターネットサイト」を占める割合は、秋季に比べ高くなっている。
- ・秋季の 30 歳未満の「観光施設HP」を占める割合は、夏季に比べ高くなっている。



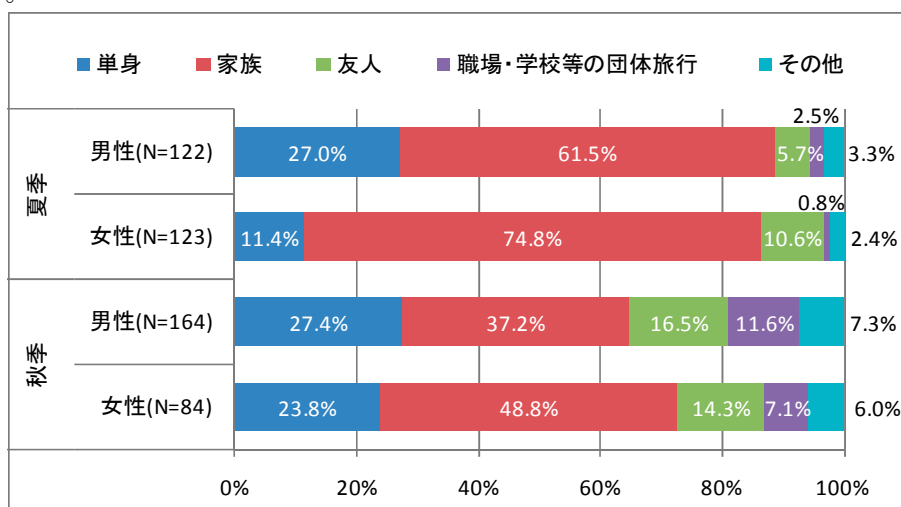
※5. 0%未満の数値は非表示

(4) 旅行形態

①性 別

- ・各季節の男女ともに「家族」の占める割合が最も高くなっている。
- ・秋季の男女ともに「単身」「友人」「職場・学校等の団体旅行」を占める割合は夏季に比べ高くなっている。

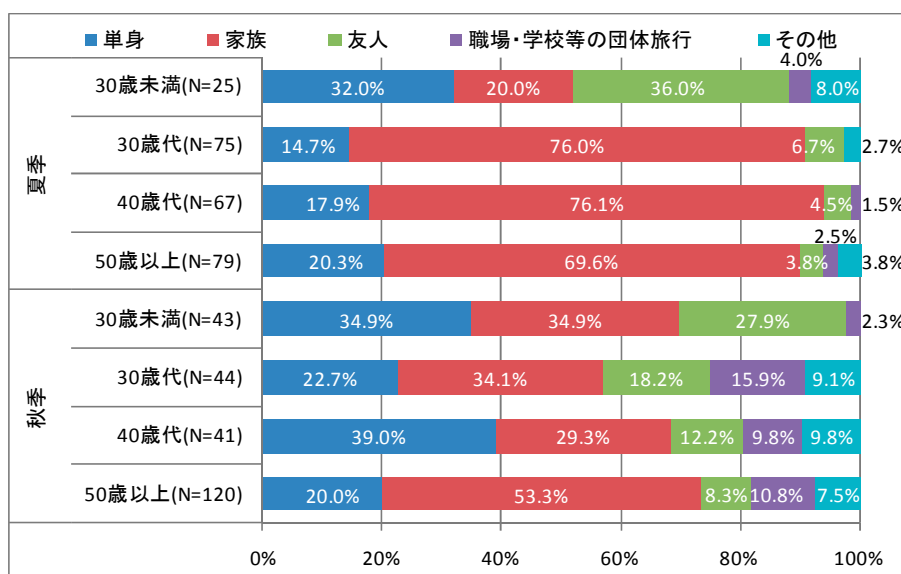
- ・各季節の男女ともに「家族」の占める割合が最も高く、次いで、「単身」となっている。
- ・秋季の女性の「単身」を占める割合は、夏季に比べ12.4ポイント高くなっている。
- ・秋季の「友人」を占める割合は、夏季に比べ男性では10.8ポイント、女性では3.7ポイント高くなっている。



②年 代

- ・夏季の「30歳未満」以外、秋季の「40歳代」以外では「家族」の占める割合が最も高くなっている。
- ・各季節ともに年代が高くなるにつれ「友人」の占める割合が低くなっている。

- ・各季節の30歳未満の「友人」を占める割合は他の年代に比べて高くなっている。

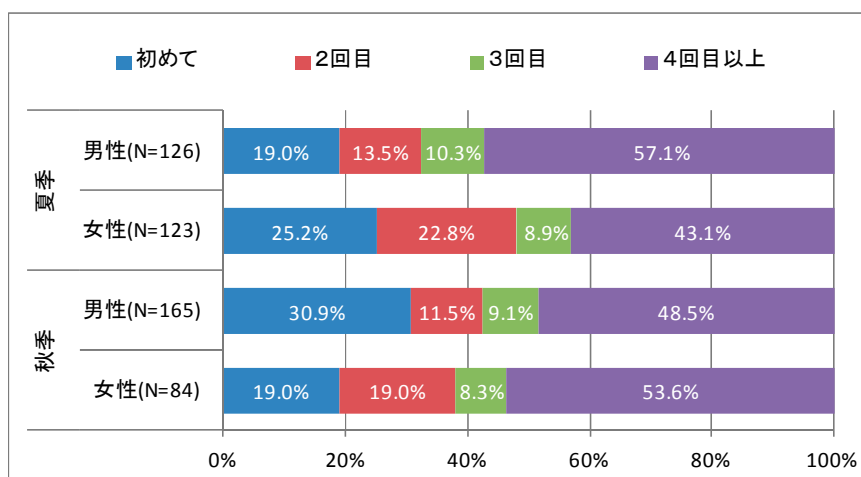


(5) 来訪回数

①性 別

- ・各季節の男女ともに「4回目以上」の占める割合が最も高くなっている。
- ・秋季の男性の「初めて」を占める割合は、夏季に比べ 11.9 ポイント高くなっているが、女性では 6.2 ポイント低くなっている。

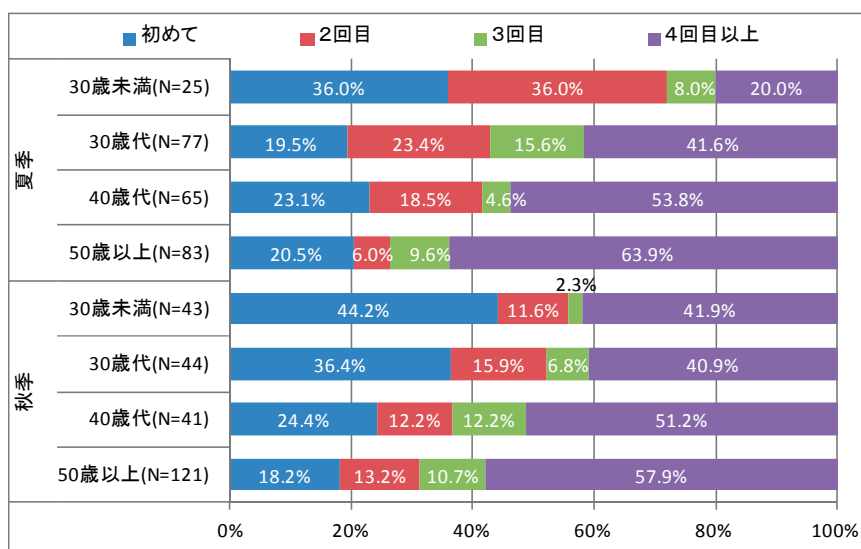
- ・各季節の男女ともに「4回目以上」の占める割合が最も高く、次いで、「初めて」となっている。



②年 代

- ・各季節の 30 歳未満では「初めて」、その他の年代では「4回目以上」の占める割合が最も高くなっている。
- ・各季節ともに 30 歳未満の「初めて」を占める割合は他の年代に比べ高くなっている。

- ・夏季の 30 歳以上の年代では「4回目」を占める割合が最も高く、30 歳未満では「初めて」「2回目」の占める割合が最も高くなっている。
- ・秋季の 30 歳以上の年代では「4回目」の占める割合が最も高く、30 歳未満では「初めて」の割合が高くなっている。

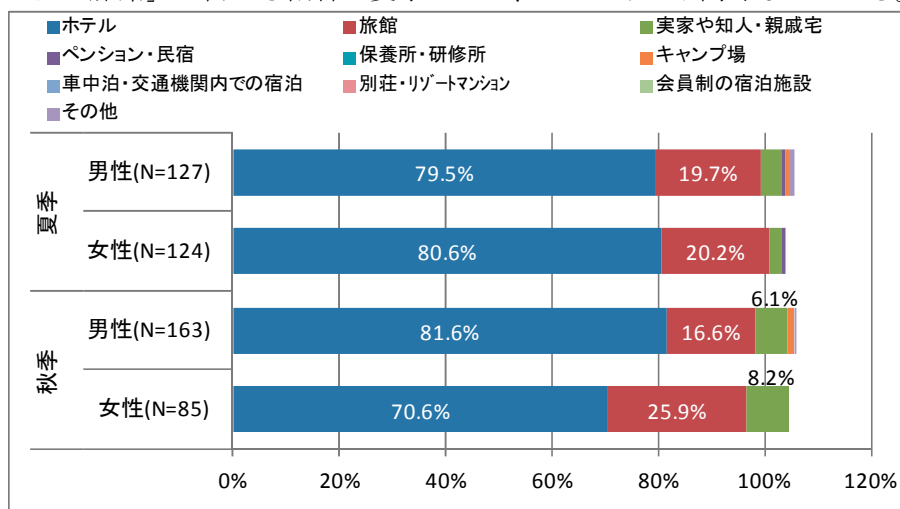


(6) 旅行中の宿泊施設・・・複数回答

①性 別・・・複数回答

・各季節の男女ともに、「ホテル」の占める割合が最も高く、次いで「旅館」の占める割合が高くなっている。

- ・夏季の男性では「旅館」に占める割合が秋季に比べ、3.1ポイント高くなっている。
- ・秋季の女性では「旅館」に占める割合が夏季に比べ、5.7ポイント高くなっている。

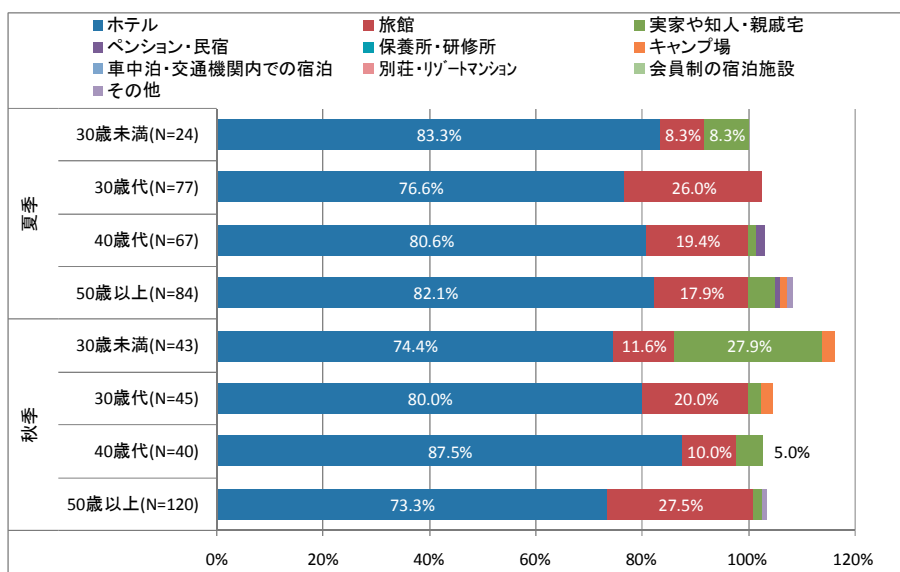


※5.0%未満の数値は非表示

②年 代・・・複数回答

・各季節の各年代ともに「ホテル」の占める割合が最も高くなっている。

- ・秋季の30歳未満では「実家や知人・親戚宅」の占める割合が、夏季に比べ19.6ポイント高くなっている。



※5.0%未満の数値は非表示

(7) 立ち寄った観光施設数及び観光地点…一部複数回答

①性 別…一部複数回答

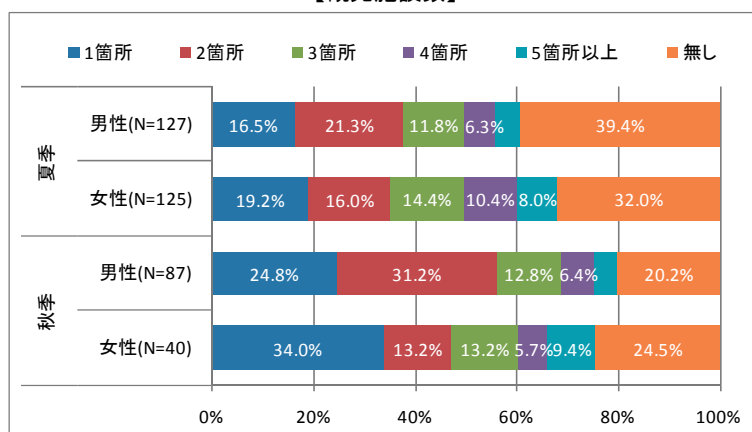
【観光施設数】

- ・各季節ともに男性は「2箇所」女性は「1箇所」の占める割合が最も高くなっている。
- ・夏季の男女ともに「無し」を占める割合は秋季に比べ高くなっており、秋季の方が多くの施設を周遊していると考えられる。

【観光地点】…複数回答

- ・夏季の男女ともに「マリニピア日本海(水族館)」の回答が最も多く、次いで「新潟ふるさと村」、「岩室温泉」となっている。
- ・秋季では男性が「白山神社」、女性が「新潟ふるさと村」の回答が最も多く、次いで「マリニピア日本海(水族館)」、「岩室温泉」となっている。

【観光施設数】



※5.0%未満の数値は非表示

【観光地点…複数回答】

夏 季		秋 季	
男 性	女 性	男 性	女 性
1. マリニピア日本海 (水族館) (23)	1. マリニピア日本海 (水族館) (33)	1. 白山神社 (19)	1. 新潟ふるさと村 (11)
2. 新潟ふるさと村 (16)	2. 新潟ふるさと村 (20)	2. マリニピア日本海 (水族館) (18)	2. マリニピア日本海 (水族館) (10)
2. 岩室温泉 (16)	3. 岩室温泉 (18)	3. 岩室温泉 (17)	3. 岩室温泉 (10)
4. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (12)	4. 関屋浜 (17)	4. 新潟ふるさと村 (15)	4. 白山神社 (9)
5. 白山神社 (10)	5. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (16)	5. ピア Bandai (11)	5. 護国神社 (4)
6. せんべい王国 (9)	6. ピア Bandai (14)	6. せんべい王国 (8)	5. 北方文化博物館 (4)
7. 関屋浜 (9)	7. 白山神社 (12)	6. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (8)	5. せんべい王国 (4)
8. ピア Bandai (8)	8. せんべい王国 (10)	8. 護国神社 (7)	5. カーブドッチ (4)
9. 新潟市歴史博物館 (みなとぴあ) (7)	9. 新潟市歴史博物館 (みなとぴあ) (9)	9. 北方文化博物館 (4)	5. ピア Bandai (4)
10. 田ノ浦海水浴場 (6)	10. ビッグスワン (6)	9. 関屋浜 (4)	5. カーブドッチヴィネスパ (4)
		9. いわむろや (4)	5. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (4)
		9. ビッグスワン (4)	

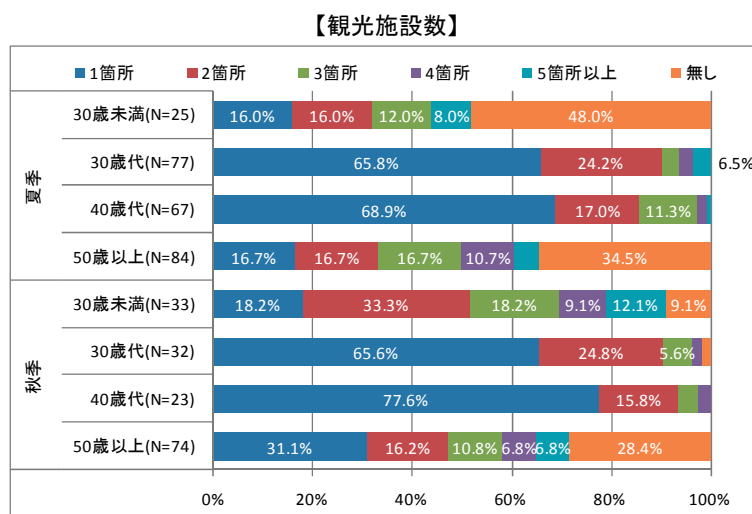
②年 代…一部複数回答

【観光施設数】

- ・各季節の30歳代、40歳代では「1箇所」を占める割合が他の年代に比べ高く、「無し」を占める割合は低くなっている。

【観光地点】…複数回答

- ・夏季では、30歳未満が「新潟ふるさと村」30～40歳代が「マリニピア日本海(水族館)」50歳以上が「岩室温泉」の回答が最も多くなっている。
- ・秋季では、30歳未満が「白山神社」30～40歳代が「マリニピア日本海(水族館)」50歳以上が「岩室温泉」の回答が最も多くなっている。



※5.0%未満の数値は非表示

【観光地点…複数回答】

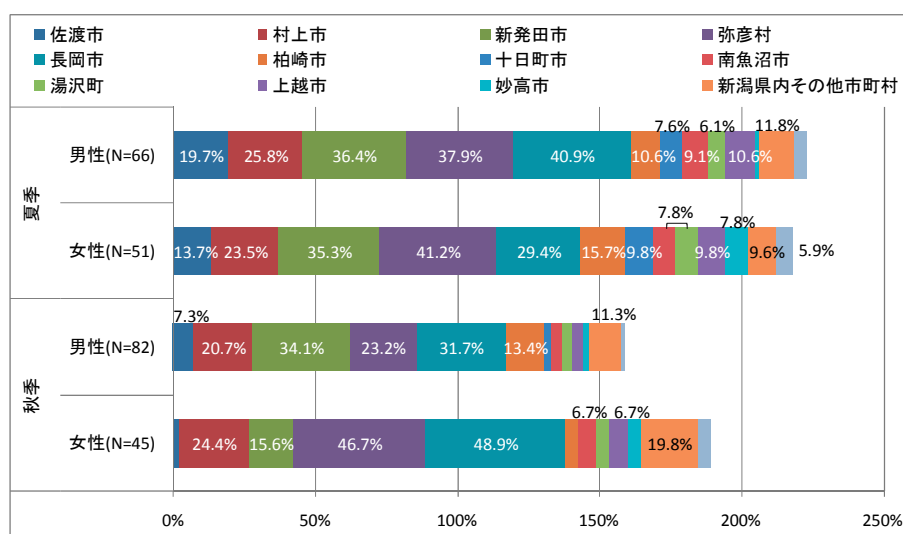
夏季			
30歳未満	30歳代	40歳代	50歳以上
1. 新潟ふるさと村 (5)	1. マリニピア日本海 (水族館) (27)	1. マリニピア日本海 (水族館) (15)	1. 岩室温泉 (16)
2. マリニピア日本海 (水族館) (4)	2. 新潟ふるさと村 (12)	2. 関屋浜 (9)	2. マリニピア日本海 (水族館) (11)
3. 関屋浜 (4)	3. ピア Bandai (10)	3. 新潟ふるさと村 (9)	2. 新潟ふるさと村 (11)
4. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ31階) (3)	4. 関屋浜 (9)	4. 岩室温泉 (9)	4. 新潟市歴史博物館 (みなとびあ) (10)
5. 白山神社 (2)	4. 岩室温泉 (9)	5. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ31階) (9)	4. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ31階) (10)
5. 新潟市歴史博物館 (みなとびあ) (2)	6. せんべい王国 (8)	6. 白山神社 (6)	6. ピア Bandai (8)
5. カーブドッチ (2)	7. 白山神社 (7)	7. 県立自然科学館 (6)	7. 白山神社 (7)
5. レインボータワー (2)	8. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ31階) (6)	8. 角田浜 (6)	8. 県政記念館 (5)
9. 県政記念館 (1)	8. ビッグスワン (4)	8. せんべい王国 (5)	8. 北方文化博物館 (5)
9. 北方文化博物館 (1)	10. 日和山浜 (3)	10. ピア Bandai (3)	8. せんべい王国 (5)
9. 新潟県立万代美術館 (1)	10. いわむろや (3)		
9. せんべい王国 (1)			
9. ピア Bandai (1)			
9. じょんのび館 (1)			
9. 北方文化博物館 (1)			
9. ビッグスワン (1)			

秋季			
30 歳未満	30 歳代	40 歳代	50 歳以上
1. 白山神社 (10)	1. マリンピア日本海 (水族館) (8)	1. マリンピア日本海 (水族館) (5)	1. 岩室温泉 (21)
2. マリンピア日本海 (水族館) (9)	2. 新潟ふるさと村 (6)	1. 新潟ふるさと村 (5)	2. 白山神社 (11)
3. 新潟ふるさと村 (6)	3. 白山神社 (5)	3. せんべい王国 (3)	3. 新潟ふるさと村 (10)
3. ピア Bandai (6)	4. せんべい王国 (3)	3. ピア Bandai (3)	4. 護国神社 (5)
5. 護国神社 (4)	5. ピア Bandai (3)	5. 白山神社 (2)	4. 北方文化博物館 (5)
5. カーブドッチヴィネス パ (4)	6. 岩室温泉 (3)	5. 新津記念館 (2)	4. マリンピア日本海 (水族館) (5)
5. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (4)	7. 護国神社 (2)	5. 新潟市歴史博物館 (みなとびあ) (2)	7. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (4)
8. せんべい王国 (3)	7. カーブドッチ (2)	5. 北方文化博物館 新潟 分館 (2)	7. いわむろや (4)
9. カーブドッチ (2)	7. 角田山 (2)	5. 岩室温泉 (2)	9. 弘法清水 (3)
9. 関屋浜 (2)	7. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (2)	5. Befco ばかうけ展望室 (朱鷺メッセ 31 階) (2)	9. 新潟市美術館 (3)
9. 巻射撃場 (2)	7. ビッグスワン (2)		9. ピア Bandai (3)
9. 白根グレイプガーデン (2)			9. 日本海タワー (3)
9. 岩室温泉 (2)			
9. いわむろや (2)			

(8) 新潟市以外の来訪市町村（他の市町村には来訪しないは除く）・・・複数回答

①性 別・・・複数回答

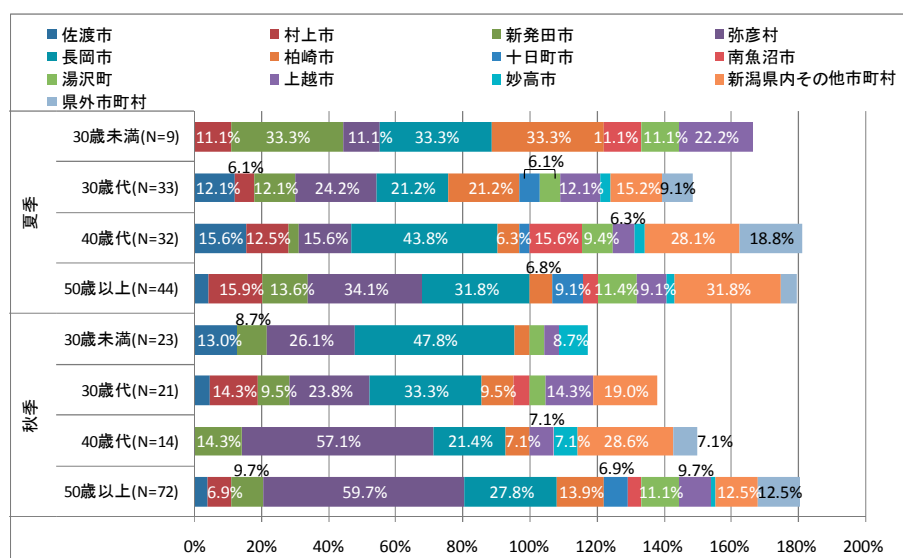
- ・夏季の男女、秋季の男性では「村上市」「新発田市」「弥彦村」「長岡市」の占める割合が高く、秋季の女性では「村上市」「弥彦村」「長岡市」の占める割合が高くなっている。
- ・夏季の男女ともに「佐渡市」「十日町市」「上越市」を占める割合は秋季に比べ高くなっている。
- ・秋季の女性の「新潟県内その他市町村」を占める割合は、夏季に比べ 10.2 ポイント高くなっている。



※5.0%未満の数値は非表示

②年 代・・・複数回答

- ・夏季では、年代が高くなるにつれ「新潟県内その他市町村」の占める割合が高くなっている。
- ・秋季の40歳未満では「長岡市」40歳以上では「弥彦村」の占める割合が最も高くなっている。



※5.0%未満の数値は非表示

(9)－1 利用交通機関（新潟市来訪時）

①性 別

- ・夏季の男女ともに「自家用車」の占める割合が最も高くなっている。
- ・秋季では男性が「JR 新幹線」女性が「自家用車」の占める割合が最も高くなっている。
- ・秋季の「JR 新幹線」を占める割合は、夏季に比べ男性が 22.9 ポイント、女性が 10.4 ポイント高くなっている。

項 目	夏季		秋季	
	男性 (N=116)	女性 (N=122)	男性 (N=161)	女性 (N=83)
自家用車	62.9%	63.1%	39.8%	47.0%
JR 新幹線	29.3%	22.1%	52.2%	32.5%
JR 在来線	2.6%	3.3%	0.6%	1.2%
飛行機	2.6%	0.8%	1.9%	2.4%
貸切バス・観光バス	0.9%	0.8%	1.2%	2.4%
高速バス	0.0%	6.6%	1.9%	7.2%
レンタカー	0.0%	0.8%	1.2%	2.4%
タクシー	0.0%	1.6%	0.0%	1.2%
フェリー	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%
観光タクシー	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
その他	1.7%	0.8%	0.6%	1.2%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

②年 代

- ・夏季の各年代ともに「自家用車」の占める割合が最も高くなっており、次いで「JR 新幹線」となっている。
- ・秋季の 30 歳未満、40 歳代では「JR 新幹線」30 歳代、50 歳以上では「自家用車」の占める割合が最も高くなっている。

項 目	夏季			
	30 歳未満 (N=24)	30 歳代 (N=76)	40 歳代 (N=65)	50 歳以上 (N=75)
自家用車	50.0%	64.5%	69.2%	60.0%
JR 新幹線	29.2%	21.1%	24.6%	30.7%
JR 在来線	8.3%	3.9%	1.5%	1.3%
高速バス	12.5%	3.9%	0.0%	2.7%
その他	0.0%	1.3%	3.1%	0.0%
飛行機	0.0%	1.3%	1.5%	2.7%
貸切バス・観光バス	0.0%	1.3%	0.0%	1.3%
タクシー	0.0%	1.3%	0.0%	1.3%
レンタカー	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

項 目	秋季			
	30 歳未満 (N=42)	30 歳代 (N=46)	40 歳代 (N=40)	50 歳以上 (N=117)
JR 新幹線	61.9%	41.3%	52.5%	35.9%
自家用車	19.0%	45.7%	37.5%	51.3%
高速バス	9.5%	0.0%	5.0%	3.4%
JR 在来線	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
レンタカー	2.4%	6.5%	0.0%	0.0%
飛行機	0.0%	4.3%	2.5%	2.6%
貸切バス・観光バス	0.0%	2.2%	0.0%	2.6%
その他	0.0%	0.0%	2.5%	0.9%
フェリー	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%
タクシー	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
観光タクシー	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

(9)－2 利用交通機関（新潟市滞在時）・・・複数回答

①性 別・・・複数回答

- ・各季節の男女ともに「自家用車」の占める割合が最も高くなっているが、新潟市来訪時とは異なり「タクシー」「市内路線バス」「JR 在来線」「レンタカー」などの割合が高くなっている。

項 目	夏季		秋季	
	男性 (N=111)	女性 (N=119)	男性 (N=135)	女性 (N=70)
自家用車	67.6%	62.2%	43.0%	58.6%
タクシー	19.8%	21.0%	14.8%	20.0%
市内路線バス	12.6%	11.8%	17.8%	15.7%
新潟市観光循環バス （ドカベン号・犬夜叉号）	3.6%	5.0%	3.0%	8.6%
貸切バス・観光バス	3.6%	0.8%	4.4%	2.9%
レンタカー	3.6%	3.4%	13.3%	4.3%
JR 在来線	2.7%	5.9%	15.6%	5.7%
レンタサイクル	1.8%	3.4%	0.7%	0.0%
JR 新幹線	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
フェリー	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%
観光タクシー	0.0%	0.0%	1.5%	1.4%
その他	5.4%	5.9%	4.4%	4.3%
計	122.5%	120.2%	118.5%	121.5%

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

②年 代・・・複数回答

- ・夏季では各年代ともに「自家用車」の占める割合が最も高くなっている。
- ・秋季では 30 歳未満が「レンタカー」、30 歳以上では「自家用車」の占める割合が最も高くなっている。

項 目	夏季			
	30 歳未満 (N=20)	30 歳代 (N=72)	40 歳代 (N=62)	50 歳以上 (N=78)
自家用車	60.0%	66.7%	67.7%	61.5%
市内路線バス	20.0%	9.7%	6.5%	16.7%
タクシー	15.0%	18.1%	16.1%	26.9%
JR 在来線	10.0%	1.4%	4.8%	5.1%
レンタサイクル	10.0%	1.4%	1.6%	2.6%
新潟市観光循環バス （ドカベン号・犬夜叉号）	5.0%	1.4%	8.1%	3.8%
その他	0.0%	6.9%	11.3%	1.3%
レンタカー	0.0%	4.2%	3.2%	3.8%
貸切バス・観光バス	0.0%	4.2%	0.0%	2.6%
JR 新幹線	0.0%	0.0%	1.6%	2.6%
フェリー	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%
信濃川水上バス・遊覧船	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
計	120.0%	114.0%	122.5%	128.2%

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

項 目	秋季			
	30 歳未満 (N=34)	30 歳代 (N=38)	40 歳代 (N=32)	50 歳以上 (N=100)
レンタカー	35.3%	7.9%	9.4%	2.0%
自家用車	32.4%	50.0%	43.8%	55.0%
市内路線バス	17.6%	21.1%	21.9%	12.0%
JR 在来線	8.8%	18.4%	9.4%	11.0%
タクシー	8.8%	10.5%	28.1%	18.0%
新潟市観光循環バス (ドカベン号・犬夜叉号)	8.8%	5.3%	6.3%	5.0%
貸切バス・観光バス	2.9%	5.3%	0.0%	5.0%
信濃川水上バス・遊覧船	2.9%	0.0%	3.1%	0.0%
その他	0.0%	7.9%	6.3%	4.0%
観光タクシー	0.0%	2.6%	0.0%	2.0%
レンタサイクル	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
計	117.5%	129.0%	128.3%	115.0%

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

(10) 1人当たりの観光消費額（宿泊のみ）

①夏 季

		交通費	宿泊費	土産代	飲食費	入場料	その他	合計
性別	男性	2,267	9,666	3,013	4,594	521	1,043	21,104
	女性	1,653	12,813	2,908	4,318	741	390	22,823
年代	30歳未満	1,800	9,180	2,233	3,977	1,095	442	18,727
	30歳代	1,530	10,252	2,019	3,643	672	841	18,957
	40歳代	1,522	11,826	3,439	4,886	685	470	22,828
	50歳以上	3,405	12,211	3,706	5,075	438	870	25,705

②秋 季

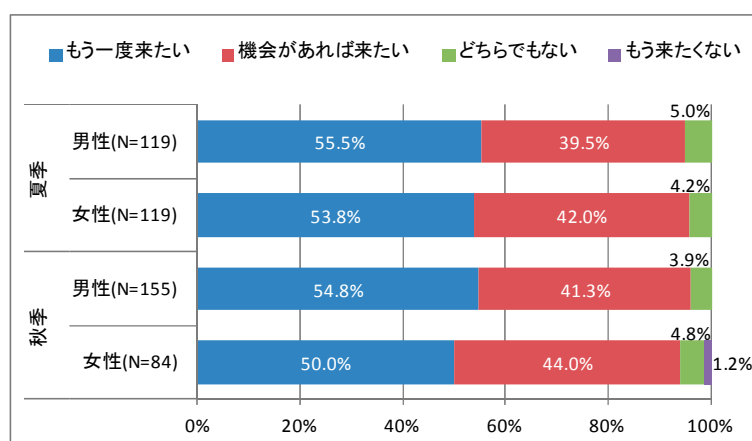
		交通費	宿泊費	土産代	飲食費	入場料	その他	合計
性別	男性	2,792	12,698	2,779	3,923	398	458	23,048
	女性	4,368	10,352	3,603	3,782	377	597	23,079
年代	30歳未満	6,074	8,094	2,757	4,625	523	234	22,307
	30歳代	3,736	10,241	2,534	3,716	265	705	21,197
	40歳代	2,232	12,649	3,725	3,389	160	204	22,359
	50歳以上	3,101	13,391	3,346	3,814	457	639	24,748

(11) 再来訪の意向

①性 別

- ・各季節の男女ともに「もう一度来たい」の占める割合が最も高く、再来訪の意向に大きな変化はない。

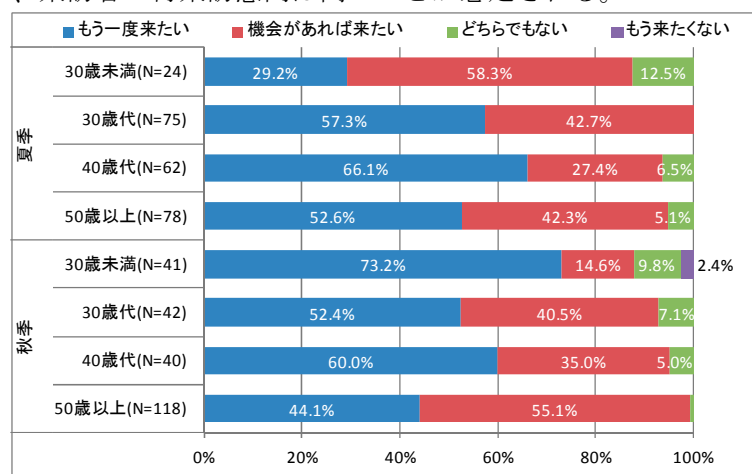
- ・各季節の男女ともに「もう一度来たい」の占める割合が最も高く、次いで「機会があれば来たい」となっている。
- ・各季節の男女ともに再来訪したい意向（「もう一度来たい」＋「機会があれば来たい」）は9割以上を占めており、来訪者の再来訪意向は高いことが想定される。



②年 代

- ・夏季の30歳未満では「機会があれば来たい」、30歳以上では「もう一度来たい」の占める割合が最も高くなっている。
- ・秋季の50歳未満では「もう一度来たい」、50歳以上では「機会があればもう一度来たい」の占める割合が最も高くなっている。

- ・秋季の30歳以上では「もう一度来たい」の占める割合は、夏季に比べ低くなっているのに対し、秋季の30歳未満では2倍以上も高くなっている。
- ・各季節の30歳以上では再来訪したい意向（「もう一度来たい」＋「機会があれば来たい」）は9割以上を占めており、来訪者の再来訪意向は高いことが想定される。



第6章 観光消費額の推計

第6章 観光消費額の推計

1. 推計方法

国の共通基準に基づき、各調査期の観光入込客数（実人数）、観光消費額単価および観光消費額を推計する。

観光入込客数（延べ人数）を属性別構成比（日帰り・宿泊）で按分し、平均訪問地点数で除して、観光入込客数（実人数）を推計する。さらに別途、観光消費額単価を推計し、この2つを乗じること

で観光消費額を推計する。

なお、観光入込客数（延べ人数）については、当該年（平成23年）の数値が集計中のため、今回の推計では前年（平成22年）の数値を基に推計した。

2. 推計結果

観光入込客数と観光地点調査結果から算出した係数を用いて消費額の推定を行った。夏季日帰り客は約23億円、秋季日帰り客は約38億円、夏季宿泊客は約116億円、秋季宿泊客は約78億円となり、夏季では総額約139億円、秋季では総額約116億円と推計された。

① 観光入込客数（実人数） ※「図表6-1 観光消費額等の推計フロー」⑦に該当

（単位：人）

項目	日帰り	宿泊	合計
夏季	1,296,944	685,574	1,982,518
秋季	1,004,434	445,085	1,449,519
合計	2,301,378	1,130,659	3,432,037

② 観光消費額単価 ※「図表6-1 観光消費額等の推計フロー」⑧に該当

（単位：円）

夏季		秋季	
日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客
1,799	16,876	3,753	17,633

③ 観光消費額 ※「図表6-1 観光消費額等の推計フロー」⑨に該当

（単位：円）

項目	日帰り	宿泊	合計
夏季	2,333,202,256	11,569,746,824	13,902,949,080
秋季	3,769,640,802	7,848,183,805	11,617,824,607
合計	6,102,843,058	19,417,930,629	25,520,773,687

図表 6-1 観光消費額等の推計フロー

統計及び推計値

①観光入込客数…延べ人数

夏季観光入込客数 (H22. 7-9) : 2, 922, 690 人…延べ人数

秋季観光入込客数 (H22. 10-12) : 2, 213, 160 人…延べ人数

①×②
(観光入込客数×日帰り客・宿泊客比率)

③日帰り・宿泊別観光入込客数…延べ人数

項 目	日 帰 り	宿 泊	合 計
夏季	2, 075, 110	847, 580	2, 922, 690
秋季	1, 305, 764	907, 396	2, 213, 160
合 計	3, 380, 874	1, 754, 976	5, 135, 850

③÷④
(日帰り・宿泊別観光入込客数(延べ人数)
÷宿泊客・日帰り客平均訪問地点数)

⑤日帰り・宿泊別観光入込客数…実人数

項 目	日 帰 り	宿 泊	合 計
夏季	1, 296, 944	498, 576	1, 795, 520
秋季	1, 004, 434	567, 123	1, 571, 557
合 計	2, 301, 378	1, 065, 699	3, 367, 077

⑥宿泊観光入込客数は宿泊旅行統計
を活用

⑦宿泊客数置き換え…実人数

項 目	日 帰 り	宿 泊	合 計
夏季	1, 296, 944	685, 574	1, 982, 518
秋季	1, 004, 434	445, 085	1, 449, 519
合 計	2, 301, 378	1, 130, 659	3, 432, 037

⑦×⑧
(日帰り・宿泊別観光入込客数(実人数)
×宿泊客・日帰り客一人当たり消費額)

⑨観光消費額

項目	日 帰 り	宿 泊	合 計
夏季	2, 333, 202, 256	11, 569, 746, 824	13, 902, 949, 080
秋季	3, 769, 640, 802	7, 848, 183, 805	11, 617, 824, 607
合計	6, 102, 843, 058	19, 417, 930, 629	25, 520, 773, 687

観光地点調査結果から算出した係数

②日帰り客・宿泊客比率

夏季		秋季	
日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客
0. 71	0. 29	0. 59	0. 41

④日帰り・宿泊客客平均訪問地点数

夏季		秋季	
日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客
1. 6	1. 7	1. 3	1. 6

⑥宿泊観光入込数(外国人は除く)

夏季		秋季	
補正前	補正後	補正前	補正後
434, 979	685, 574	407, 151	445, 085

⑧日帰り・宿泊客客一人当たり消費額

夏季		秋季	
日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客
1, 799	16, 876	3, 753	17, 633

第7章 新潟市における観光動向のまとめ

第7章 新潟市における観光動向のまとめ

以下に、今回の調査で得られた、夏季及び秋季に市内の観光地点を訪れた来訪者、及び市内宿泊施設で宿泊した来訪者の動向をまとめる。

1. 属性と滞在傾向

- ・ 観光地点来訪者と市内宿泊者を「市内」「県内の市外」「県外」の3区分に分けてみると、「県外」の割合が最も高く、観光地点来訪者では夏季で約4割、秋季で約5割、市内宿泊者では各季節とも約9割を占めた。「県外」の内訳を地域別でみると「関東」「東北」の割合が高かった。
- ・ 観光地点来訪者は、「日帰り」の割合が高く、夏季で約7割、秋季で約6割を占めた。
- ・ 宿泊者における宿泊数は、観光地点来訪者・市内宿泊者ともに「1泊」の割合が最も高く、観光地点来訪者では夏季で約7割、秋季で約9割、市内宿泊者では夏季で約6割、秋季で約7割を占め、夏季の方が、秋季に比べて「2泊以上」の割合は高かった。宿泊施設は「ホテル」の割合が最も高く、観光地点来訪者で約7割、市内宿泊者で約8割を占めた。
- ・ 立ち寄った観光地点は、市内宿泊者の結果でみると、夏季では「マリニピア日本海」の回答が最も多く、続いて「新潟ふるさと村」、「岩室温泉」、「Befco ばかうけ展望室」、「関屋浜」の順であった。秋季では「白山神社」の回答が最も多く、続いて「マリニピア日本海」、「岩室温泉」、「新潟ふるさと村」、「ピア Bandai」の順であった。
- ・ 今回の旅行で、新潟市以外の市町村も訪れた人の割合は、観光地点来訪者で約3割、市内宿泊者で約5割を占めた。
- ・ 新潟市以外の市町村で訪れた市町村（複数回答）では、観光地点調査では夏季が「弥彦村」「長岡市」「新発田市」の順で回答が多かった。秋季では「長岡市」の回答が最も多く、次いで「弥彦村」、「新発田市」「新潟県内その他市町村」と続いた。宿泊施設調査では、夏季が「長岡市」の回答が最も多く、「弥彦村」、「新潟県内その他市町村」と続き、秋季では「弥彦村」の回答が最も多く、「長岡市」「新潟県内その他市町村」と続いた。
- ・ 新潟市来訪時の利用交通機関について、観光地点来訪者では、「自家用車」の割合が最も高く、夏季で約8.5割、秋季では約7割を占めた。市内滞在時の利用交通機関（複数回答）でも「自家用車」の割合が最も高く、夏季で約9割、秋季で約7割を占めた。市内宿泊者の来訪時の利用交通機関は、夏季では「自家用車」が約6割と最も高い割合を占めたが、秋季では「JR新幹線」の割合が最も高く、約4.5割を占めた。市内滞在時には、各季節とも「自家用車」の割合が最も高く、夏季で6.5割、秋季で約5割を占めた。

- ・一人当たりの観光消費額は、観光地点来訪者・市内宿泊者ともに秋季の方が、夏季に比べて高かった。年代別にみると、年代が高くなるにつれて、消費額も高くなる傾向が見られた。

2. 来訪頻度

- ・新潟市への来訪回数については、「4回目以上」のリピーターの割合が高く、観光地点来訪者では各季節とも約7割を占め、県外客が約9割を占める市内宿泊者においても、各季節とも約5割を占めた。
- ・年代別にみると、年代が高くなるにつれて「4回目以上」のリピーターの割合が高くなる傾向が見られた。
- ・新潟市への再来訪の意向については、9割以上の方が「もう一度来たい」または「機会があれば来たい」と回答しており、来訪者の再来訪意向は高いことがうかがえた。

3. 情報入手経路

- ・旅行の情報源（複数回答）について、観光地点来訪者は、旅行のきっかけ時・滞在時ともに「友人・知人の話」の割合が最も高く、夏季で約4割、秋季で約3割を占めた。市内宿泊者では、旅行のきっかけ時には、夏季で「その他のインターネットサイト」の割合が最も高く約4割を占め、秋季では「友人・知人の話」の割合が約3.5割と最も高かった。滞在時には「ポスター・パンフレット」の割合が最も高く各季節ともに約3割を占めた。
- ・全体的に、観光地点来訪者に比べて、市内宿泊者では「新潟市公式観光情報サイト」「観光施設ホームページ」「その他インターネットサイト」など、インターネットサイトにより情報を入手する割合が高い傾向が見られた。

4. 旅行の目的と形態

- ・今回の旅行目的は、「観光」の割合が、観光地点来訪者では約8割、市内宿泊者では約5～6割を占めていた。市内宿泊者では、「ビジネス」目的が夏季で約1.5割、秋季で2.5割となっており、ビジネス目的の来訪者の割合は、秋季の方が夏季に比べて高かった。
- ・旅行形態については、「家族」の割合が最も高く、観光地点来訪者では夏季で約7割、秋季で約5割を占め、市内宿泊者では夏季で約7割、秋季で約4割を占めた。
- ・季節別で見ると、夏季は夏休みシーズンということもあり、秋季に比べて「家族」の占める割合が高くなったと想定される。また、秋季では「友人」「職場・学校等の団体旅行」の割合が、夏季に比べて高くなる傾向が見られた。

本章では、夏季・秋季における調査結果のみをまとめたが、本市の観光振興施策につなげていくためには、今回の調査を基礎資料として、今後も来訪者の動向を継続して把握していくことが必要と思われる。

資料編

資料編

1. 観光地点調査 調査票

新潟市観光動向アンケート調査票

問1. 今回の旅行の主な目的は何ですか。※ 1つだけ○

1. ビジネス 2. 観光 3. コンベンション 4. 調査・知人訪問 5. その他()

問2. 「旅行がきっかけで」「滞在時」「滞在後」における新潟市の観光やビジネスなどの情報源をそれぞれ3つまでご記入ください。

1. ガスター・パンフレット 2. 新聞・雑誌 3. 友人・知人の話
4. 旅行業者 5. テレビ・ラジオ 6. アンテナショップ
7. 観光キャンペーン・イベント 8. 観光案内所 9. 観光公式観光情報サイト
(Welcome to Niigata City)
10. 観光施設HP 11. ブログ 12. ツイッター
13. その他のインターネットサイト 14. その他()

【問3 回答欄】
旅行がきっかけで
滞在時
滞在後

問3. あなたも含めて、何人での、どんなと一緒の旅行ですか。親子連れや乳幼児も含む

1. 単身 2. 家族 3. 友人 4. 職場・学校等の団体旅行
5. その他()

【問4 回答欄】
旅行がきっかけで
滞在時
滞在後

問4. 新潟市へは何回目を訪問ですか。※ 1つだけ○

1. 初めて 2. 2回目 3. 3回目 4. 4回目以上

問5. 今回の旅行は日帰りですか、宿泊ですか。

宿泊であれば、何泊ですか。そのうち、新潟市内では、どのような施設に宿泊するか○印をご記入ください。

1. 日帰り 2. 宿泊
3. 新潟市外 4. 新潟市内 5. その他

利用した市内宿泊施設に○印をご記入ください。

1. ホテル 2. 旅館 3. 実家や知人・親戚宅
4. ペンション・民宿 5. 保養所・研修所 6. キャンプ場
7. (キャンプ場以外の)車中泊・交通機関内での宿泊 8. 別荘・サブサナクション
9. 会員制の宿泊施設 10. その他

問6. 今回の旅行で訪れる市内観光地の中で、別紙【観光地リスト】に掲載のある観光地の番号をすべてご記入ください。訪れた観光地が別紙【観光地リスト】に掲載が無い場合は、「無し」に○印をご記入ください。

別紙【観光地リスト】より番号記載11

【問6 回答欄】
訪れた(訪れようとする)市内観光地 計 番号 無し

【メモ欄】※観光地点を直接記入欄にご記入ください。

問7. 今回の旅行で新潟市以外の訪問市町村すべてに○印をご記入ください。また、新潟市以外の市町村に訪問しない場合は「他の市町村は訪問しない」に○印をご記入ください。

1. 佐渡市 2. 村上市 3. 新発田市 4. 新津市 5. 長岡市 6. 柏崎市
7. 十日町市 8. 南魚沼市 9. 湯沢町 10. 上越市 11. 妙高市
12. 新潟県内その他市町村() 13. 県内市町村()
14. 他の市町村には訪問しない

問8. 「[新潟市来訪時]」「[市内観光時]」「[市内観光時(観光客含む)]」への移動時(利用した)交通機関をすべてご記入ください。

1. 新幹線 2. 在来線 3. 自動車
4. レンタカー 5. 高速バス 6. 市内路線バス
7. 新潟市観光バス(リカベン号・次夜号) 8. 貸切バス・観光バス
9. 信濃川水上バス・遊覧船 10. フェリー 11. タクシー
12. 観光タクシー 13. ペロタクシー(自転車タクシー)
14. レンタサイクル 15. 飛行機 16. その他()

【問8 回答欄】
新潟市来訪時
市内観光時
市内観光時(観光客含む)への移動時

問9. 今回の旅行で、使う費用(これから使う予定も含めて)を記入してください。また、それは何人分の費用かご記入ください。

※ 交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、市外・市内を分けて記入
※ 今回の旅行が1泊旅行である場合、費用が市内のみか、市外を含むかを選択(○印を入れる)

	費用		使用費用
	市内	市外	
①交通費	円	円	円
②宿泊費	円	円	円
③土産代	円	円	円
④飲食費	円	円	円
⑤入場料	円	円	円
⑥その他	円	円	円
⑦バック料金	円	円	円

※ 市外の場合は、市外分のみ記入(市外分を含む)

問10. 新潟市へもう一度旅行したいと思いますか。※ 1つだけ○

1. もう一度きたい 2. 場合があればきたい 3. どちらでもない 4. もう来たくない

問11. あなたの性別、年齢、職業、お住まいを記入してください。※ それぞれ1つだけ○

性別 : 1. 男性 2. 女性
年齢 : 1. 10歳未満 2. 10歳代 3. 20歳代 4. 30歳代 5. 40歳代
6. 50歳代 7. 60歳代 8. 70歳代 9. 80歳以上
職業 : 1. 学生 2. 社会人 3. 主婦 4. その他
お住まい : 新潟市 区 市 町 村 市外(国名:)

★調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

2. 観光地点リスト

別紙【観光地リスト】

歴 史・文 化		
◆社寺・仏閣・庭園	◆資料館・博物館	◆工場・酒蔵見学
1. 白山神社	16. 新潟市歴史博物館(みなとびあ)	31. せんべい王国
2. 護国神社	17. 北方文化博物館	32. 新津車両製作所一般公開
3. 種月寺, ホタル鑑賞スポット	18. 豊栄博物館	33. 今代司酒造
4. 弘法清水	19. 鉄道資料館	34. グリーンプラント巻
5. 平成福寿大観音	20. 北方文化博物館 新潟分館	◆その他館・施設
6. 妙蓮寺山門	21. 巻郷土資料館・実昌館	35. マリンピア日本海(水族館)
◆指定・重要文化財	22. 月潟郷土物産資料館	36. 県立自然科学館
7. 高森の大けやき	◆美術館	37. カーブドッチ
8. 重要文化財笹川邸	23. 新潟市美術館	38. 角田山自然館
◆庭園・公園・植物園	24. 新潟県立万代島美術館	39. 燕喜館
9. 水の公園福島潟	25. 新津美術館	40. 環境と人間のふれあい館
10. 県立植物園	26. ガラスのメルヘン美術館	41. しろね大塚と歴史の館
11. 天寿園	27. 中野邸美術館	42. 砂丘館
12. 鷺ノ木桜道園	28. 雪染舎美術館	43. 石油の世界館
◆記念館	29. 敦井美術館	44. 安吾風の館
13. 県政記念館	30. 樋口記念美術館・歴史民族資料館	45. 中之口先人館
14. 會津八一記念館		46. 澤将監の館
15. 新津記念館		

ス ポー ツ・レジャー
◆キャンプ
47. 信濃バレー
48. 海辺の森キャンプ場
49. 入徳館野外研修場
50. 角田浜キャンプ場
◆海水浴・釣り
51. 関屋浜
52. 青山海岸
53. 角田浜
54. 山の下船江町浜
55. 越前浜
56. 日和山浜
57. 島見浜
58. 田ノ浦海水浴場
59. 下山海水浴場
60. 浦浜
61. 四ツ郷屋浜
62. 内野浜
◆ゴルフ・射撃
63. 新潟ゴルフ倶楽部(ゴルフ場)
64. 新津カントリークラブ(ゴルフ場)
65. 巻射撃場

都市型観光・買物・食
◆物産
66. 新潟ふるさと村
67. 花夢里にいつ
68. ピア Bandai
69. 新津観光物産館
◆農園・果樹園・キノコ園
70. 花とみどりのシンボルゾーン
71. 白根グレープガーデン
72. フルーツ童夢やまだ農園
73. 池田観光果樹園
74. 大郷梨中村観光果樹園
75. 白根観光きのこ園
76. 新飯田観光果樹園

自 然
77. 角田山
78. 佐潟水鳥・湿地センター
79. 多宝山

温 泉・健 康
80. 多宝温泉
81. 岩室温泉
82. 秋葉温泉「花水」
83. じょんのび館
84. カーブドッチヴィネスバ
85. 小須戸温泉健康センター
86. 田ノ浦温泉
87. ファミリーロッジ旅館屋

その他
88. Belco ばかうけ展望室(朱鷺メッセ 31 階)
89. いわむろや
90. レインボータワー
91. ビッグスワン
92. 日本海タワー

3. 宿泊施設調査 調査票

ようこそ新潟市にいらっしゃいました！

●現在、新潟市では、財団法人、地方自治体関係機関と共同で、皆様により楽しんでいただけたらいい観光地づくりやおまちを待たせたい観光地づくりに取り組んでいます。来訪者の皆様は、アンケート調査を実施しています。

●おくるみなどの観光地づくりに取り組んでいます。調査にご協力ください。

●回答して頂いた方にはお礼（郵便）をご用意しておりますので、ご回答時にフロントに回答済みアンケート用紙と別紙【観光地リスト】をお返しください。

◆ご協力よろしくお願ひいたします◆

新潟市文化観光・スポーツ部観光政策課
財団法人 地方自治体研究機構
＜調査に関するお問い合わせ先＞
(株)日本経済コンサルタント新潟支店
電話 025-748-7411

市内で活動（観光・ビジネスなど）した日付 → 日付 月 日 月 日 月 日

問1. 今回の旅行の主要な目的は何ですか。第1つだけ○

1. ビジネス 2. 観光 3. コンベンション 4. 結婚・知人訪問 5. その他()

問2. 「旅行きかけ時」「滞在時」における新潟市の観光やビジネスなどの情報源をそれぞれ3つまでご記入ください。

1. ボスター・パンフレット 2. 新聞・雑誌 3. 友人・知人の話 4. 旅行業者 5. テレビ・ラジオ 6. インターネット
7. 観光パンフレット 8. 観光案内所 9. 新潟市公式観光情報サイト (Welcome to Niigata City)
10. 観光案内所 11. ブログ 12. ツイッター
13. その他のインターネットサイト 14. その他()

問3. あなたも含めて、何人での、どんなと一緒の旅行ですか。旅行機や宿泊状況も書く

1. 単身 2. 家族 3. 友人 4. 職場・学校等の団体旅行 5. その他()

問4. 新潟市へは何回訪れたか。第1つだけ○

1. 初めて 2. 2回目 3. 3回目 4. 4回目以上

問5. 今回の旅行は、何泊ですか。そのうち、新潟市内では、どのような施設に宿泊するか○印をご記入ください。

宿泊数 泊 → そのうち新潟市内 泊

＜市内宿泊施設＞

利用した市内宿泊施設に○印をご記入ください。

1. ホテル 2. 旅館 3. 実家や知人・親戚宅
4. ペンション・民宿 5. 保養所・研修所 6. キャンプ場
7. (キャンプ場以外の)車中泊・交通機関内での宿泊 8. 別荘・ヴィラ・ペンション
9. 会員制の宿泊施設 10. その他 市内宿泊施設数 施設

問6. 今回の旅行で訪れる市内観光地の中で、別紙【観光地リスト】に掲載のある観光地の番号をすべてご記入ください。訪れた観光地が別紙【観光地リスト】に掲載がない場合は、「無し」に○印をご記入ください。

別紙【観光地リスト】 訪れた(訪れる予定の)市内観光地 計 無し

より番号記載 11

問7. 今回の旅行で新潟市以外の訪問市町村すべてに○印をご記入ください。また、新潟市以外の市町村に訪問しない場合は「他の市町村には訪問しない」に○印をご記入ください。

1. 佐渡市 2. 村上市 3. 新発田市 4. 舟橋村 5. 長岡市 6. 柏崎市
7. 十日町市 8. 南魚沼市 9. 湯沢町 10. 上越市 11. 妙高市
12. 新潟県内その他市町村() 13. 県外市町村()
14. 他の市町村には訪問しない

問8. 「1.新潟市東部」「2.新潟市西部」「3.新潟市北部」「4.新潟市南部」への移動時(移動)に利用した(する)交通機関をすべてご記入ください。

1. 自家用車 2. レンタカー 3. 自家用車 4. レンタカー 5. 高速バス 6. 市内路線バス
7. 新潟市観光バス(バス番号・バス名) 8. 貸切バス・観光バス
9. 新潟市観光バス(バス番号・バス名) 10. フェリー 11. タクシー
12. 観光タクシー 13. ペロタクシー(自転車タクシー)
14. レンタサイクル 15. 飛行機 16. その他()

問9. 今回の旅行で、使う費用(これから使う予定も含めて)を記入してください。また、それは何人分の費用かご記入ください。

旅行費用 人分

新潟市へもう一度旅行したいと思いますか。第1つだけ○

1. もう一度旅行したい 2. 機会があれば旅行したい 3. どちらでもない 4. もう来たくない

問10. 新潟市へもう一度旅行したいと思いますか。第1つだけ○

1. もう一度旅行したい 2. 機会があれば旅行したい 3. どちらでもない 4. もう来たくない

問11. あなたの性別、年齢、職業、お住まいを記入してください。第1つだけ○

性別 : 1. 男性 2. 女性
年齢 : 1. 10歳未満 2. 10歳代 3. 20歳代 4. 30歳代 5. 40歳代
6. 50歳代 7. 60歳代 8. 70歳代 9. 80歳以上
職業 : 1. 学生 2. 社会人 3. 主婦 4. その他
お住まい 新潟市 区 市 町 村 市外の地名(国名:)

※調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

新潟市観光動向に関する調査研究

—平成 24 年 3 月発行—

新潟市

〒951-8550

新潟市中央区学校町通 1 番町 602-1

電話 025-228-1000（代表）

財団法人 地方自治研究機構

〒102-0082

東京都中央区銀座 7-14-16 太陽銀座ビル 2 階

電話 03（5148）0661（代表）

印刷 株式会社サンワ